HP Designjet Z3100ps GP Photo プリンタ



HP Designjet Z3100ps GP Photo プリンタ

プリンタの使い方

法律に関する注記

商標

目次

1 はじめに

安全に関する注意事項

次の注意事項に従うことにより、プリンタを適切に使用してプリンタの故障を防ぐことができます。常にこれらの注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。
- 必ずプリンタを接地してください。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- プリンタを分解または修理しないでください。サービスについては、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせください（280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照)。
- プリンタ付属のHPが提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の恐れがあります。破損した電源コードはHP純正の電源コードと交換してください。
- 金属または液体（HPクリーニング キットで使用するものを除く）がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
- 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
  - プリンタ内部に手を入れる場合
  - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする場合
  - プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合
  - 金属や液体（クリーニングおよび保守手順の一部ではなく）がプリンタの内部部品に触れた場合
  - 雷雨時
  - 停電時

HP スタートアップ キット

『HP スタートアップ キット』はプリンタに同梱されているCD-ROMまたはDVDです。マルチメディアチュートリアルの概要など、初めて印刷を行う場合に役立つプリンタのソフトウェアやマニュアルが含まれています。

注記： 『HP スタートアップ キット』は、日本ではCD-ROM版で提供されその他の国ではDVD版で提供されています。このガイドでは、DVD版を使用して説明しています。

このガイドの使用方法

プリンタの使い方（DVD）およびクイック リファレンス ガイド（印刷マニュアル）は、以下の章で構成されています。この情報の詳細は、プリンタの使い方を参照してください。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法と保守

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。

- 13 ページの 「ソフトウェアのインストール」
- 25 ページの 「プリンタのカスタマイズ」
- 39 ページの 「用紙の取り扱い」
- 63 ページの 「印刷」
- 85 ページの 「カラーマネジメント」
- 149 ページの 「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」
- 153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」
- 169 ページの 「プリンタを保守する」

トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。

- 195 ページの 「用紙に関するトラブルシューティング」
- 213 ページの 「印刷品質に関するトラブルシューティング」
- 245 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング」
- 259 ページの 「一般的なプリンタに関するトラブルシューティング」
- 271 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ 」

アクセサリ、サポート、および仕様

185 ページの 「アクセサリ」、275 ページの 「HPカスタマー・ケア」、および283 ページの 「プリンタの仕様」の各章では、カスタマー・ケア、プリンタの仕様、および各種用紙、インク サプライ品、アクセサリの製品番号などに関するリファレンス情報を参照できます。

用語集

293 ページの 用語集には、このマニュアルで使用する印刷およびHP用語の定義が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用してプリンタの破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

警告！ この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

注意： この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

プリンタの主な機能

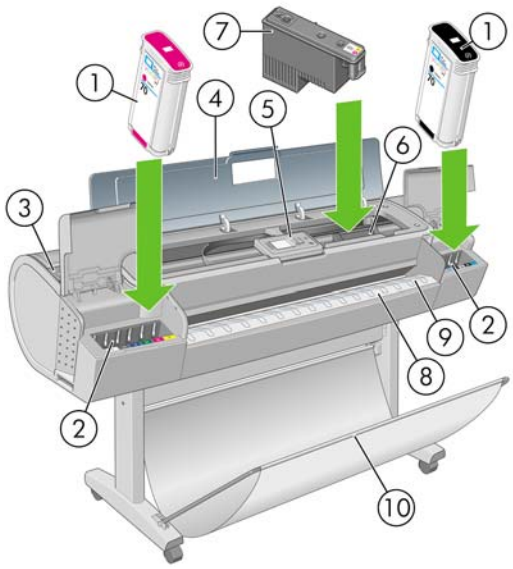
このプリンタは、最大幅1.12m（44インチ）の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

- 入力時1200 × 1200dpiのイメージを最大2400 × 1200dpiの最適化された解像度で印刷（**[高品質]** 印刷品質オプション、**[高精細]** オプション、およびフォト用紙を使用した場合）
- HP Easy Printer Care（Windows）およびHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）（29 ページの 「HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスする 」を参照）。以下の使いやすいインタフェースが使用されています。
  - シングルポイント カラーコントロール
  - ICCプロファイルの管理、インストールおよび作成
  - ジョブ管理（137 ページの 「ジョブ キューの管理」 を参照）
  - プリンタおよびディスプレイのキャリブレーション
  - オンラインのHP Knowledge Centerへのアクセス
- 自動カラーキャリブレーションおよびプロファイリングによる、正確で一貫したカラー再現
- 12色インク システム。写真印刷およびグラフィック アート印刷においてマット ファインアート紙と光沢フォト用紙で広い色の範囲を実現し、プリプレス アプリケーションでのカラー精度においてISOおよびSWOP色域を完全に網羅します。
- カラー エミュレーション（102 ページの 「カラー エミュレーション 」 を参照）
- 内蔵の分光測光器。用紙および環境の変化においても一貫した正確なカラーを提供し、カスタムICCプロファイルを簡単に作成します（91 ページの 「i1カラー テクノロジ搭載 」 を参照）。
- HP Easy Printer Care（Windows）、HP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）、またはプリンタの内蔵Webサーバを使用して、マルチファイル ジョブの送信、ジョブのプレビュー、キュー処理、ネスティングなどの生産性を高めるための機能を実行できます（29 ページの 「HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスする 」または30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」 を参照）。
- インクと用紙の使用状況は、フロントパネルおよび内蔵Webサーバによるウェブ上で確認可能です（30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」 を参照）。
- インクと用紙の使用状況は、フロントパネルおよび内蔵Webサーバによるウェブ上で確認可能です（30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」 を参照）。
- 柔軟な用紙対応と簡単な自動取り付け機能（39 ページの 「用紙の取り扱い」を参照）。情報およびプロファイルは、フロントパネル、HP Easy Printer Care（Windows）、およびHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）から利用できます。

プリンタの主なコンポーネント

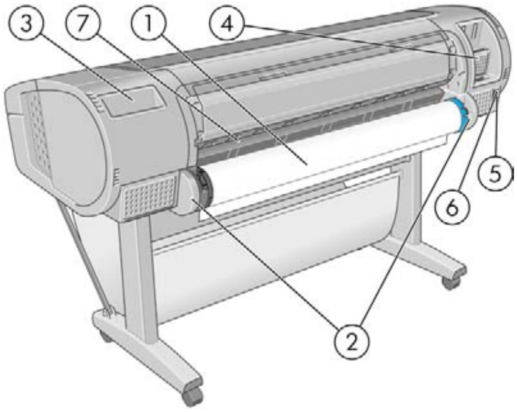
以下のプリンタ前面図および背面図で、主なコンポーネントについて説明します。

前面図



1. インクカートリッジ
2. インクカートリッジ スロット
3. 青いレバー
4. 透明のウィンドウ
5. フロントパネル
6. プリントヘッド キャリッジ
7. プリントヘッド
8. 排紙トレイ
9. 用紙の位置調整線
10. バスケット

背面図

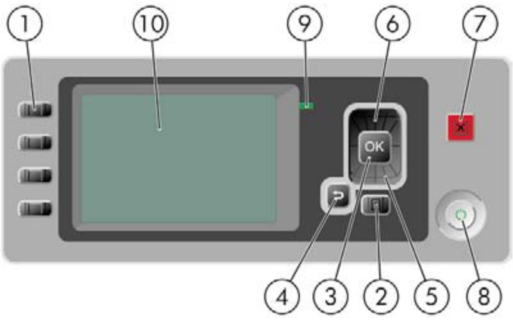


1. スピンドル
2. スピンドル ホルダー
3. 『クイック リファレンス ガイド』ホルダー
4. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット
5. 電源
6. 電源コード差し込み口
7. 用紙フィーダ

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって中央にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- トラブルシューティングのための情報アシスト。
- 用紙のカット、取り外しなど、特定の手順を実行する際に使用。
- 手順に沿った役立つアニメーションを表示。
- インクカートリッジ、プリントヘッド、用紙、印刷ジョブなどのプリンタのステータスに関する最新情報を表示。
- 場合に応じて、警告やエラー メッセージが表示され、警告やエラー メッセージに対する注意を促すために警告音が鳴ります。
- プリンタの設定値を変更して、プリンタの動作を変更する際に使用。ただし、プリンタの設定は、ドライバの設定が優先されます（13 ページの 「ソフトウェアのインストール」 を参照）。



フロントパネルには、以下のコンポーネントがあります。

1. ダイレクト アクセスキー：
   - 1番目のボタン：インク容量の表示（155 ページの 「インクカートリッジのステータスを確認する 」 を参照）
   - 2番目のボタン：取り付けられている用紙の表示（55 ページの 「用紙に関する情報を表示する 」 を参照）
   - 3番目のボタン：用紙の取り外し（50 ページの 「ロール紙を取り外す 」および54 ページの 「カット紙を取り外す 」 を参照）
   - 4番目のボタン：排紙/カット（62 ページの 「用紙を給紙してカットする 」 を参照）
2. メニュー ボタン – このボタンを押すと、フロントパネルの表示がメイン メニューに戻ります。すでにメイン メニューが表示されている場合は、ステータス画面が表示されます。
3. OK ボタン – 手順の実行中または操作中に操作を確定します。メニューでサブメニューを表示します。オプションがある場合に値を選択します。
4. 戻る ボタン – 手順実行中または操作中に前の手順に戻ります。上位レベルに移動する、メニューのオプションから外れる、またはオプションがある場合に使用します。
5. 下矢印 ボタン – メニューまたはオプション内を下に移動したり、数値を減らします（たとえば、フロントパネルの表示コントラストやIPアドレスを設定する場合）。
6. 上矢印 ボタン – メニューまたはオプション内を上に移動したり、数値を増やします（たとえば、フロントパネルの表示コントラストやIPアドレスを設定する場合）。

7. キャンセル ボタン – 手順または操作を中止します。

8. 電源 ボタン – プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。また、電源ボタンのランプでプリンタのステータスを示します。電源ボタンのランプが消灯している場合、プリンタの電源はオフになっています。電源ボタンのランプが緑色に点滅している場合、プリンタは起動中です。電源ボタンのランプが緑色に点灯している場合、プリンタの電源はオンになっています。電源ボタンのランプが黄色に点灯している場合、プリンタは待機中です。電源ボタンのランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。

9. LED ランプ – プリンタのステータスを示します。LEDランプが緑色に点灯している場合、プリンタは印刷可能です。LEDランプが緑色に点滅している場合、プリンタが使用中です。LEDランプが黄色に点灯している場合、プリンタはシステム エラーです。LEDランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。

10. フロントパネルの表示 – プリンタの使用に関するエラー、警告、および情報が表示されます。

フロントパネルの表示上の項目を**ハイライト**させるには、その項目がハイライトされるまで 上矢印 または 下矢印 ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルの表示上の項目を**選択**するには、まずその項目をハイライトして、OK ボタンを押します。

このガイドで、フロントパネル表示の一連の項目が、**[項目1]** – **[項目2]** – **[項目3]**のように記述されている場合は、**[項目1]**、**[項目2]**、**[項目3]** の順に選択してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- PCL3ラスタ ドライバ
- Windows用RTLおよびHP-GL/2ドライバ
- PostScriptドライバ
- HP Easy Printer Care (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)。実行できます (29 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスする 」を参照)。
  - HP Color Centerを使用してカラーに関するプリンタ管理
  - ジョブ キューの管理 (137 ページの 「ジョブ キューの管理」 を参照)
  - インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
  - アカウンティング情報の表示 (149 ページの 「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」 を参照)
  - プリンタのファームウェアのアップデート (180 ページの 「ファームウェアをアップデートする 」 を参照)
  - HP Knowledge Centerへのアクセス
  - 様々なプリンタ設定の変更 ([設定] タブ内)
  - キャリブレーションおよびトラブルシューティングの実行
- 内蔵Webサーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでもWebブラウザを使用してインク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます (30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照)。
- Advanced Profiling Solution。別のDVDに収録されています。他のHPソフトウェア (ドライバやプリンタ ユーティリティなど) の後にインストールします。

プリンタの印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

注意： 印刷メニューを呼び出す前に、用紙（ロール紙またはカット紙）が取り付けられており、フロントパネルに「**印刷可能です**」というメッセージが表示されていることを確認します。幅がA3横置き（42cm、16.53インチ）以上の用紙を使用してください。それより小さい用紙では、イメージの一部が印刷されないことがあります。

印刷メニューを印刷するには、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[印刷メニュー] アイコン を選択し、必要な印刷メニューを選択します。次の印刷メニューを使用できます。

- [デモ印刷]：プリンタの機能の一部を表示します。
  - モノクロ写真印刷
  - カラー写真印刷
  - カラーデザイン デモ印刷
  - GISマップ印刷

  注記： デモ印刷は、取り付けられている用紙と同じサイズで行われます。

  注記： 安全なディスク消去を実行する場合は、183 ページの 「安全なディスク消去 」を参照してください。デモ印刷は消去され、使用できなくなります。

- [メニュー マップの印刷]：すべてのフロントパネルの表示メニューの詳細を表示します。
- [現在の設定の印刷]：現在のフロントパネル表示の設定をすべて表示します。
- [使用状況レポートの印刷]：印刷の合計数、用紙の種類別の印刷部数、印刷品質オプション別の印刷部数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します（これらの推定値の正確性につきましては保証されていません)。
- [HP-GL/2パレットの印刷]：現在選択しているカラー パレットのカラー/グレースケール定義を示します。
- [サービス情報の印刷]：サービス エンジニアが必要とする情報を表示します。
- [PSフォント一覧の印刷]：使用可能なPostScriptフォントを表示します。

2 ソフトウェアのインストール

使用する接続方法を選択する

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。

接続の種類	速度	ケーブルの長さ	その他
ギガビットイーサネット	きわめて高速。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。	長い（100m=328フィート）	追加機材（スイッチ）要
Jetdirectプリント サーバ（別売オプション）	普通。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。	長い（100m=328フィート）	追加機材（スイッチ）要 追加機能を提供します 詳細については、http://www.hp.com/go/jetdirect/ を参照してください
USB 2.0	きわめて高速	短い（5m=16フィート）	

注記：　ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

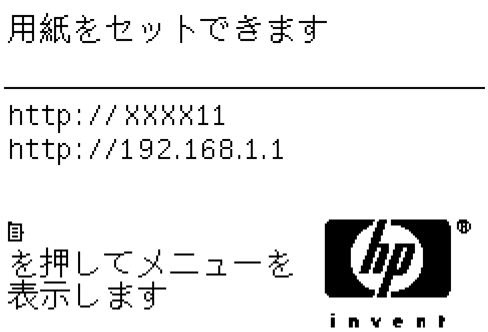
ネットワークに接続する（Windows）

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

上記を確認したら、プリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

1. プリンタのフロントパネルのステータス画面でIPアドレスを書き留めておきます（この例では192.168.1.1）。



2. コンピュータにHP スタートアップ キットDVDを挿入します。DVDが自動的に起動しない場合は、DVDのルート フォルダ内のStart.exeを実行します。
3. **［インストール］**ボタンをクリックします。プリンタ ドライバ、HP Easy Printer Care、およびHP Color Centerがインストールされます。
4. 画面上の指示に従い、プリンタを設定します。各画面で適切な設定を行うために、以下の点に注意してください。
   - プリンタの接続方法を確認する画面が表示されたら、**［ワイヤード ネットワーク］**を選択します。
   - 設定プログラムによりネットワークに接続されたプリンタの検出が行われます。検出が完了すると、プリンタのリストが表示されます。IPアドレスを参照してプリンタを識別し、リストでそのプリンタを選択します。
   - 設定プログラムによりネットワークとプリンタの分析が行われます。ネットワークの設定が検出され、プリンタを設定する際の推奨設定が表示されます。この設定を変更する必要はありませんが、変更することも可能です。

コンピュータがネットワーク上でプリンタを検出できない場合は、**［プリンタが検出されませんでした］**ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、プリンタの検出を再試行できます。操作内にファイアウォールが存在する場合、プリンタを検出するためにファイアウォールを一時的に無効にする必要があります。プリンタのURL、IPアドレス、またはMACアドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

直接コンピュータに接続する（Windows）

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵USB 2.0ソケット（Windows 2000、XP、2003 Serverで対応）を使用します。

ヒント： USB接続はネットワーク接続より高速ですが、ケーブルの長さに制限があり、プリンタの共有も困難になります。

1. **この時点ではまだコンピュータをプリンタに接続しないでください。** 最初に、以下の手順に従いプリンタ ドライバ ソフトウェアをインストールする必要があります。
2. DVDドライブにHP スタートアップ キットDVDを挿入します。DVDが自動的に起動しない場合は、DVDのルート フォルダ内のStart.exeを実行します。
3. ［**インストール**］ボタンをクリックします。プリンタ ドライバ、HP Easy Printer Care、およびHP Color Centerがインストールされます。
4. 画面上の指示に従い、プリンタを設定します。各画面で適切な設定を行うために、以下の点に注意してください。
   - プリンタの接続方法を確認するメッセージが表示されたら、［**このコンピュータに直接接続**］を選択します。
   - ネットワークに接続している他の人とプリンタを共有する場合は、［**インストール準備完了**］ウィンドウにある［**プリンタのプロパティ**］ボタンをクリックして、［**共有**］タブを選択し、プリンタを共有する名前を入力します。
   - コンピュータをプリンタに接続するように指示するメッセージが表示されたら、認定されたUSBケーブルを接続します。プリンタの電源が入っていることを確認してください。

   注記： ただし、プリンタを接続せずにインストールを完了することもできます。その場合、［**セットアップ ウィザードの完了後にプリンタを接続します**］チェック ボックスをオンにしてください。

   注記： 認定されていないUSBケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB開発者のためのフォーラム（http://www.usb.org/）によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

プリンタの共有に関する注意事項

- HP Easy Printer Careは、いずれかのコンピュータにまずインストールする必要があります。インストールした後にそのコンピュータから使用できるようになります。
- 別のコンピュータに接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、プリント ジョブを送信することはできますが、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙の管理、プリンタの管理、およびトラブルシューティングに影響するプリンタからの情報を受信することはできません。
- 別のコンピュータに接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、プリンタ固有の印刷プレビュー機能を使用することはできません。ただし、アプリケーションの印刷プレビュー機能を利用することはできます。71 ページの 「印刷をプレビューする 」を参照してください。

ヒント： ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをコンピュータではなくネットワークに接続することが最適な方法です。15 ページの 「ネットワークに接続する (Windows) 」を参照してください。

プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Windows)

1. DVDドライブにHP スタートアップ キットDVDを挿入します。DVDが自動的に起動しない場合は、DVDのルート フォルダ内のStart.exeを実行します。

2. [**インストール**] を選択し、画面の手順に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

ネットワークに接続する（Mac OS）

Mac OS X環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- Bonjour/Rendezvous
- TCP/IP

注記： このプリンタはAppleTalkをサポートしていません。

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

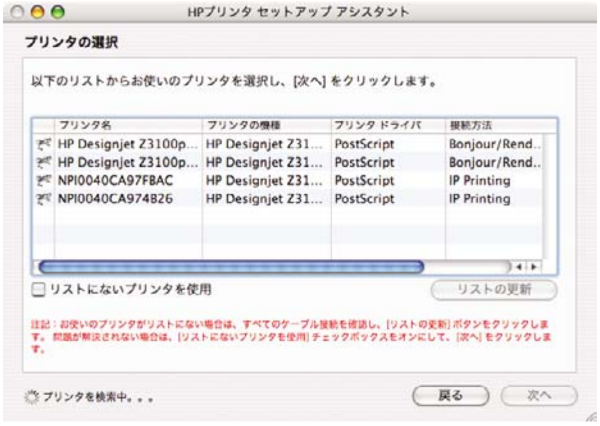
ここでプリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

Bonjour/Rendezvous接続

1. プリンタのフロントパネルで［接続］アイコンを選択し、**［ギガビットイーサネット］**－**［設定の表示］**を選択します 。プリンタのmDNSサービス名をメモします。
2. DVDドライブにHP スタートアップ キットDVDを挿入します。
3. デスクトップのDVDアイコンを開きます。



4. **［Mac OS X HP Designjet Installer］**アイコンを開きます。
5. 画面の指示に従います。ここでは、**［簡易インストール］**オプションを使用することをお勧めします。このオプションでは、PostScriptプリンタ ドライバがインストールされます。PCL（ラスタ）ドライバをインストールする場合は、**［カスタム インストール］**を選択します。
6. プリンタ ドライバ、HP プリンタ ユーティリティ、およびHP Color Centerなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。
8. ［プリンタの選択］画面が表示されたら、［プリンタ名］列にあるプリンタのmDNSサービス名（手順1でメモした名前）を検索します。



- 正しいプリンタ名を検出した場合、横方向にスクロールして［接続方法］列を表示し、それが Bonjour/Rendezvous を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方向への検索を続けます。
- 接続方法として Bonjour/Rendezvous を持つプリンタ名を検出できない場合は、［**リストにないプリンタを使用**］ボックスをオンにします。

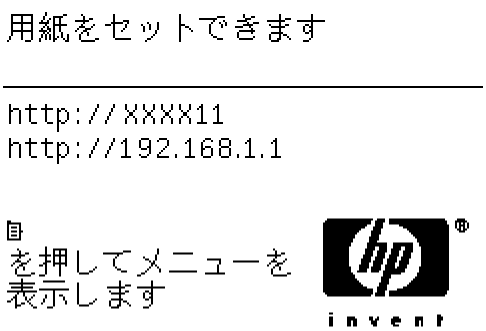
［**次へ**］ボタンをクリックします。

9. 画面の指示に従って続行します。［プリンタ キューが作成されました］画面が表示されたら、［**閉じる**］をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、［**新しいキューの作成**］をクリックします。
10. HP プリンタ セットアップ アシスタントが終了したら、DVDドライブからDVDを取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントをDVDからいつでも起動することができます。

TCP/IP接続

1. プリンタのフロントパネルで、ステータス画面が表示されるまで メニュー ボタンを押します。



プリンタのURL（この例では、http://XXXX11）をメモします。

2. DVDドライブにHP スタートアップ キットDVDを挿入します。

3. デスクトップのDVDアイコンを開きます。



4. [Mac OS X HP Designjet Installer] アイコンを開きます。

5. 画面の指示に従います。ここでは、[**簡易インストール**] オプションを使用することをお勧めします。このオプションでは、PostScriptプリンタ ドライバがインストールされます。PCL（ラスタ）ドライバをインストールする場合は、[**カスタム インストール**] を選択します。

6. プリンタ ドライバ、HP プリンタ ユーティリティ、およびHP Color Centerなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。

7. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。

8. [プリンタの選択] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタのURL（手順1でメモした）を検索します。

   - 正しいプリンタ名を検出した場合、横方向にスクロールして [接続方法] 列を表示し、それが **IP プリント** を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方向への検索を続けます。

   - 接続方法として **IP プリント** を持つプリンタ名を検出できない場合は、[**リストにないプリンタを使用**] ボックスをオンにします。

   [**次へ**] ボタンをクリックします。

9. 画面の指示に従って続行します。[プリンタ キューが作成されました] 画面が表示されたら、[**閉じる**] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[**新しいキューの作成**] をクリックします。

10. HP プリンタ セットアップ アシスタントが終了したら、DVDドライブからDVDを取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントをDVDからいつでも起動することができます。

直接コンピュータに接続する（Mac OS）

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵USB 2.0ソケットを使用します。

1. プリンタの電源がオフになっているか、コンピュータに接続されていないことを確認します。
2. DVDドライブにHP スタートアップ キットDVDを挿入します。
3. デスクトップのDVDアイコンを開きます。



4. [Mac OS X HP Designjet Installer] アイコンを開きます。
5. 画面の指示に従います。ここでは、[**簡易インストール**] オプションを使用することをお勧めします。このオプションでは、PostScriptプリンタ ドライバがインストールされます。PCL（ラスタ）ドライバをインストールする場合は、[**カスタム インストール**] を選択します。
6. プリンタ ドライバ、HP プリンタ ユーティリティ、およびHP Color Centerなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。
8. プリンタの電源がオンになっており、認定されたUSBケーブルを使用してコンピュータに接続されていることを確認します。

   注記： 認定されていないUSBケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB開発者のためのフォーラム（http://www.usb.org/）によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

9. HP プリンタ セットアップ アシスタントで、[**次へ**] ボタンをクリックします。
10. 表示されたプリンタのリストで、接続方法にUSBを使用しているエントリを選択して、[**次へ**] ボタンをクリックします。
11. 次の画面には、プリンタのインストール情報が表示されます。この画面で、プリンタ名を変更できます。必要に応じてプリンタ名を変更し、[**次へ**] ボタンをクリックします。
12. これで、プリンタが接続されました。[プリンタ キューが作成されました] 画面では、[**閉じる**] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[**新しいキューの作成**] をクリックします。
13. HP プリンタ セットアップ アシスタントが終了したら、DVDドライブからDVDを取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントをDVDからいつでも起動することができます。

プリンタの共有

コンピュータがネットワークに接続されていて、Mac OS X 10.2 以降を使用している場合、そのコンピュータに直接接続されていたプリンタを同じネットワーク上にある別のコンピュータで使用できます。

1. デスクトップ上のDockメニュー バーの［システム環境設定］アイコンをダブルクリックします。
2. プリンタの共有を有効にするには、**［共有］**－**［サービス］**－**［プリンタ共有］**を選択します。
3. Mac OSを実行しているその他のコンピュータによって表示され、ローカル ネットワークに接続された共有プリンタのリストに、お使いのプリンタが自動的に表示されます。

注記： プリンタの共有を必要とする他のすべてのユーザは、各自のコンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールする必要があります。

別のコンピュータに接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、プリント ジョブを送信することはできますが、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙の管理、プリンタの管理、およびトラブルシューティングに影響するプリンタからの情報を受信することはできません。

Mac OS 10.2 ユーザは、共有プリンタを表示するために、プリントセンターの**［ほかのコンピュータに接続されているプリンタを表示する］**オプションを有効にする必要があります。

別のユーザに直接接続するプリンタを共有すると、コンピュータの速度が許容できない速度まで遅くなる場合があります。

ヒント： ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをコンピュータではなくネットワークに接続することが最適な方法です。18 ページの 「ネットワークに接続する (Mac OS) 」を参照してください。

プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Mac OS)

1. DVDドライブにHP スタートアップ キットDVDを挿入します。
2. デスクトップのDVDアイコンを開きます。
3. [Mac OS X HP Designjet Installer] アイコンを開きます。
4. [**アンインストール**] を選択し、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

ソフトウェアのインストール

3　プリンタのカスタマイズ

プリンタの電源をオン/オフにする

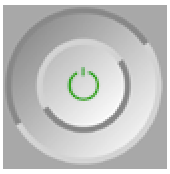
ヒント： プリンタはENERGY STARに準拠しているため、プリンタの電源をオンにしたままでも電力が無駄になりません。電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。一定時間（デフォルトでは30分）使用しない場合、プリンタはスリープ モードに移行して電力を節約します。ただし、プリンタのフロントパネルの表示で何らかの操作を行うと直ちにアクティブ モードに戻り、印刷を再開することができます。スリープ モード時間を変更するには、33 ページの 「スリープ モード設定を変更する 」を参照してください。

注記： スリープ モードでは、プリンタは随時プリントヘッドの保守サービスを実行します。これにより、長時間のアイドリング後に印刷の準備を長時間実行する必要がなくなります。このため、インクと時間を無駄にしないため、プリンタの電源をオンにするかスリープ モードにしておくことを強くお勧めします。

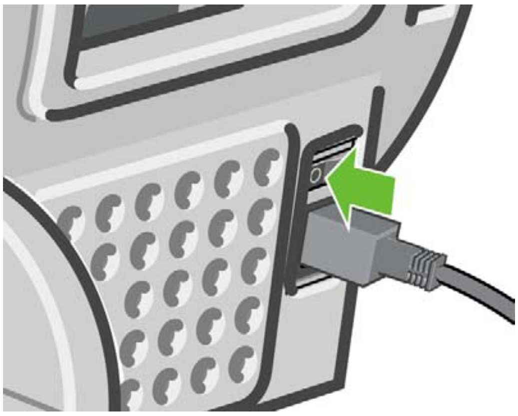
このプリンタには、3つの消費電力レベルがあります。

- プラグ接続：電源コードがプリンタ背面に接続されている状態。
- スイッチ オン：プリンタ背面のスイッチがオンになっている状態。
- 電源オン：フロントパネルの 電源 ボタンのランプが緑色に点灯している状態。

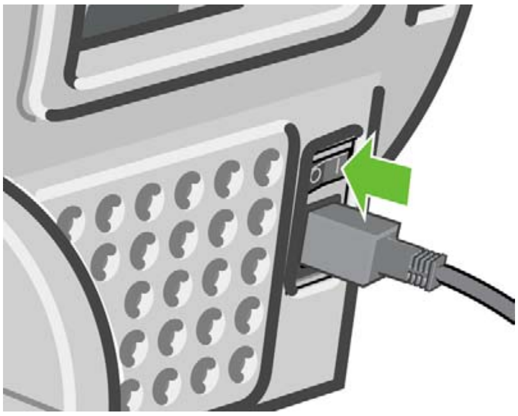
プリンタの電源をオン/オフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの 電源 ボタンを使用することをお勧めします。



ただし、プリンタを無期限で保管する場合、または 電源 ボタンが動作しない場合は、電源 ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。



プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分間かかります。プリントヘッドの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大55分かかることがあります。

フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更する方法は2つあります。

- 現在表示されているフロントパネルの言語を理解できる場合は、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[セットアップ] アイコンを選択し、次に [**フロントパネル オプション**] – [**言語の選択**] を選択します 。
- 現在表示されているフロントパネルの言語が分からない場合は、まずプリンタの電源を切ります。フロントパネルで、OK ボタンを押します。OK ボタンを押したままの状態で、電源 ボタンを押します。フロントパネルの表示の右側にある緑色のランプが点滅し始めるまで両方のボタンを押し続け、両方のボタンを放します。これには約1秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。

どちらの方法でも、フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。上矢印 ボタンおよび 下矢印 ボタンで希望する言語をハイライトさせて、OK ボタンを押します。

HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスする

HP Easy Printer Care（Windowsの場合）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OSの場合）を使用すると、USB接続またはTCP/IPを使用してコンピュータからプリンタを管理できます。

- Windowsでは、デスクトップのショートカットから、または［**スタート**］-［**すべてのプログラム**］-［**Hewlett-Packard**］-［**HP Easy Printer Care**］-［**HP Easy Printer Careの起動**］から、HP Easy Printer Careを起動できます。これにより、HP Easy Printer Careが起動し、インストールされたプリンタが表示されます。
- Mac OSでは、**ハードディスク**-［**ライブラリ**］-［**Printers**］-［**hp**］-［**Utilities**］-［**HP プリンタ ユーティリティ**］の順で選択してHPプリンタ ユーティリティを起動します。これにより、HP プリンタセレクタが起動し、ここで［**他のプリンタ**］をクリックしてプリンタを追加する必要があります。

  お使いのプリンタを選択して、［**ユーティリティを起動**］をクリックします。これにより、HPプリンタ ユーティリティが起動します。

この手順に従ってもHP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスできない場合は、264 ページの 「HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスできない 」を参照してください。

カスタマイズ設定

内蔵Webサーバにアクセスする

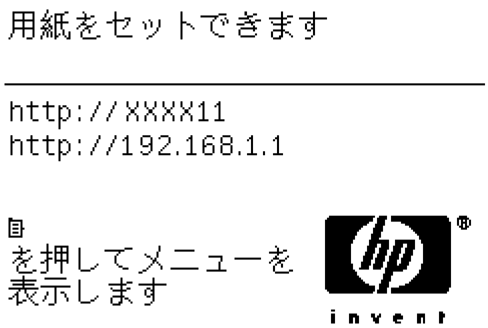
内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用されるWebブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

注記： 内蔵Webサーバを使用するためには、プリンタの接続方法がTCP/IPである必要があります。

内蔵Webサーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 5.5以降（Windows）
- Internet Explorer 5.1以降（Mac OS X）
- Netscape Navigator 6.01以降
- Mozilla 1.5以降
- Mozilla Firefox 1.0以降
- Safari

コンピュータ上で内蔵Webサーバにアクセスするには、Webブラウザを開き、プリンタのアドレスを入力します。プリンタのアドレス（http:から始まる）は、フロントパネルのステータス画面で確認できます。



この手順に従っても内蔵Webサーバにアクセスできない場合は、265 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスできない 」を参照してください。

HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）の言語を変更する

HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）は、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語に対応しています。

- Windowsでは、［**ツール**］－［**言語設定**］を選択し、リストから言語を選択します。
- Mac OSでは、別のアプリケーションに関しては、言語が変更されます。［**システム環境設定**］で［**言語環境**］を選択し、アプリケーションを再起動します。

内蔵Webサーバの言語を変更する

内蔵Webサーバは、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語に対応しています。Webブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されます。内蔵Webサーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Webブラウザの［言語の優先順位］設定を変更してください。たとえば、Internet Explorerのバージョン6を使用している場合は、**［ツール］**メニューに移動し、**［インターネット オプション］**を選択して、次に**［言語］**を選択します。［言語の優先順位］ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

変更を完了させるには、Webブラウザを閉じてから再び開きます。

カスタマイズ設定

スリープ モード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたままー定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープ モードへ移行します。デフォルトは30分です。プリンタがスリープ モードに移行するまでの待機時間を変更するには、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[セットアップ] アイコンを選択し、次に [**フロントパネル オプション**] - [**スリープモード待ち時間**] を選択します。必要な待ち時間をハイライトさせて OK ボタンを押します。30分、60分、120分、150分、180分、210分、240分に設定できます。

ブザーをオン/オフにする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[セットアップ] アイコンを選択し、次に **[フロントパネル オプション]** – **[ブザーの有効化]** を選択して オンまたはオフをハイライトし、OK ボタンを押します。デフォルトのブザーはオンに設定されています。

フロントパネルの表示のコントラストを変更する

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、[セットアップ] アイコンを選択し、次に [**フロントパネル オプション**] - [**画面コントラストの選択**] を選択して、上矢印 または 下矢印 ボタンを使用して値を入力します。OK ボタンを押して、その値を設定します。デフォルトのコントラストは50に設定されています。

測定単位を変更する

フロントパネルに表示される測定単位を変更するには、[セットアップ] アイコンを選択し、次に [**フロントパネル オプション**] – [**単位の選択**] を選択して、[**インチ**] または [**メートル**] を選択します。デフォルトでは、単位はメートルに設定されています。

ネットワーク設定を構成する

HP Easy Printer Care (Windows) からネットワーク設定を指定するには、[**設定**] タブ - [**ネットワーク設定**] を選択します。HPプリンタ ユーティリティ (Mac OS) から指定するには、[**設定**] - [**ネットワーク設定**] を選択します。次のネットワーク設定を表示および構成できます。

- **IP設定方法**：BOOTP、DHCP、自動IP、および手動でIPアドレスを設定する方法を指定します。
- **ホスト名**：ネットワーク デバイスのIP名を指定します。この名前には、最大で32文字 (ASCII文字) を使用できます。
- **IPアドレス**： プリンタ サーバ上のIPアドレスを指定します。TCP/IPネットワーク上では、重複IPアドレスは許可されません。

  注記： 現在のIPアドレスを変更して [適用] をクリックする場合、ブラウザでは古いアドレスを示しているので、ブラウザのプリント サーバへの現在の接続が失われます。接続するには、新しいIPアドレスを参照します。

- **サブネット マスク**：サブネット マスクを指定します。サブネット マスクは、IPアドレスに適用される32ビットの番号で、ネットワークとサブネットを指定するビットと、ノードを一意に指定するビットを決定します。
- **デフォルトのゲートウェイ**： 別のネットワークまたはサブネットワークに接続するために使用されるルータまたはコンピュータのIPアドレスを指定します。存在しない場合は、コンピュータのIPアドレスまたはプリント サーバのIPアドレスを使用します。
- **ドメイン名**： プリント サーバが存在するDNSドメイン名を指定します (たとえば、support.hp.com)。この名前にはホスト名は含まれず、printer1.support.hp.comなどのFQDNではありません。
- **アイドル タイムアウト**：アイドル状態の接続が継続される秒数を指定します。270がデフォルト値です。ゼロに設定された場合、タイムアウトは無効になり、ネットワーク上の別のノード (ワークステーションなど) によって切断されるまで、TCP/IP接続が継続されます。
- **デフォルトIP**：電源がオンになったとき、またはBOOTPまたはDHCPを使用するように再構成されたときに、プリント サーバがネットワークからIPアドレスを取得できない場合に使用するIPアドレスを指定します。
- **DHCP要求の送信**：既存のデフォルトIPアドレスまたはデフォルト自動IPが割り当てられた場合に、DHCP要求が転送されるかどうかを指定します。

フロントパネルから同じネットワーク設定を構成するには、メニュー ボタンを押してメイン メニューに移動し、[接続] アイコンを選択してから、[**ギガビットイーサネット**] - [**設定の変更**] を選択します 。

グラフィック言語の設定を変更する

注意： デフォルトの設定（[**自動**]）を変更する必要はありません。

HP Easy Printer CareおよびHP プリンタ ユーティリティ アプリケーションからグラフィック言語の設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1. Windowsでは、[**設定**] タブを選択し、次に [**プリンタ設定**] – [**印刷設定**] を選択します。

   Mac OSでは、[**設定**] を選択し、次に [**プリンタ設定**] – [**プリンタ設定の構成**] – [**印刷設定**] を選択します。

2. 以下のオプションの1つを選択します。

   - [**自動**] を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。この設定は、大半のソフトウェア アプリケーションに適用されます。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、適切な種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[**HP-GL/2**] を選択します。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、PostScriptファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[**PostScript**] を選択します。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、PDFファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[**PDF**] を選択します。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、Tagged Image File Format（TIFF）ファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[**TIFF**] を選択します。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、Joint Photographic Experts Group（JPEG）ファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[**JPEG**] を選択します。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[**CALS/G4**] を選択します。

フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更できます。メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[セットアップ] アイコンを選択し、[**印刷設定**] – [**グラフィック言語の選択**] を選択します 。希望するオプションを選択して OK ボタンを押し、値を設定します。

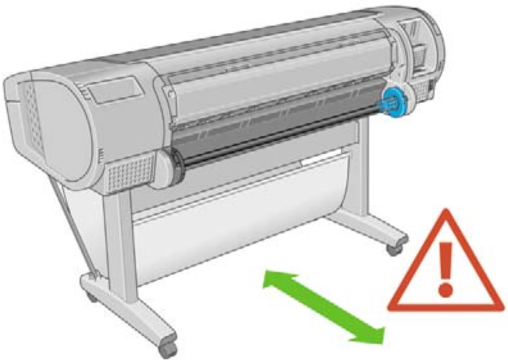
注意： USB接続を使用している場合は、 アイコンを選択し、次に [**印刷設定**] – [**PostScriptの設定**] – [**エンコードの選択**] – [**ASCII**] の順に選択します。

注記： HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）から選択した設定は、フロントパネルで選択した設定より優先されます。

4 用紙の取り扱い

一般的なヒント

注意： 用紙の取り付けを開始する前に、プリンタの周辺（プリンタの前後の両方）に十分な空間があることを確認してください。

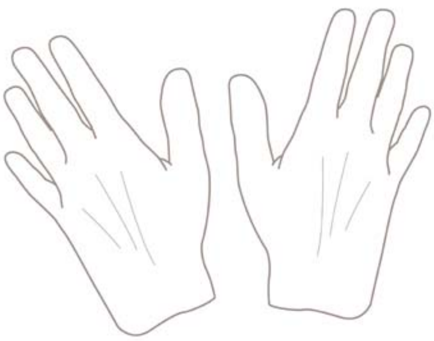


注意： プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキ レバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



注意： すべての用紙は、28cm（11インチ）以上である必要があります。A4およびレター用紙は、横置きに取り付けられません。

ヒント： フォト用紙では、用紙に油が付着しないように、綿製の手袋を着用します。



注意： 用紙取り付け作業中は、バスケットを閉めてください。

用紙の取り扱い

使用するスピンドルを選択する

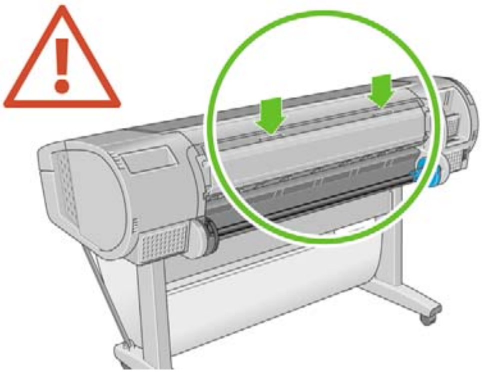
正しいスピンドルを使用していることを確認します。42 ページの 「ロール紙をスピンドルに取り付ける 」の手順にある図、および45 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」の手順では、黒いスピンドルが示されています。91.5cm (36インチ) より幅がある、以下のカテゴリおよび種類のロール紙を取り付ける場合は、グレーのスピンドルを使用する必要があります。

用紙カテゴリ	用紙の種類
普通紙とコート紙	普通紙
普通紙とコート紙	インクジェット普通紙
普通紙とコート紙	コート紙
テクニカル用紙	トレーシングペーパー
テクニカル用紙	半透明ボンド紙
テクニカル用紙	ベラム紙

ヒント： さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておくと、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます（185 ページの 「アクセサリ」を参照）。

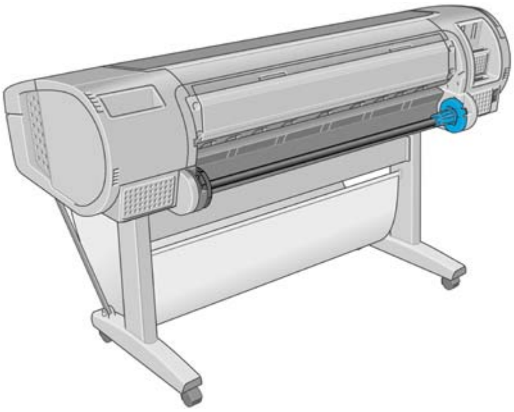
ロール紙をスピンドルに取り付ける

△ **注意：** 用紙トレイが閉まっていることを確認してください。



1. スピンドルの右端をプリンタから取り外し、次に左端を取り外します。

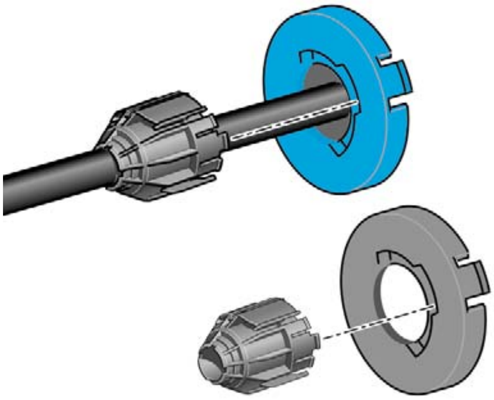
   ⚠ **警告！** 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

2. スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストッパが付いています。青いストッパは、新しいロール紙を取り付けるために取り外すことができます。また、どのような幅のロール紙でも固定できるように、スピンドルに沿ってスライドさせることができます。スピンドルの端から青い用紙ストッパを取り外します。

3. 厚紙製3インチ芯のロール紙を使用する場合、プリンタに同梱されている芯アダプタを取り付けます。

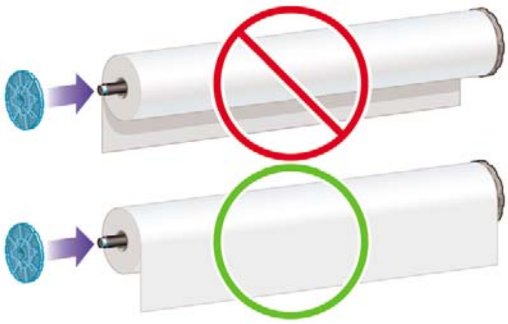


4. ロール紙が長い場合は、スピンドルを台の上に水平に置いて、取り付けるようにしてください。

ヒント： 大きなロール紙の作業には、2人必要な場合があります。

5. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して180度回転し、取り付け直します。スピンドルには、正しい向きを示すラベルが付貼されています。

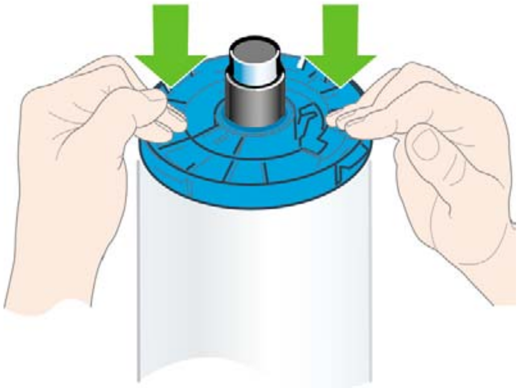
注記： プリンタの背面から、青いストッパを右端のホルダーに差し込みます。



ロール紙の両端とスピンドルのストッパの間には、できるだけ隙間がないようにしてください。

用紙の取り扱い

6. スピンドルの開口部に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



7. ロール紙の端に押し込めるところまで適度な力で押し込みます。無理やり押し込まないようにしてください。

さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておくと、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます（185 ページの 「アクセサリ」を参照）。

用紙の取り扱い

ロール紙をプリンタに取り付ける

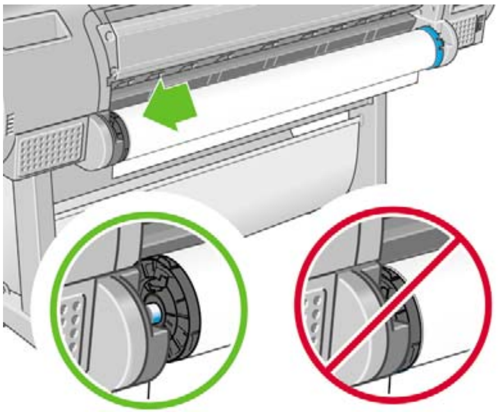
ロール紙を取り付けるには、2つの方法があります。簡単な取り付け手順をお勧めします。

注意： この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。42 ページの 「ロール紙をスピンドルに取り付ける 」を参照してください。

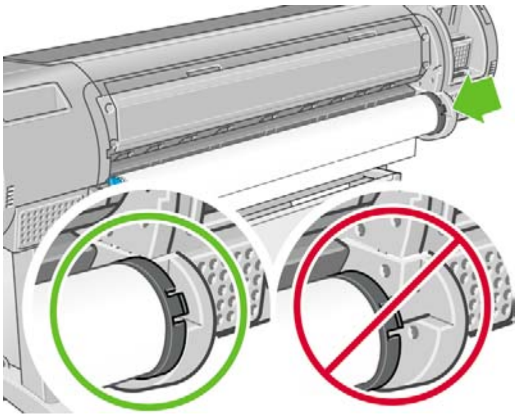
簡単な取り付け手順

1. 使用する用紙の種類に合ったスピンドルが使用されているかを確認します（「41 ページの 「使用するスピンドルを選択する 」」を参照）。

2. プリンタの後ろに立ち、左側のロール紙ホルダーにスピンドルの黒い端を載せます。ロール紙ホルダーに、スピンドルの端を完全に入れないでください。

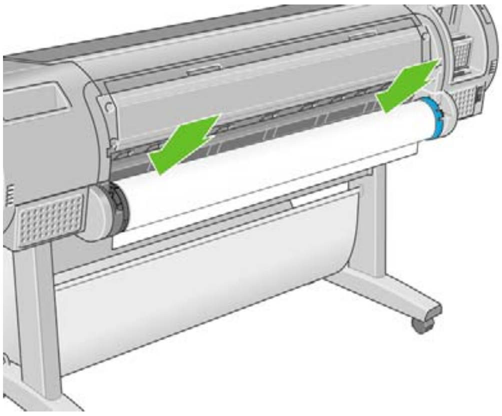


3. 右側のロール紙ホルダーにスピンドルの青い端を載せます。グレーのスピンドルを取り付ける場合は、スピンドルの上端の丸みのある側をロール紙ホルダーに置いてください。

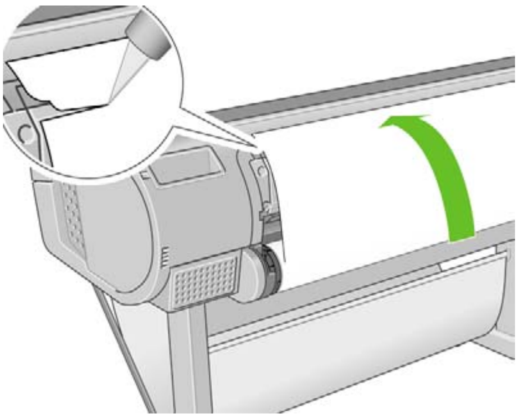


用紙の取り扱い

4. 両手を使って、両端のロール紙ホルダーに同時に押し込みます。スピンドルは所定の位置にぴったりはまります。



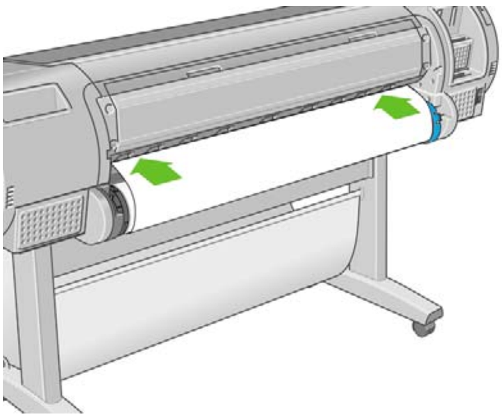
5. ロール紙の端が切れている場合（ロール紙の端を固定するためのテープが原因で起こる場合があります）、または水平にならない場合は、用紙をカット用の溝からカットする分だけ送り、カッターを使用して水平に端をカットします。



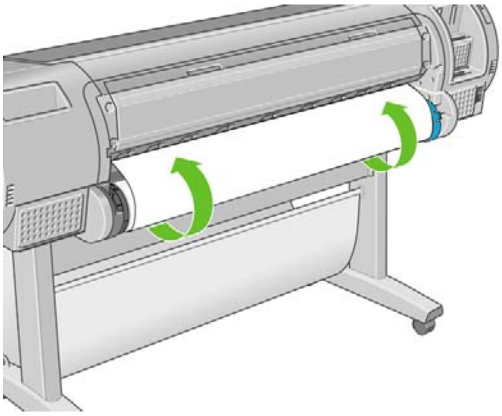
注意： 水平でないと用紙を正しく取り付けることができないため、用紙をできるだけ直線にカットします。

6. 用紙の端をフィーダに差し込みます。

警告！ 指を怪我する場合があるため、プリンタの用紙経路に指を入れないでください。

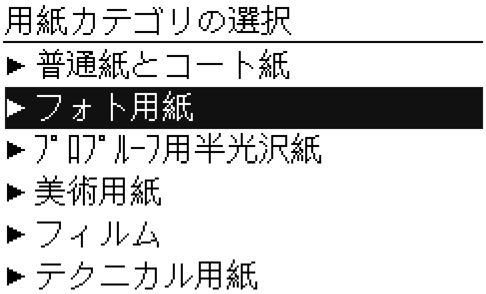


7. スピンドルをフィーダの方向に回します。プリンタが用紙を検出して、用紙をプリンタに自動的に給紙します。



8. 用紙がプリンタに給紙されると、ロール紙またはカット紙のどちらを取り付けるかを尋ねるメッセージがフロントパネルに表示されます。上矢印 および 下矢印 ボタンを使用して［**ロール紙**］を選択し、OK ボタンを押します。

9. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。



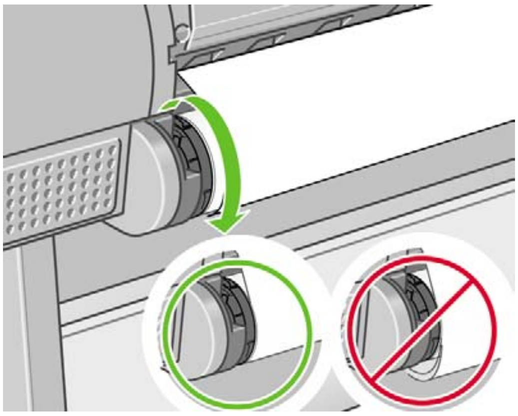
ヒント： 用紙リストに表示されない用紙の種類を取り付けた場合は、198 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない 」を参照してください。

10. プリンタは位置調整を行い、幅を測定します。

11. フロントパネルをご覧ください。指示が表示される場合があります。

12. ロール紙が正しく取り付けられると、フロントパネルに「**印刷可能です**」というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。ロール紙が正しく取り付けられていない場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。

13. ロール上で用紙がたるんでいる場合は、ピンと張るまでスピンドルの端で軽く巻き直します。



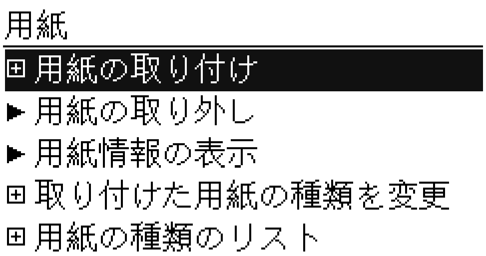
注記： 用紙の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生した場合は、196 ページの 「用紙が正しく取り付けられない 」を参照してください。

ヒント： 印刷した用紙がバスケットに落ちると、破れたり、別の印刷された用紙のインクが付着することがあります。これを防止するには、印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出して、バスケットに入らないようにするか、自動カッターを無効にし（61 ページの 「自動カッターのオン/オフを切り替える 」を参照）、排紙/カット ボタンを使用して印刷された用紙を取り出します。

用紙のメニューの手順

用紙の取り付け方法には、用紙のメニューから行う方法もあります。

1. 45 ページの 「簡単な取り付け手順 」の手順1から手順5の指示に従います。
2. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、［用紙］アイコンを選択します。
3. ［**用紙の取り付け**］を選択します。



用紙の取り扱い

4. ［**ロール紙の取り付け**］を選択します。

用紙の取り付け
- ロール紙の取り付け
- カット紙の取り付け

5. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。

用紙カテゴリの選択
- ▶ 普通紙とコート紙
- ▶ フォト用紙
- ▶ ﾌﾟﾙｰﾌﾟ用半光沢紙
- ▶ 美術用紙
- ▶ フィルム
- ▶ テクニカル用紙

ヒント： 用紙リストに表示されない用紙の種類を取り付けた場合は、198 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない 」を参照してください。

6. 簡単な取り付け手順の6以降を実行します。手順8～9は省略します。

ヒント： 印刷した用紙がバスケットに落ちると、破れたり、別の印刷された用紙のインクが付着することがあります。これを防止するには、印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出して、バスケットに入らないようにするか、自動カッターを無効にし（61 ページの「自動カッターのオン/オフを切り替える 」を参照）、排紙/カット ボタンを使用して印刷された用紙を取り出します。

ロール紙を取り外す

ロール紙を取り外す前に、ロールに用紙があるかどうか、またはロールの用紙がなくなったかどうかを確認し、以下に説明する適切な手順に従ってください。

注意： 印刷中は用紙に触れないでください。印刷品質に問題が発生する原因となります。

ロールに用紙がある場合の 用紙の取り外し ボタンの手順

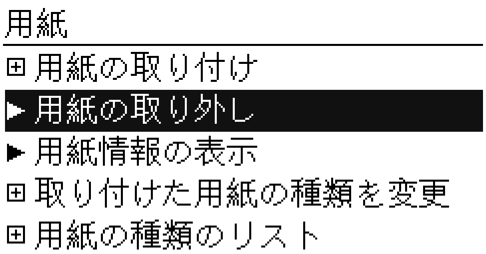
ロールに用紙がある場合は、以下の手順に従ってください。

1. フロントパネルの 用紙の取り外し ボタンを押します。
2. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。
3. フロントパネルにメッセージが表示されたら、プリンタから取り除かれるまで、スピンドルの端で用紙を軽く巻き取ります。
4. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。

ロールに用紙がある場合の用紙のメニューの手順

ロールに用紙がある場合、フロントパネルのメイン メニューにある用紙のメニューからもこの処理を開始できます。

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[用紙] アイコンを選択します。
2. [**用紙の取り外し**] を選択します。



3. 用紙の取り外し ボタンの手順の2から実行します。

ロールに用紙がない場合の手順

用紙の最後がロールからすでに外れている場合は、以下の手順に従ってください。

1. すでに用紙の取り外しを開始している場合は、フロントパネルの キャンセル ボタンを押して、その手順をキャンセルします。
2. 左側の青いレバーを上げます。フロントパネルにレバーに関する警告が表示された場合は、無視してください。
3. プリンタから用紙を引き出します。用紙に触れることができる場所から引き出します。プリンタの背面から引き出すことをお勧めします。
4. 青いレバーを下げます。
5. フロントパネルに警告メッセージが表示された場合は、OK ボタンを押してメッセージを消します。

カット紙を取り付ける

カット紙を取り付けるには、2つの方法があります。簡単な取り付け手順をお勧めします。

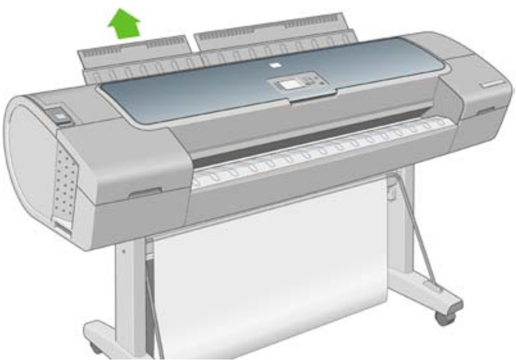
注意： カット紙を取り付けるには、その前にロール紙を取り外す必要があります（50 ページの 「ロール紙を取り外す 」および54 ページの 「カット紙を取り外す 」を参照)。

注意： 0.5mmより厚手のカット紙では、カット紙の長さと等しいスペースをプリンタの背面に取る必要があります。

簡単な取り付け手順

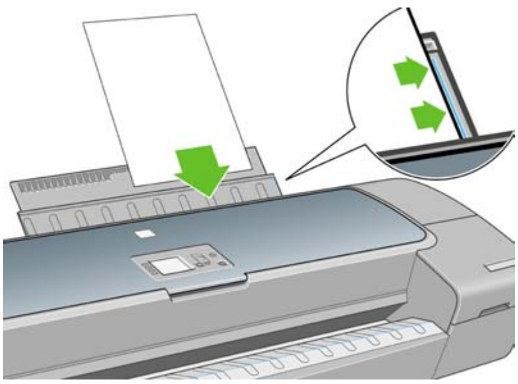
1. プリンタの前面に立って、用紙トレイを開きます。カット紙が長い場合は、右の拡張部分を引き出してください。また、用紙の幅が広い場合は、左の拡張部分を引き出してください。

   ヒント： トレイを開くことが困難な場合は、プリンタの背面から作業を行ってください。

   注記： 拡張部分は7cmあり、所定の位置にぴったりはまります。

2. フィーダにカット紙を挿入します。カット紙を取り付け線に合わせて取り付け、厚手のカット紙では、それ以上入らなくなるまで用紙を挿入します。プリンタは、カット紙を3秒で検出します。秒読みは、フロントパネル ディスプレイに表示されます。

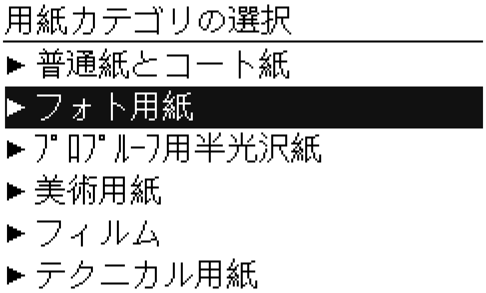
   警告！ プリンタの用紙経路に指を入れないでください。

3. 秒読み後、用紙がプリンタに給紙されます。カット紙がまっすぐ挿入されるように手を添えます。これは、特に厚手用紙で重要です。

用紙の取り扱い

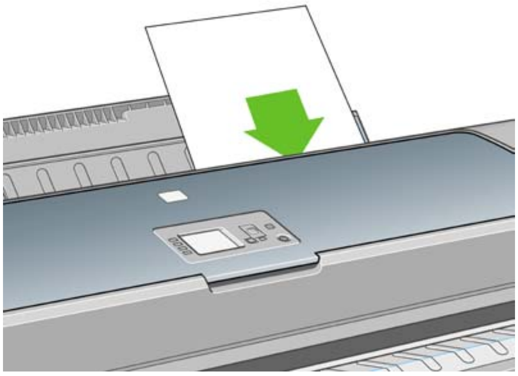
4. ロール紙またはカット紙のどちらを取り付けるかを尋ねるメッセージがフロントパネルに表示されます。上矢印 および 下矢印 ボタンを使用して **カット紙** を選択します。

5. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。



ヒント： 用紙リストに表示されない用紙の種類を取り付けた場合は、198 ページの 「用紙の種類がドライバに含まれていない 」を参照してください。

6. プリンタは位置調整を行い、カット紙を測定します。



注記： カット紙の長さによっては、プリンタ前面に排紙されます。

7. 用紙が正しく取り付けられると、フロントパネルに「**印刷可能です**」というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。用紙がまっすぐ取り付けられていない場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。

注記： 正しく取り付けられると、カット紙はプリンタ背面に給紙されます。

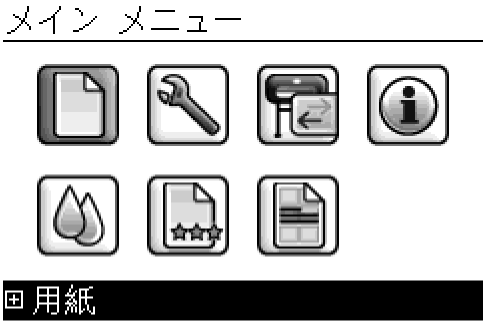
注記： 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、196 ページの 「用紙が正しく取り付けられない 」を参照してください。

用紙のメニューの手順

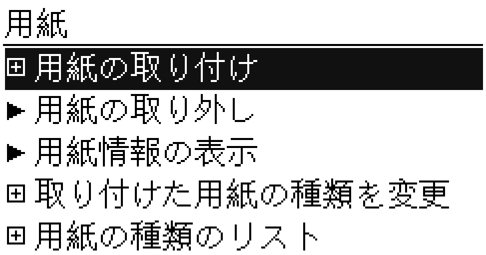
用紙の取り付け方法には、用紙のメニューから行う方法もあります。

1. 簡単な取り付け手順の1を実行します。

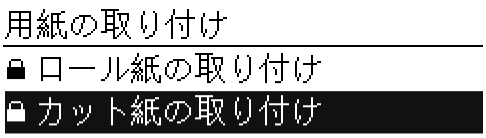
2. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[用紙] アイコンを選択します。



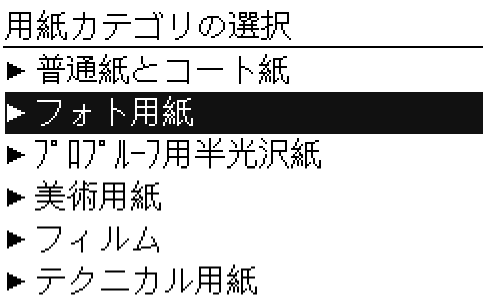
3. [**用紙の取り付け**] を選択します。



4. [**カット紙の取り付け**] を選択します。



5. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。



ヒント： 用紙リストに表示されない用紙の種類を取り付けた場合は、198 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない 」を参照してください。

6. 簡単な取り付け手順の2から実行します。手順4および5は省略します。

カット紙を取り外す

印刷せずに用紙を取り外すには、用紙の取り外し ボタンまたは用紙のメニューの手順を使用します。

注記： 印刷後にカット紙を取り外すには、プリンタの前面から用紙を引き出します。

注意： 印刷中は用紙に触れないでください。印刷品質に問題が発生する原因となります。

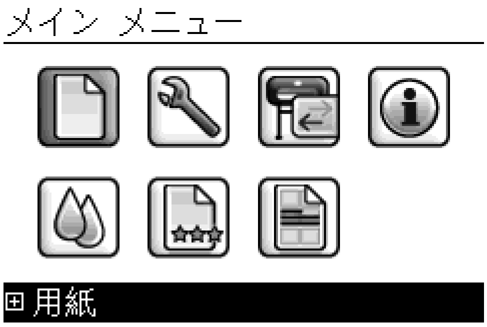
用紙の取り外し ボタンの手順

1. フロントパネルの 用紙の取り外し ボタンを押します。
2. カット紙がプリンタの前面に排紙されます。手動で取り出すか、バスケットに落としておくことができます。

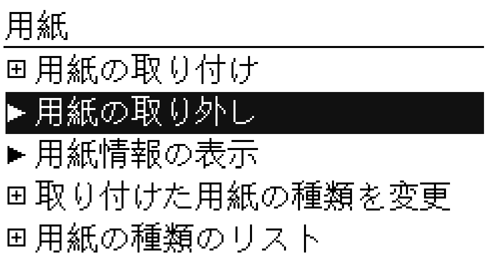
用紙のメニューの手順

用紙のメニューからカット紙を取り外すこともできます。

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、［用紙］アイコンを選択します。



2. **［用紙の取り外し］**を選択します。カット紙がプリンタの前面に排紙されます。手動で取り出すか、バスケットに落としておくことができます。



用紙に関する情報を表示する

取り付けた用紙の情報を表示するには、フロントパネルにある 取り付けられている用紙の表示 ボタンを押します。

また、[用紙] アイコンを選択し、次に [**用紙情報の表示**] を選択することもできます 。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙またはカット紙のステータス
- 用紙メーカー
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅 (mm) (推定値)
- 用紙の長さ (mm) (推定値)
- カラーキャリブレーション ステータス
- 拡張精度キャリブレーション

用紙が取り付けられていない場合は、**ステータス** : **用紙がありません** というメッセージが表示されます。

HP Easy Printer CareおよびHP プリンタ ユーティリティのページにも、製造者名、カラーキャリブレーション ステータス、拡張精度キャリブレーション ステータスを除いて同じ情報が表示されます。

注記： フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です (224 ページの 「印刷が擦り切れる、または傷がつく 」を参照)。

用紙プロファイル

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、最適な印刷品質を実現するために、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを「メディアプロファイル」または「用紙プロファイル」といいます。用紙プロファイルには、用紙の色の特徴を記述するICCプロファイルや、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プロファイルは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙を表示するとスクロールに不便なため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のメディア プロファイルのみが用意されています。プリンタにないプロファイルの用紙の種類を使用する場合は、フロントパネルの表示からその用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプロファイルを割り当てるには3つの方法があります。

- フロントパネル、HP Easy Printer Care (Windows)、またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) で、使用する用紙の種類になるべく近いカテゴリと種類を選択して、HPの工場出荷時の用紙プロファイルを使用します。

  注記： カラーが正確ではない場合があります。この方法は、高品質の印刷には向いていません。

- 正しい用紙プロファイルをダウンロードするには、http://www.hp.com/go/designjet/downloads/にアクセスします。

  注記： HPでは、HP用紙の種類に対するプロファイルのみを提供しています。必要な用紙プロファイルがWeb上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリース ノートを参照して、情報を確認してください (180 ページの 「ファームウェアをアップデートする 」を参照)。

- カスタム用紙を追加して (57 ページの 「カスタム用紙の種類を追加する 」を参照)、ICCプロファイルを作成します。これは、HP純正用紙とHP純正以外の用紙の両方で必要な作業です。

  注意： 内蔵されている分光測光器は、Graphic Arts International Standardsで推奨されている45/0分光測光器です。しかし、テクスチャード光沢紙のカラーを測定するには、45/0ジオメトリは適切ではありません。通常、45/0分光測光器は光沢紙上のカラーを正確に測定できません。このため、HP コレクター半光沢キャンバスでは自動カラーキャリブレーションは行われません。

カスタム用紙の種類を追加する

カスタム用紙をプリンタで使用する前に、カスタム用紙をプリンタに追加して、プリンタでカラーキャリブレーションを実行できるようにします。HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にあるHP Color Centerを使用して、カスタム用紙を追加できます。

1. HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) のHP Color Centerに移動します。
2. **用紙の管理** を選択します。
3. Windows の場合、[**ユーザー定義用紙を追加**] を選択します。Mac OS の場合、+ をクリックします。
4. 用紙名を入力します。

   注記： 別のユーザとの混乱を防ぐために、用紙の商品名を使用することをお勧めします。

5. 用紙のカテゴリを選択します。

   ヒント： 用紙のカテゴリは、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータを決定します。満足できる結果を得るためには、198 ページの 「用紙の種類がドライバに含まれていない 」を参照してください。

6. カスタム用紙を取り付けます (45 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」または51 ページの 「カット紙を取り付ける 」を参照)。

   注意： 内蔵されている分光測光器は、Graphic Arts International Standardsで推奨されている45/0分光測光器です。しかし、テクスチャード光沢紙のカラーを測定するには、45/0ジオメトリは適切ではありません。通常、45/0分光測光器は光沢紙上のカラーを正確に測定できません。このため、HP コレクター半光沢キャンバスでは自動カラーキャリブレーションは行われません。

7. **次へ** をクリックします。プリンタはカラーキャリブレーションを実行し、キャリブレーション チャートを印刷します。この処理には10分ほどかかる場合があります。

   注記： HP Color Centerで利用できる処理の詳細については、92 ページの 「カラーマネジメント プロセスの概要 」を参照してください。

8. 新しいキャリブレーション パラメータが計算されて保存されると、ICCプロファイルの作成を促すメッセージが表示されます。**完了** をクリックします。カスタム用紙が選択した用紙カテゴリに追加されます。
9. 最適なカラー精度で用紙に印刷するICCプロファイルを作成するには、96 ページの 「カラープロファイリング 」を参照してください。

取り付けられている用紙への印刷

プリンタに取り付けられている任意の用紙にジョブを印刷するには、プリンタ ドライバの［用紙の種類］オプションで［**任意の用紙**］を選択します。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［用紙/品質］タブを選択し、［用紙の種類］プルダウン メニューで［**任意の用紙**］を選択します。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（T1100）：［用紙の種類/品質］パネルを選択し、［用紙の種類］プルダウン メニューで［**任意**］を選択します。
- **Mac OSの［PSプリント］ダイアログの場合**（T1100ps）：［イメージ品質］パネルを選択し、［用紙の種類］プルダウン メニューで［**任意**］を選択します。

注記：　［**任意の用紙**］はドライバのデフォルト設定です。

用紙の取り扱い

用紙を保守する

用紙の品質を保守するには、以下の推奨事項に従ってください。

- ロール紙を別の紙または布で覆って保管する
- カット紙をカバーで覆って保管し、プリンタに取り付ける前にクリーニングまたはブラッシングする
- 入出力プラテンとカット紙トレイをクリーニングする
- プリンタの透明のウィンドウを常に閉じておく

注記： フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です（224 ページの 「印刷が擦り切れる、または傷がつく 」を参照）。

用紙の取り扱い

乾燥時間を変更する

複数印刷で時間がより重要な場合、取り扱う前にインクが乾燥している必要がある場合など、印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

［セットアップ］アイコンを選択して、次に［**用紙の取り扱い**］－［**乾燥時間の選択**］を選択します 。次のオプションを選択できます。

- 長い：インクが完全に乾燥するように、推奨時間より長く設定します。
- 最適：選択した用紙のデフォルト時間（推奨）に設定します。
- 短い：品質の重要性が低い場合は、推奨時間より短く設定します。
- なし：乾燥時間を無効にして、印刷が終了するとすぐに印刷された用紙を取り出します。

注意： 印刷された用紙が取り出される際にインクが乾燥していない場合は、出力トレイにインクを付けたり、印刷された用紙にインクを残したりすることがあります。

注記： 印刷中に乾燥時間をキャンセルすると、同時に実行されているプリントヘッド保守が原因で、プリンタが用紙を正しく給紙してカットできなくなります。乾燥時間がゼロの場合は、プリンタは用紙をカットして、次にプリントヘッド保守を実行します。ただし、乾燥時間がゼロより大きい場合、プリントヘッド保守が終了するまでは、排紙/カット ボタンが押されたとしても、プリンタは用紙をカットしません。

自動カッターのオン/オフを切り替える

プリンタの用紙カッターのオン/オフを切り替えるには、以下の手順に従ってください。

- HP Easy Printer Care（Windows）で、**[設定]** タブ – **[プリンタ設定]** – **[詳細設定]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- HP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）で、**[設定]** – **[プリンタ設定]** – **[プリンタ設定の構成]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- 内蔵Webサーバで、**[セットアップ]** タブを選択し、次に **[プリンタ設定]** – **[詳細設定]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[セットアップ] アイコンを選択し、**[印刷設定]** – **[詳細設定]** を選択して、 カッター オプションを変更します。

注記： 自動カッターが無効になっているときにロール紙をカットするには、62 ページの「用紙を給紙してカットする 」を参照してください。

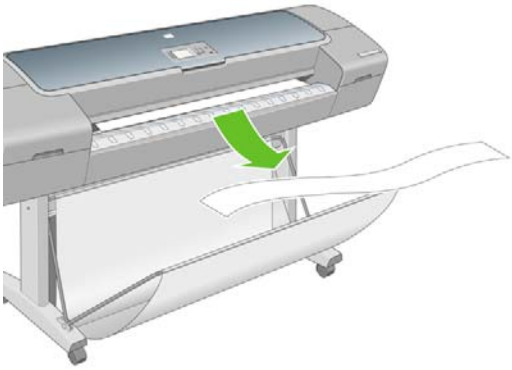
注意： キャンバスや非常に厚手の用紙など、排紙/カット ボタンを押してもカットされない用紙もあります。

用紙を給紙してカットする

自動カッターが無効になっているときに用紙を給紙してカットするには、フロントパネルで 排紙/カット ボタンを押します。用紙が前に送られて、前面の端で水平にカットされます。

注記： 用紙が印刷されるたびにプリントヘッドで保守サービスが行われ、この処理が終了するまで用紙がカットできなくなるので、排紙/カット ボタンを押した後は、プリンタで用紙を直接カットできなくなります。

出力トレイからカットされた用紙を取り除きます。



注意： 出力トレイに用紙の切れ端や短い印刷用紙が残っている場合は、プリンタで紙詰まりが発生することがあります。

注記： フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です（224 ページの 「印刷が擦り切れる、または傷がつく 」を参照）。

用紙の取り扱い

5 印刷

プリント ジョブを作成する

印刷するにはデータをプリンタに送信する必要があります。データはプリント ジョブを構成し、プリンタの印刷キューに入れられます。プリント ジョブをプリンタに送信するには、主に次の2つの方法があります。

- プログラムから直接印刷するには、通常どおりプログラムの印刷コマンドを使用します。HP Designjetプリンタを選択すると、ジョブをプリンタに送信するプリンタ ドライバが呼び出されます。
- サポートされているグラフィック形式にすでになっているファイルがある場合は、内蔵Webサーバを使用して、プリンタ ドライバを経由せずに直接プリンタに送信できます（以下を参照）。

内蔵Webサーバを使用したファイルの印刷

HP Easy Printer Careまたは内蔵Webサーバで、**[ジョブ センター]** – **[ジョブの送信]** を選択します。次のウィンドウが表示されます。



[ファイルの追加] ボタンを押すと、印刷するファイルをコンピュータから選択できます。ファイルは、次のいずれかの形式である必要があります。

- PDF
- PostScript
- HP-GL/2
- RTL
- TIFF
- JPEG
- CALS/G4

注記： ファイルに出力するとき、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、その名前には .plt、.prn などの拡張子が付く場合があります。

ファイルが上記の形式に該当しない場合は、正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定（用紙サイズ、向き、サイズ変更、部数など）で生成された場合、**[印刷]** ボタンを押すだけでプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する場合は、**[ジョブ設定]** セクションで必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明が表示されるため、各設定の動作を知ることができます。設定を **[デフォルト]** のままにすると、ジョブに保存されている設定が使用されることに注意してください。何も設定されていないジョブでは、プリンタの設定が使用されます。

印刷品質を選択する

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。

したがって、標準の印刷品質セレクタはスライダになっており、これを使用して品質および速度間の選択が可能です。

その他の方法としては、カスタム オプションの［**高品質**］、［**標準**］、［**高速**］から選択することもできます。印刷品質に影響する3つの追加のカスタム オプションである［**高精細**］、［**パスの拡張**］、および［**グロスエンハンサ**］も提供されています。74 ページの 「高品質で印刷する 」を参照してください。

注記： Windowsドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリング解像度が［カスタム印刷品質オプション］ダイアログ ボックスに表示されます。Mac OSの［プリント］ダイアログでは、［**一覧**］パネルに表示されます。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［**用紙/品質**］タブに移動して［印刷品質］セクションを確認します。［**標準オプション**］を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。［**カスタム印刷品質オプション**］を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（PostScriptドライバ）：［**イメージ品質**］パネルを開きます。品質オプションで［**標準**］を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで［**カスタム設定**］を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（PCLドライバ）：［**用紙の種類/品質**］パネルに移動して［**用紙**］を選択します。品質オプションで［**標準**］を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで［**カスタム設定**］を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**基本設定**］-［**印刷品質**］を選択します。次に［**標準オプション**］を選択すると、［**速度**］および［**品質**］間の選択が可能です。［**カスタム印刷品質オプション**］を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］-［**印刷品質**］を選択します 。

  注記： コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

注記： プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

用紙サイズの選択

用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

注記：　ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。69 ページの 「印刷を拡大縮小する 」を参照してください。

- **Windowsドライバのダイアログの場合：** **[用紙/品質]** タブを選択し、次に **[文書サイズ]** を選択します。
- **Mac OSの [ページ設定] ダイアログの場合：** **[対象プリンタ]** プルダウン メニューで使用するプリンタを選択し、次に **[用紙サイズ]** を選択します。
- **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合：** **[詳細設定]** - **[用紙]** - **[ページサイズ]** - **[標準]** を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：** [セットアップ] アイコンを選択し、次に **[印刷設定]** - **[用紙オプション]** - **[用紙サイズの選択]** を選択します 。

  注記：　コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

カスタム用紙サイズ

用紙サイズのリストに表示されない標準以外の用紙サイズを選択するには、以下の手順を実行します。

- **Windowsでは、**2つの方法があります。
  - ドライバ ダイアログで、**[用紙/品質]** タブの [文書サイズ] から **[ユーザー設定]** を選択し、次に **[保存]** をクリックして新しい用紙サイズを保存します。[文書サイズ] のリストで新しいユーザ設定を表示するには、プリンタのプロパティを終了し、次に再度プリンタのプロパティを表示して **[詳細]** を使用します。
  - **[スタート]** メニューで **[プリンタと Fax]** を選択し、**[ファイル]** メニューで **[サーバーのプロパティ]** を選択します。**[用紙]** タブで **[新しい用紙を作成する]** ボックスをオンにして、新しい用紙の名前と寸法を指定し、**[用紙の保存]** をクリックします。
- **Mac OS X 10.4の場合：** [ページ設定] ダイアログで **[用紙サイズ]** - **[カスタムサイズを管理]** を選択します。
- **Mac OS X 10.2または10.3の場合：** [ページ設定] ダイアログで **[設定]** - **[カスタム用紙サイズ]** を選択します。
- **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合：** **[詳細設定]** - **[用紙]** - **[ページサイズ]** - **[カスタム]** を選択します。

マージン オプションを選択する

デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には5mmマージンがあります(カット紙の下端では17 mm)。ただし、いくつかの方法でこの動作を変更できます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［**用紙/品質**］タブを選択して、次に［**マージン/レイアウト**］ボタンを選択します。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（PostScriptドライバ）：［**仕上げ**］パネルを選択して、次に［**レイアウト**］を選択します。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（PCLドライバ）：［**用紙の種類/品質**］パネルを選択して、次に［**レイアウト**］を選択します。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**詳細設定**］－［**用紙**］－［**マージン設定**］を選択します。

以下のオプションのいくつかが表示されます。

注記： Mac OSでは、使用できるマージン オプションは ページ設定 ダイアログで選択した用紙サイズによって異なります。たとえば、フチ無し印刷では、「マージンなし」が含まれている用紙サイズ名を選択する必要があります。

- ［**標準**］。イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- ［**オーバーサイズ**］。イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- ［**内容をマージンでクリップ**］イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。このオプションでは、イメージがページと同じサイズの場合、プリンタでイメージの両端が白または重要でないと判断され、印刷の必要がないと見なされます。これは、イメージにフチがある場合に役に立ちます。
- ［**フチ無し**］イメージは、選択したサイズのページにマージンなしで印刷されます。イメージは、イメージの端と用紙の端の間にマージンが残らないように、若干拡大されます。［**プリンタで自動**］を選択した場合、この拡大は自動的に行われます。［**アプリケーションで手動**］を選択した場合、印刷するページより若干大きいカスタム ページ サイズを選択する必要があります。77 ページの 「マージンなしで印刷する 」も参照してください。

ショートカットを使用して印刷する

プリンタ ドライバには、特定のジョブを印刷する場合にさまざまな値を設定できるオプションが多数用意されています。印刷機能のショートカットには、特定のジョブの種類に適用するこれらすべてのオプションの値が格納されており、シングル クリックでこれらの値をすべて設定できます。設定の一部（文書サイズ、給紙方法、印刷の向きなど）は、アプリケーションで設定された値が優先されることがあります。

ショートカットを使用するには、Windowsドライバのダイアログで **[印刷機能のショートカット]** タブを選択します。

注記： ショートカットを使用できるのは、Windowsのみです。



使用できるショートカットのリストが表示されます。印刷するジョブの種類に適合するショートカットを選択します。

これにより、ドライバのオプションが調整され、ジョブに適用します。すぐに印刷することも可能ですが、その設定で問題ないか確認することもできます。必要に応じてショートカットを選択し、その設定を手動で変更できます。

ヒント： 少なくとも、**[印刷機能のショートカット]** タブに表示される設定（文書サイズ、印刷の向きなど）を確認してください。

[初期設定] ショートカットには、プリンタのデフォルト設定が保存されています。これをクリックすると、すべてのオプションがデフォルト値に設定されます。

[印刷機能のショートカット] では、特定のニーズに合わせてカスタマイズできます。ユーザ設定のショートカットを作成するには、以下の手順に従います。

1. 要件に最も近いショートカットを選択します。
2. **[印刷機能のショートカット]** タブまたはその他のタブで、値を変更します。
3. 新しい印刷ショートカットを保存します。

後でそのショートカットが必要ないと判断した場合は、それを削除できます。

印刷を拡大縮小する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小（大体は拡大）するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイル サイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。この場合は、ソフトウェアで用紙サイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合：** [**機能**] タブを選択して [**サイズ変更オプション**] を選択します。
  - [**文書を印刷する用紙**] オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージ サイズを調整できます。たとえば、用紙サイズでISO A2を選択し、A3サイズのイメージを印刷する場合、A2サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズでISO A4を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - [**%(元のサイズに対する比率)**] オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲（ページからマージンをマイナスした範囲）を指定した比率で拡大/縮小し、プリンタ マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合（PostScriptドライバ）：** [**仕上げ**] パネルを選択し、次に [**文書を印刷する用紙**] を選択して、選択した用紙のサイズにイメージのサイズを合わせて調整します。たとえば、用紙サイズでISO A2を選択し、A4サイズのイメージを印刷する場合、A2サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズでISO A3を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A3サイズに合うようにイメージが縮小されます。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合（PCLドライバ）：** [**用紙処理**] パネルを選択し、次に [**出力用紙サイズ**] でイメージを拡大縮小する用紙サイズを選択します。イメージのサイズを大きくする場合には、[**縮小のみ**] ボックスのチェックがオフになっていることを確認します。

  注記： [**出力用紙サイズ**] オプションは、Mac OS X 10.4以降でのみ使用できます。

- **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合：** [**詳細設定**] - [**サイズ変更**] を選択します。
  - [**標準**] および [**カスタム**] オプションを使用すると、選択した標準またはカスタムの用紙サイズに合わせて、イメージ サイズを調整できます。たとえば、用紙サイズでISO A2を選択し、A3サイズのイメージを印刷する場合、A2サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズでISO A4を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - [**%(元のサイズに対する比率)**] オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲（ページからマージンをマイナスした範囲）を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **フロントパネルを使用する場合：** [セットアップ] アイコンを選択し、次に [**印刷設定**] - [**用紙オプション**] - [**サイズ変更**] を選択します 。

1枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるかどうかを確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

重なった線の処理方法を変更する

注記： このトピックは、HP-GL/2ジョブを印刷する場合にのみ該当します。

マージ設定では、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。次の2種類の設定があります。

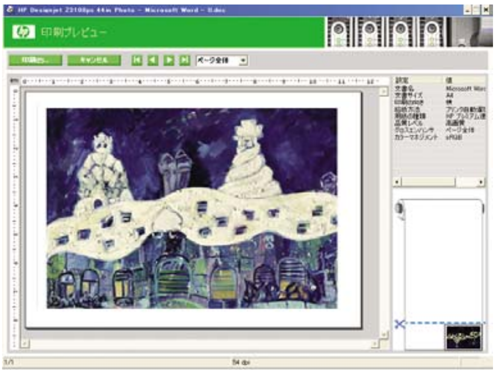
- [オフ]：線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。
- [オン]：線が交差している場合、2つの線の色がマージされます。

マージ設定を [オン] にするには、フロントパネルに移動して [セットアップ] アイコンを選択し、次に **[印刷設定]** - **[HP-GL/2の設定]** - **[マージの有効化]** を選択します 。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージ オプションを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

印刷をプレビューする

画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

- Windowsでは、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - ［**印刷プレビューの表示**］オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの［**印刷機能のショートカット**］タブ、［**用紙/品質**］タブ、および［**機能**］タブにあります。印刷前にプレビューが表示されます。印刷設定およびイメージのレイアウトを確認し、印刷を継続するには［**印刷**］をクリックします。ジョブをキャンセルするには［**キャンセル**］をクリックします。



- Mac OSでは、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - ［プリント］ダイアログ ボックスの下部にある［**プレビュー**］ボタンをクリックします。これは、Mac OSで提供される基本的な印刷プレビューです。
  - PostScriptドライバを使用している場合は、［**印刷プレビューの表示**］オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの［**印刷**］ダイアログの［**仕上げ**］パネルにあります。

印刷

- PCL ドライバを使用している場合は、[プリント] ダイアログ ボックスの下部にある **[PDF]** ボタンをクリックし、次に **[HP 印刷プレビュー]** をクリックします。ここでは、さらに機能が付加されたプレビューが提供されます。用紙サイズ、用紙の種類、印刷品質を変更したり、イメージを回転したりできます。以下を参照してください。



注記： HP 印刷プレビューは、Adobe InDesign、Adobe Illustrator、Adobe ReaderまたはApple Apertureを使用する場合には利用できません。

- 内蔵Webサーバを使用して印刷をプレビューするには、**[基本設定]** – **[プレビュー待ち]** を選択します。

試し印刷をする

高速の試し印刷品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［**用紙/品質**］タブに移動して［印刷品質］セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端（[速度]）まで移動させます。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（PostScriptドライバ）：［**イメージ品質**］パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端（[速度]）まで移動させます。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（PCLドライバ）：［**用紙の種類/品質**］パネルに移動し、［**用紙の種類**］を選択して印刷品質のスライダを左端（[速度]）まで移動させます。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**基本設定**］－［**印刷品質**］－［**標準オプション**］－［**速度**］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**印刷品質**］－［**品質レベルの選択**］－［**高速**］を選択します。

注記：　コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

印刷

高品質で印刷する

高品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［用紙/品質］タブに移動して［印刷品質］セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端（[品質]）まで移動させます。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合（PostScriptドライバ）**：［イメージ品質］パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端（[品質]）まで移動させます。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合（PCLドライバ）**：［用紙の種類/品質］パネルに移動し、[用紙]を選択して印刷品質のスライダを右端（[品質]）まで移動させます。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［基本設定］－［印刷品質］－［標準オプション］－［品質］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［印刷設定］－［印刷品質］－［品質レベルの選択］－［高品質］を選択します。

注記： コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

高解像度のイメージがある場合

イメージがレンダリング解像度より大きい解像度である場合（Windowsでは［カスタム印刷品質オプション］ボックスで確認可能）、[高精細]オプションを選択すると、印刷の鮮明度を増すことができます。このオプションは、光沢紙に［高品質］印刷品質で印刷する場合のみ使用できます。

- **ドライバのダイアログ（Mac OSの［プリント］ダイアログ）の場合**：［標準］印刷品質ではなく［カスタム設定］を選択し、[高精細]ボックスをオンにします。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［基本設定］－［印刷品質］－［カスタム］を選択します。[品質レベル]を［高品質］に、[高精細]を［オン］に設定します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［印刷設定］－［印刷品質］－［高精細の有効化］を選択します 。

注記： ［高精細］オプションを選択すると、フォト用紙の場合に印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

プリントヘッドに問題がある場合

プリントヘッドに詰まってしまったノズルが多数存在する場合、[パスの拡張]オプションを選択すると、印刷品質を向上できます。

- **ドライバのダイアログ（Mac OSの［プリント］ダイアログ）の場合**：［標準］印刷品質ではなく［カスタム設定］を選択し、[パスの拡張]ボックスをオンにします。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［基本設定］－［印刷品質］－［カスタム］を選択します。[品質レベル]を［高品質］に、[パスの拡張]を［オン］に設定します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［印刷設定］－［印刷品質］－［パスの拡張の有効化］を選択します 。

注記： ［パスの拡張］オプションを選択すると、印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

ヒント： このオプションを使用する代わりに、[イメージ診断の印刷] を使用することを検討してください。問題の原因となるプリントヘッドを特定して、それらをクリーニングするか交換します。239 ページの 「イメージ診断の印刷 」を参照してください。

フォト用紙に印刷する場合

フォト用紙に印刷する場合は、グロスエンハンサを使用するかどうかを選択できます。グロスエンハンサを使用すると、全体的な光沢品質が向上し、褐色化を防止できます。次の3種類の設定があります。

- **[オフ]**：グロスエンハンサは使用されません。
- **[エコノモード]**：グロスエンハンサはイメージのインク領域には使用されますが、インクなし（白）の領域には使用されません。
- **[ページ全体]**：グロスエンハンサは定義されているページの全領域（インクなしの領域も含む）に使用されます。

印刷品質のスライダを [品質] に設定している場合、**[グロスエンハンサ]** オプションは自動的に **[ページ全体]** に設定されます。この設定を変更するには、以下の手順に従います。

- **ドライバのダイアログ（Mac OSの [プリント] ダイアログ）の場合**：[標準] 印刷品質ではなく [カスタム設定] を選択し、**[グロスエンハンサ]** オプションを選択します。
- **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合**：**[基本設定]** – **[印刷品質]** – **[カスタム]** – **[グロスエンハンサ]** を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：[セットアップ] アイコンを選択し、次に **[印刷設定]** – **[印刷品質]** – **[グロスエンハンサ]** を選択します 。

半光沢フォト用紙に印刷する場合

半光沢フォト用紙に印刷する場合は、HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙を使用することをご検討ください。この用紙には以下の特長があります。

- より広い色域
- 黒の光学濃度の向上
- より多くのPANTONEに対応
- より滑らかな表面
- より丈夫

グレー階調で印刷する

イメージのすべてのカラーを、以下の方法でグレー階調に変換できます。

- **アプリケーション プログラムの場合**： 多くのプログラムでこのオプションが使用できます。
- **Windows ドライバのダイアログの場合**： [カラー] タブをクリックして [カラー オプション] メニューを確認します。[グレースケールで印刷] を選択します。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)**： [カラー品質] パネルに移動して [グレースケールで印刷] を選択します。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合 (PCL ドライバ)**： [用紙の種類/品質] パネルで [カラー] を選択し、[グレースケールで印刷] を選択します。
- **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合**： [カラー] – [カラー/グレー スケール] – [全プリントカートリッジ グレースケール] を選択します。

114 ページの 「モノクロ写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PS ドライバ)」も参照してください。

印刷

マージンなしで印刷する

マージンなしで（用紙の端まで）印刷します。フチ無し印刷とも呼ばれます。光沢ロール紙を使用する場合のみ実行できます。

マージンを残さずに印刷するために、用紙の端より少し外側まで印刷されます。用紙の外に付着したインクは、プラテンに取り付けられたスポンジに吸収されます。

注記： マージンなしで印刷する場合は、イメージがページよりも小さくないかどうかを確認してください。ページよりイメージが小さい場合でも、イメージは自動的には引き延ばされません。

マージンなしで印刷する設定は、以下の方法で行います。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**： **[用紙/品質]** タブを選択し、**[マージン/レイアウト]** ボタンをクリックします。**[フチ無し]** を選択します。
- **Mac OSの [ページ設定] ダイアログの場合（PostScriptドライバ）**： 「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、プリント ダイアログで **[仕上げ]** – **[レイアウト]** – **[フチ無し]** を選択します。
- **Mac OSの [ページ設定] ダイアログの場合（PCLドライバ）**： 「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、[プリント] ダイアログで **[用紙の種類/品質]** – **[レイアウト]** – **[フチ無し]** を選択します。
- **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合**： **[詳細設定]** – **[用紙]** – **[マージン設定]** – **[フチ無し]** を選択します。

[フチ無し] を選択した場合は、[イメージの拡大] で以下のオプションのうち1つを選択する必要があります。

- **[プリンタで自動]** を選択すると、イメージが自動的に少し拡大され（通常、各方向に数ミリメートル）、用紙の端より外側まで印刷されるようになります。
- **[アプリケーションで手動]** を選択したときは、アプリケーション上でイメージを拡大する必要があります。また、実際の用紙サイズより少し大きいカスタム用紙サイズを選択します。

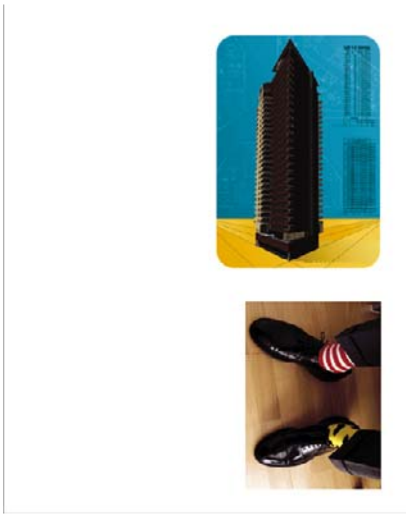
注記： 用紙をプリンタに取り付けた後、最初のプリント ジョブがフチ無し印刷ジョブの場合、印刷前に用紙の先端がカットされます。

フチ無し印刷の最後に、通常、印刷がフチ無しになるように、印刷された用紙が画像エリアの少し内側までカットされます。イメージの残りが次の印刷に含まれないようにするために、用紙が再度カットされます。ただし、ジョブがキャンセルされた場合、またはイメージの下部に余白がある場合、用紙は1度だけカットされます。

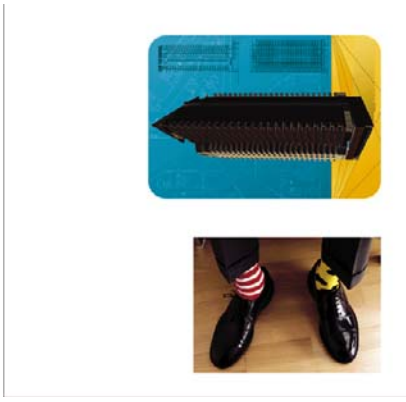
印刷

イメージの回転

デフォルトでは、イメージは、次のように短辺が用紙の先端と平行になるように印刷されます。



次のように、用紙を節約するためにイメージを90°回転させることができます。



このために以下の方法を使用できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：［**機能**］タブを選択し、［**90°回転**］を選択します。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合（PostScript ドライバ）**：［**仕上げ**］パネルに移動して［**90°回転**］を選択します。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**詳細設定**］－［**ロール紙オプション**］－［**回転**］を選択します。
- **フロントパネルの場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**用紙オプション**］－［**回転**］を選択します

注記： コンピュータで回転が設定されている場合、その設定がフロントパネルの設定よりも優先されます。

注記： ジョブを回転させると、クリップを避けるためにページの長さが増える場合があります。これは、上下のマージンは、通常、左右のマージンより大きいためです。

注意：　ロール紙の場合もカット紙の場合も、元の向きが縦のイメージを横に回転させると、用紙の幅にイメージが収まらなくなることがあります。たとえば、D/A1サイズの縦のイメージをD/A1サイズの用紙で90°回転させると、用紙の幅が不足することが予想されます。内蔵Webサーバを使用している場合は、プレビュー画面でこの点が確認されます（警告を表す三角形が表示されます）。

自動回転

一部のプリンタ ドライバでは、[**自動回転**] オプションも選択できます。このオプションでは、サイズの大きすぎる縦のイメージを自動的に90°回転させ、用紙を節約します。

印刷

切り取り線付きで印刷する

切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。個々のジョブで自動的に切り取り線を印刷するには、以下の手順に従います。

- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**詳細設定**］－［**ロール紙オプション**］－［**切り取り線の有効化**］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**用紙オプション**］－［**切り取り線の有効化**］－［**オン**］を選択します

ネスティングしたジョブ（82 ページの 「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する 」を参照）で切り取り線を印刷するには、他のオプションを選択してください。

- **内蔵Webサーバの場合**：［セットアップ］タブ －［**ジョブ管理**］－［**ネスティングが有効な場合に切り取り線を使用**］－［**オン**］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［**ジョブ管理オプション**］－［**ネスティングの設定**］－［**切り取り線の有効化**］－［**オン**］を選択します。

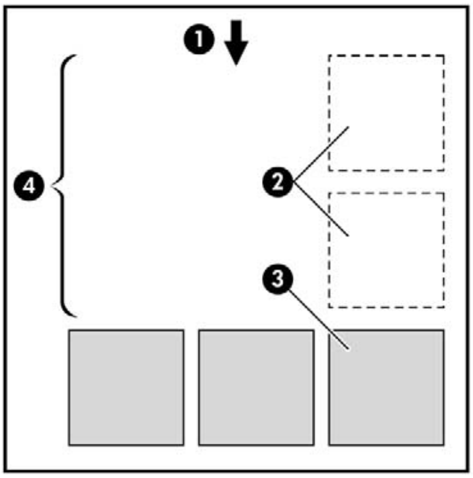
用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 比較的小さなイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用すると、1つずつ連続してではなく、並べて印刷できます。82 ページの 「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する 」を参照してください。
- 比較的小さいページによる複数ページの文書を印刷する場合、1枚の用紙に最大で16ページ分を印刷できます。**[機能]** タブ (Windows用ドライバ) または **[レイアウト]** パネル (Mac OS用ドライバ) の **[用紙の節約オプション]** (Windows) または **[ページ数/枚]** (Mac OS) オプションを使用します。
- 以下のオプションを選択すると、ロール紙を節約できます。
  - **Windowsドライバのダイアログの場合**： **[機能]** タブを選択し、**[上下の余白を削除]** または **[90° 回転]** を選択します。
  - **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合 (PostScript ドライバ)**： **[仕上げ]** パネルを選択し、**[上下の余白を削除]** または **[90° 回転]** を選択します。
  - **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合 (PCLドライバ)**： **[用紙の種類/品質]** パネルを選択し、**[用紙]** を選択して、**[上下の余白を削除]** を選択します。
  - **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合**： **[詳細設定]** – **[ロール紙オプション]** – **[上下の余白を削除]** や **[回転]** を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。71 ページの 「印刷をプレビューする 」を参照してください。

ジョブをネスティングしてロール紙を節約する

ネスティングとは、イメージやドキュメントのページを、1つずつ連続してではなく、自動的に1枚の用紙に並べて印刷することです。これは、用紙の無駄使いを防ぐために使用します。



1. 用紙送りの方向
2. ネスティング オフ
3. ネスティング オン
4. ネスティングにより節約された用紙

プリンタがページをネスティングしようとするタイミングは？

次の両方に当てはまる場合：

- プリンタに、カット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- フロントパネルの［ジョブ管理］メニューまたは内蔵Webサーバの［ジョブ管理］ページで、［**ネスティング**］がオンになっている。

ネスティングできるページは？

ページが大きすぎて2枚のページをロール紙に並べられない場合や、ページ数が多すぎて残りのロール紙に収まりきらない場合を除き、すべてのページをネスティングできます。ネスティングされたページの単一のグループを、2枚のロール紙の間で分割することはできません。

ネスティングに適したページとは？

同じネスティングに収めるには、各ページは以下の点すべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが同じ品質設定（［**高速**］、［**標準**］、または［**高品質**］）であること。
- すべてのページで［**高精細**］および［**パスの拡張**］の設定が同じであること。
- すべてのページで［**マージン**］設定（［**広い**］または［**ふつう**］）が同じであること。
- すべてのページで［**左右反転**］設定が同じであること。
- すべてのページで［**レンダリング用途**］設定が同じであること。
- すべてのページで［**カッター**］設定が同じであること。

印刷

- すべてのページでカラー調整設定が同じであること。106 ページの 「カラー調整オプション 」を参照してください。

- ページはすべてカラーか、すべてグレースケールであること（一部がカラーで一部がグレースケールではないこと）。

- すべてのページが次の2つのグループの一方であること（同じネスティングで2つのグループを混在させることはできない）。

  - HP-GL/2、RTL、CALS/G4

  - PostScript、PDF、TIFF、JPEG

- 解像度が300dpiを超えるJPEG、TIFF、およびCALS/G4ページは、他のページとネスティングできない場合があります。

プリンタが別のファイルを待機する時間は？

プリンタは可能な限り最良のネスティングを実現できるように、ファイルが受信された後、待機します。これは、後続のページがそのファイルとネスティング可能かどうか、またはキューにすでにあるページとネスティング可能かどうかを確認するためです。この待機時間はネスティング待ち時間と呼ばれ、工場出荷時のデフォルト設定は2分です。これは、プリンタが最後のファイルを受け取ってから最後のネスティングを印刷するまで待機する最大時間が2分であることを意味します。この待ち時間は、プリンタのフロントパネルから変更できます。[セットアップ] アイコンを選択し、[**ジョブ管理オプション**] - [**ネスティングの設定**] - [**待ち時間の選択**] を選択します。設定可能な範囲は1～99分です。

プリンタがネスティングのタイム アウトを待機する間、フロントパネルには残りの時間が表示されます。ネスティングを印刷する（ネスティングの待機をキャンセルする）には、排紙 / カット ボタンを押します。

インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端（[速度]）まで移動させます。
- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、インクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用されます。
- 縦向きで印刷するより、横向きで印刷したほうがインクを節約できます。これは、プリントヘッドの保守の際にもインクが使用され、保守が行われる頻度がプリントヘッドの移動回数に連動しているためです。このため、ジョブをネスティングさせると、用紙だけでなくインクも節約できます（82 ページの 「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する 」を参照）。

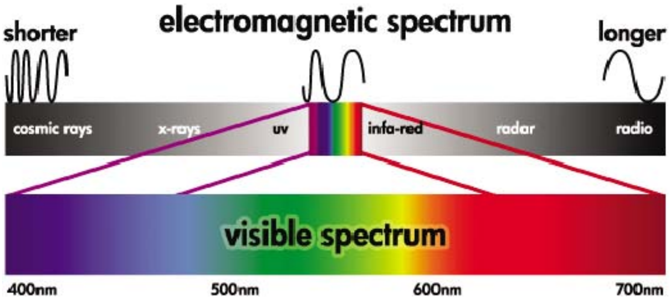
印刷

6 カラーマネジメント

色について

私たちを取り巻く世界には様々な色が溢れていますが、色は私たちにとって、世界をどのように捉えるかを示す最初の姿です。したがって、色とは主観的なものであると言えるでしょう。詳細な調査の結果、色の認識には、目から脳に送られるいくつかの信号によって引き起こされる脳の活動に密接に関係していることがわかっています。これらの信号は、複雑で高度に結び付いた一連の処理段階を経て、目から送られてくる内容と、その他のあらゆる間接的な経験との関係を作ります。目から送られる信号は、目の後部に並ぶ光感受性細胞によって異なり、3つの種類があります。それぞれの種類は異なる物理的特性（波長）の電磁波を感受します。このような電磁波は光と呼ばれ、物体と光が相互作用する方法（発光、反射、吸収、透過、散乱など）により、物体にはそれぞれ色があるように見えます。

各個人が色に対して持つ認識は、それまでの経験や記憶、そしてその経験を言語化する方法によって影響されます。また、色に対する知覚は、明暗の変化、対象の内容、他の色との近似性など、環境要因から影響を受けるため、これらの要因はディスプレイや印刷物の色を認識する上で必ず存在する要素となります。これらのすべての側面（個人の生理的な違いから、過去の経験や記憶、言語的傾向における違いまで）で違いがあるため、1つの対象から反射される同じ光を見ても、色について話す内容は人によって異なります。ただし一方では、個人が色をどのように経験するかには多くの類似点があるため、そのプロセスで注意を払うことにより、非常に具体的な色の分別を他者と共有することも可能です。結論として、色とは、光、対象、および見る側の相互作用の結果によるものであるため、非常に複雑で、極めて主観的な事象であると言えます。



問題：コンピュータの世界での色

プリンタ、ディスプレイ、プロジェクタ、テレビなどのカラー イメージング デバイスは、さまざまな方法、およびさまざまな材料（色材）を使用して色を生み出します。たとえば、ディスプレイでは、赤（長い波長）、緑（中間の波長）、青（短い波長）の光を放出する色材を使用します。また、白を出力するためには 3 つの色材すべてを最大限に使用し、黒を出力するためにはいずれの色材も使用しない（どの光も放出されない）ようにします。光を放出する色材を使用するデバイスは、デバイスから届く光が見る側の目に入る前に組み合わされるため、加法的なデバイスと呼ばれます。一方、プリンタは、素材で光の一部を吸収する素材を使用します。このためプリンタは減法的なデバイスと呼ばれます。通常の印刷では、シアン（赤を吸収）、マゼンタ（緑を吸収）、イエロー（青を吸収）のインクに加えて、すべての波長の光を吸収する黒のインクを使用します。プリンタを使用して白を得るには、1枚の用紙から光を一切吸収しないことが必要になり、黒を得るには、すべてのインクを使用して、存在する光のすべてを吸収する必要があります。

カラー イメージング デバイスの出力を制御するには、通常、以下のカラー スペースが使用されます。

- **RGB（赤、緑、青）**は加法的なデバイスでよく使用されています。色は特定の数量の赤、緑、青の色材を組み合わせて表現され、その組み合わせで選択したデバイスの対応する色の範囲（色域）全体を表します。

  注記： 減法的なデバイスもRGBデータを使用して制御できます。特に、プリンタの黒インクを使用する方法を制御する必要がない場合、これは効率的なオプションです。

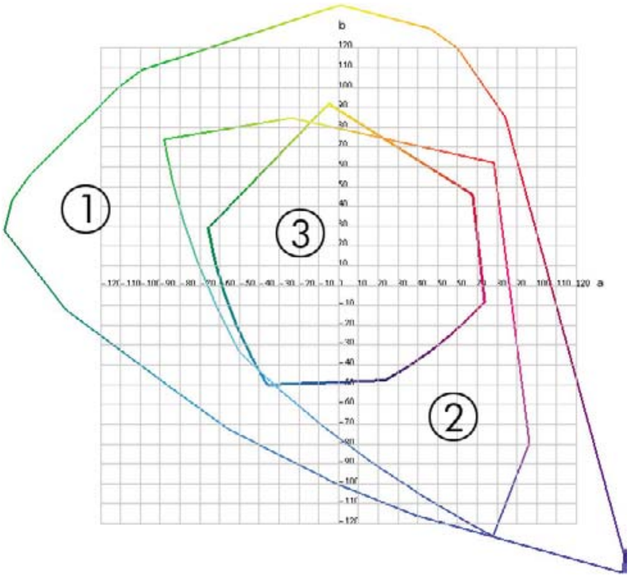
- **CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）**はプリンタや印刷機などの減法的なデバイスに使用されるカラー スペースです。色はシアン、マゼンタ、イエロー、黒（K）のインクを組み合わせて表現され、その組み合わせで選択したデバイスの対応する色の範囲（色域）全体を表します。

これらのカラー スペースはどちらも、それぞれのカラー イメージング デバイスを制御するためだけの方法であり、値が普遍的な色を示すわけではありません。たとえば、同じCMYK値を、異なるインクと用紙の種類を使用する異なるプリンタに送信すると、印刷される色は異なります。たとえば、屋内用インクと屋外用インクを使い分けることができるプリンタの場合、プリンタ（ハードウェア）は同じですが、インクの化学組成が異なれば（染料と顔料）、異なる色域が2つ存在することになります。また、この化学組成によってインクと用紙の相互作用が変わるため、このようなプリンタではさまざまな用紙を使用する必要があります。このため、指定されたCMYK値の実際の印刷色は、プリンタで使用するインクと用紙の種類によって決まります。同じプリンタでもこのような現象が起こることから、印刷方式と使用するインクの化学組成が異なる別のプリンタの場合、当然同様の現象が起こります。

また、RGBで制御されるデバイスでも同じ現象が起こります。たとえば、製造元が同じ2台のモニタがあり、それぞれの白点が9600Kと6500Kであるとします。これらのモニタは異なる白点の基準に関係しているため、再現されるカラーが異なります。異なる製造元のモニタを比較すると、色の違いは明らかです。この現象に対しては、モニタの白点を5000K（D50とも呼ばれます）に設定することをお勧めします。これは、グラフィック アート業界での標準の色温度です。D50の表示が好ましくない場合（黄色がかって見えるなど）は、6500K（D65）に設定することをお勧めします。

注記： 白点とは、デバイスが再現できる最も明るい中性色、またはイメージに存在する最も明るい中性色のことです。人間の視覚器官は、自動的にその白点を認識してイメージの内容に適応します。

また、特定のプリンタでRGBイメージ（デジタル カメラで撮影し、モニタで編集したイメージなど）を印刷する際には、まずイメージをCMYKに変換する必要があります。しかしながら、異なるデバイス間では同じ色域を使用できません。色によっては、ディスプレイ上では表示可能でも印刷物では再現できない場合や、その逆の場合があります。次の図は、人間の目に見える色は一般的なディスプレイや特定の用紙の種類を使用したプリンタで再現できる色よりも多いこと、およびこれら2つのカラー イメージング デバイスで使用できる色域がそれぞれ一致しないことを示しています。



1. すべての色
2. コンピュータのモニタの色域
3. CMYK印刷の色域

カラー スペースのなかには、CIE (Commission Internationale de l'Éclairage) によって定義されたCIE LabやCIECAM02など、デバイスに依存することなく、見る側が認識する色を表すものがあります。これらのカラー スペースの利点は、CMYKやRGBとは異なり、同じCIE Lab値を持つ2つのオブジェクトを同一条件下で見た場合に視覚的に同じになる点です。これらのカラー スペースの値は、オブジェクトによって放出反射される光を計測して得ることができます。

解決法 : カラーマネジメント

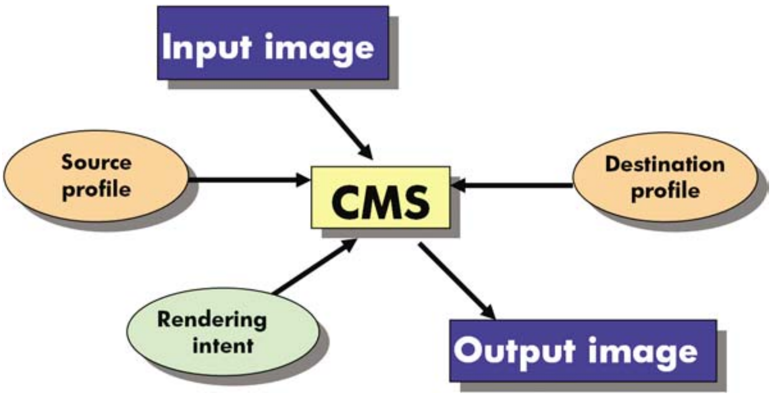
CMYKデバイスでは再現できないRGBデバイスの色や、その逆の色は多数あります。これらの色を、「色域外」の色と呼びます。業界では、色の差異をできる限りなくすために、以下の2つの手順を使用しています。

- 各デバイスの色の作用をできるだけ正確に記述する
- 1つの色域を別の色域へできるだけ効率的に変換する

解決法 :

1. **ICCプロファイルを使用して、デバイスの色の作用をできるだけ正確に記述します。** デバイスの色の作用を記述するには、RGBまたはCMYKのさまざまな組み合わせを選択してデバイスへ送信し、出力結果を計測して、非デバイス依存のカラー スペース (CIE Labなど) で結果の出力を表します。結果の関係はICCプロファイルに格納されます。このプロファイルは、デバイスのカラー スペース (CMYKまたはRGB) を非デバイス依存のカラー スペース (たとえば、CIE Lab) に変換するための辞書として機能する基準ファイルです。ICCプロファイルを生成する処理をプロファイリングと呼びます。
2. **カラーマネジメント システム (CMS) を使用して、カラーをできるだけ効果的に変換します。** CMSは、ICCプロファイルの情報を使用して、デバイスのカラー スペース (ソースプロファイルで定義) を別のデバイスのカラー スペース (ターゲット プロファイルで定義) に変換するソフトウェアです。この作業での難しい点は、あるデバイスの色域には存在するが別のデバイスの色域には存在しないカラーを扱うことです。この詳細については、後ほど説明します。

大別して、あらゆるCMSを次の4種類の設定で表すことができます。



- **CMS** : CMSはカラーマネジメント システム (Color Management System) の略語です。入力イメージ内に格納された、ソース プロファイルで定義されたカラー スペースを持つカラー情報を、ターゲット プロファイルで指定されたカラー スペースを持つ出力イメージに変換するアプリケーションです。アプリケーションのCMS、オペレーティング システムのCMS、プリンタの製造元が提供する印刷ソフトウェア (当社ではHP Designjet Z3100ps GP内蔵RIP) のCMSなど、さまざまなCMSが市販されています。
- **ソースプロファイル** : 入力デバイスの色の作用の記述です。
- **ターゲット プロファイル** : 出力デバイスの色の作用の記述です。
- **レンダリング用途** : カラーマネジメントの最も難しい課題は、ソース内の色域とターゲット内の色域が直接対応していない場合です。完全に一致させることは不可能であるため、色域の違いを処理する方法について指定できるオプションにはさまざまな種類があります。これらの種

類をレンダリング用途と呼びます。最終的に実現する出力によって、4つのオプションがあります。

- 元のイメージがRGBの場合、**[知覚的]** を使用すると、最も良好な出力結果が得られます。写真などに適しています。
- 鮮やかな最終出力を得るには、**[彩度]** を使用します。これはビジネス グラフィック（チャート、プレゼンテーションなど）に適していますが、色を一致させる場合は推奨しません。
- **[相対カラーメトリック]** は、印刷のプルーフィングに適しています。このレンダリング用途は、ソースとターゲットの色域の両方にある色は一致させ、一致させられない場合は差を最小限に抑えます。
- **[絶対カラーメトリック]** は、印刷のプルーフィング（相対カラーメトリックなど）で、ソースの用紙の色もシミュレートする場合に適しています。

よく使用されるデバイス カラー スペースとプロファイルを以下に示します。

- RGBモード：
  - **sRGB（sRGB IEC61966-2.1）**： 個人消費者向けのデジタル カメラやスキャナで作成されたイメージ、およびWebサイトなどのイメージに適しています。
  - **Adobe RGB（1998）**： プロフェッショナル向けのデジタル カメラなどで作成された多くのイメージに適しています。
  - **特定のRGBデバイス スペース**： プロファイリングされた特定のRGBデバイスとの間でやり取りされるイメージに適しています。HP Designjet Z3100ps GPには計測機能があり、RGB ICCプロファイルを生成します。このときプロファイルには、計測時に取り付けられていた用紙の色の作用が記述されます。
- CMYKモード：
  - **SWOP**： 米国の一般的な印刷業者に合わせて定義された印刷規格である「Specifications for Web Offset Publications」の略語です。さまざまな種類の用紙に適しています。
  - **ISO 12647-2**： 国際標準化機構によって定義された印刷規格で、さまざまな種類（コート紙、非コート紙など）の用紙に適しています。
  - **他の地域の規格**： Euroscale、JMPA、Japan Color。
  - **特定のCMYKデバイス スペース**： プロファイリングされた特定のCMYKデバイスとの間でやり取りされるイメージに適しています。

色と使用するプリンタ

プロのクリエーターにとって、使用するプリンタで期待通りの信頼できる結果が得られることは不可欠です。効率的なカラー ワークフローにとって、期待通りであることは重要な要素です。選択した用紙に適した中間色のグレーや正しい色で印刷される必要があります。大量の出力でも、またプリンタを変えても、安定した印刷結果が得られなければなりません。高い信頼性により、品質に欠陥のない印刷物を常に作成し、顧客に渡すことができます。時間と労力を省き、インクと用紙を節約しながら、厳しい制作スケジュールに合わせて、朝までに確実に印刷を行うことが可能です。

HP Designjet Z3100ps GP プリンタは、先進のハードウェアとドライバによって期待通りの信頼できる結果を約束し、効率性とカラー ワークフロー管理を劇的に向上させます。

i1カラー テクノロジ搭載

HP Designjet Z3100ps GP プリンタは、内蔵の分光測光器によるカラーキャリブレーションおよびプロファイリングにより、プロフェッショナルのカラー ワークフローに革命をもたらします。

分光測光器は、カラー パッチから反射する光の正確な構成を計測できる精密機器です。ニュートンのプリズムが白色光を虹の7色に分解するように、反射光を異なる波長要素に分解し、各要素の強さを計測します。HP 内蔵分光測光器はプリントヘッド キャリッジに搭載されています。

この分光測光器により、HP Designjet Z3100ps GP プリンタでは、使用する用紙の種類に適したカスタムICCプロファイルが自動的に生成され、またプリンタのキャリブレーションが行われます。そのため、大量の出力でも、またプリンタを変えても、再現性が得られ、あらゆる環境条件で、また未知の（工場でプロファイルされていない）種類の用紙に印刷する場合でも、色の誤差は以前のHP Designjet製品の半分以下に抑えられています。内蔵の白色キャリブレーションタイルは自動シャッターで保護されており、国際標準に準拠した信頼性の高い計測が実現します。

GretagMacbethのi1カラー テクノロジによるプリンタ、カラー イメージング パイプライン、およびプロフェッショナル仕様の分光測光器がZ3100ps GP用のHP Color Centerソフトウェアに統合されています。キャリブレーションとプロファイリング処理を出力システムに直接アクセスさせることにより、印刷される各カラー パッチにおけるインク量や色分解を正確にコントロールすることができます。また、測定プロセスの自動化によって、テスト印刷の操作が不要になると共に、繰り返し乾燥時間の設定や、電気機械的な位置制御により、分光測光器のカラーパッチ上の正確な位置合わせを行いながらの高速な測定を行います。これによって、より高価なオフラインのハンドヘルド タイプのプロファイリング システムに勝るとも劣らない、これまでにない使いやすさを実現しています。

カラーマネジメント プロセスの概要

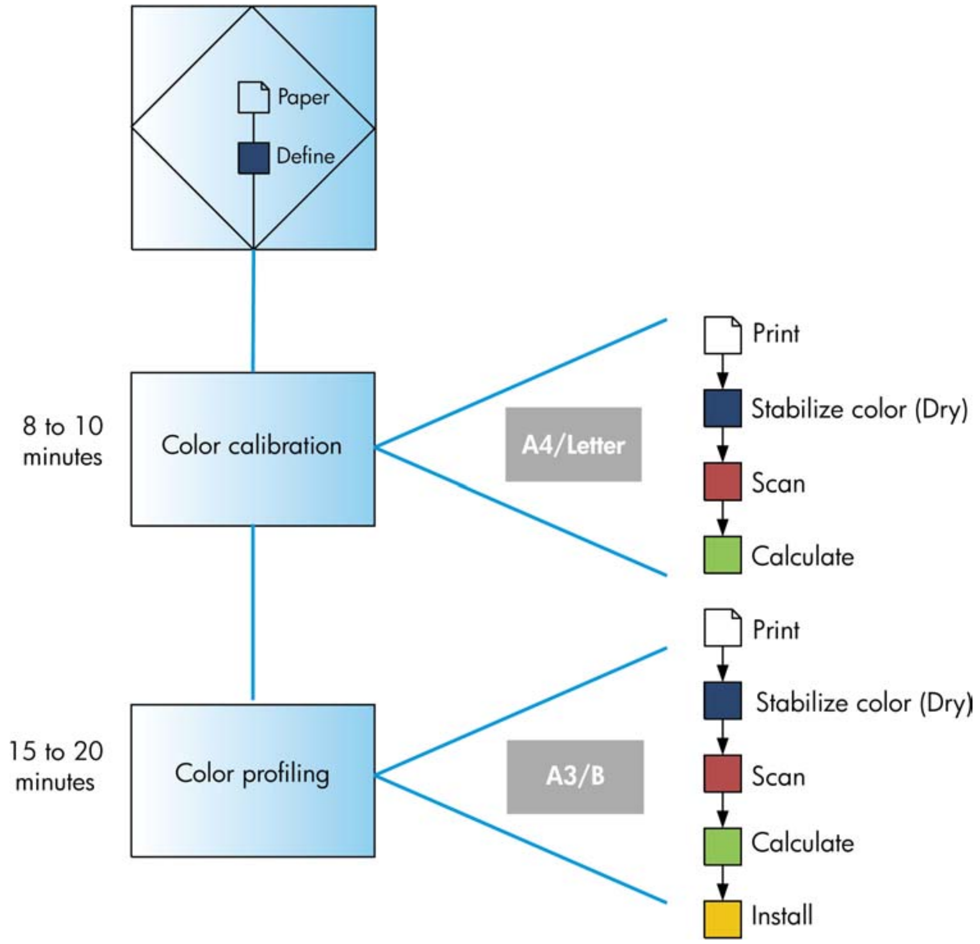
正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。

1. プリンタが認識していない用紙の種類を使用する場合、プリンタの既存の用紙リストにそれを追加します。57 ページの 「カスタム用紙の種類を追加する 」を参照してください。ユーザは通常、毎年2～3種類のカスタム用紙を追加しています。
2. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションは、プリンタ アラートによる実行の推奨の通知があった際（通常は使用する用紙の種類ごとに数週間間隔で）、実行すべきです。また、特に色再現が重要なプリント ジョブの前には、キャリブレーションを実行します。
3. 高いカラー精度を得るために、用紙の種類に対応したカラー プロファイルを作成します。通常は、プロファイリングを繰り返し行う必要はありません。特定の用紙の種類に一度作成したプロファイルをそのまま使用できます。ただし、プロファイリングを繰り返し実行しても問題はないため、毎月プロファイリング処理を実行してプロファイルをアップデートしてもかまいません。
4. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラー プロファイルを選択します。

プリンタですでに定義された用紙の種類を使用する場合、カラー プロファイルがすでに作成されていますが、そのプロファイルを使用する前にキャリブレーションを行うことをお勧めします。

新しい用紙の種類を定義した場合は、キャリブレーションとプロファイリングの手順が自動的に開始されます。

以下の図には、HP Color Centerで処理される操作が正しい順序で示されています。



注記： 図に示すように、3つの操作すべてを順番に実行することもできますが、3つの操作はどこから開始してどこで終了してもかまいません。ただし例外があり、新しい用紙の種類が追加されると、カラーキャリブレーションが自動的に実行されます。

カラーキャリブレーション

カラーキャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することができます。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのプリンタから同じ内容の印刷物を出力することができます。

キャリブレーションは、以下の状況の場合に実行してください。

- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 最後にキャリブレーションを実行した後、一定量の印刷が行われた場合
- 長期間プリンタの電源をオフのままにしておいた場合
- 環境条件（温度や湿度など）が大きく変化した場合

アラートを無効に設定しない限り、プリンタ ドライバは通常、カラーキャリブレーションが必要なときにアラートを表示します。ただし、環境条件が変化してしまった場合には、アラートは表示されません。

現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーション ステータスは、フロントパネルの 取り付けられている用紙の表示 ボタンを押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- ペンディング：この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

  注記： プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーション ステータスはペンディングにリセットされます。180 ページの 「ファームウェアをアップデートする 」を参照してください。

- 失効：この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、上記の理由のいずれかによって現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- OK：この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- 未定義：この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

  注記： カラーキャリブレーションは、普通紙やすべての種類の透明紙では実行できません。

カラーキャリブレーション ステータスは、HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) でも確認できます。

カラー プロファイルを作成せずに後でカラーキャリブレーションを行うこともできますが、カラー プロファイルを作成する前に、用紙の種類に対応するキャリブレーションを行ってください。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- キャリブレーションの実行を推奨する、プリンタ ドライバのアラートが表示された場合
- HP Color Centerで［**プリンタのキャリブレーション**］を選択した場合
- フロントパネルで［イメージ品質の保守］アイコンを選択し、［**カラーキャリブレーション**］を選択した場合 。

キャリブレーション処理は完全に自動化されています。A4、レター サイズ、その他のより大きなサイズなど、キャリブレーションを行う種類の用紙を取り付けた後、無人で実行されます。

この処理には8～10分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーション チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。

3. チャートがスキャンされ、HP 内蔵分光測光器で計測されます。

4. 分光測光器による計測結果を基に、必要な修正要素が算出され、その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

カラー プロファイリング

カラーキャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。たとえば、お使いのプリンタがどの色も黒で印刷してしまう場合、色調は統一されていても正確な色ではありません。

正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、使用するプリンタ、インクおよび用紙で適切な色が印刷できるように調整する必要があります。ICCカラー プロファイルには、これらのカラー変換に必要なプリンタ、インク、および用紙の組み合わせについてのすべての情報が記述されています。

新しい用紙の種類を定義してキャリブレーションを行うと、プリンタが使用する用紙に適したICCプロファイルを作成できる状態になり、これによって、最高のカラー精度が得られます。また、プリンタが認識済みの用紙の種類を使用する場合、その用紙に適したICCプロファイルがすでに作成されています。

独自のプロファイルを作成する

HP Color Centerでカラー プロファイルを簡単に作成できます。[**ICCプロファイルの作成およびインストール**] を選択します。用紙に関する情報を入力するよう求められます。続いて、新しいプロファイルが自動的に作成され、インストールされます。

この処理には15～20分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. プロファイリング チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。キャリブレーション チャートとは異なり、大部分のパッチに2種類以上のインクが使用されています。

   プリンタによって、次のいずれかのプロファイル チャートが自動的に選択されます。

   - A3カット紙またはBカット紙用フォーマット



- 用紙の消費を最小にするために用紙幅一杯に印刷するロール紙用フォーマット



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。

   注記： 乾燥時間を長く取る場合は、HP Color Centerで、プロファイルを作成せずにチャートを作成することができます（Windows：[**ターゲットのみを印刷し、ICCプロファイルを後で作成する**]、Mac OS：[**ICCプロファイリング チャートを印刷します**]）。チャートが完全に乾燥してからHP Color Centerを再起動し、作成済みのチャートを使用してプロファイルを作成することができます（Windows：[**既に印刷されているターゲットからICCプロファイルを作成する**]、Mac OS：[**ICCプロファイリング チャートをスキャンして、ICCプロファイルを作成します**]）。この場合、分光測光器でスキャンの準備ができるまで、ウォーム アップに多少時間がかかります。

3. チャートがスキャンされ、HP 内蔵分光測光器で計測されます。

4. 分光測光器による計測結果を基に、使用するプリンタ、インク、用紙に適したICCプロファイルが算出されます。

5. 新しいICCプロファイルは、アプリケーション プログラムが参照できるように、コンピュータの適切なシステム フォルダに格納されます。

   プロファイルはプリンタにも格納されるので、同じプリンタに接続されている他のコンピュータにコピーできます。HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）では、コンピュータにまだ格納されていないプロファイルがプリンタにある場合、そのことが表示されます。

注記： 作成されたばかりのプロファイルを使用するには、アプリケーションを閉じて再起動することが必要な場合があります。

注記： フォト用紙は、グロスエンハンサをオンまたはオフにした状態でプロファイリングできます。これらの2つのプロファイルは異なるため、異なる名前を付けて保存することをお勧めします。

サードパーティ製のプロファイルを使用する

インターネットからのダウンロード、またはサードパーティ製のプロファイリング ソフトウェア パッケージを使用するなど、プリンタ内蔵のプロファイリング ソフトウェアを使用する以外の方法でICCプロファイルを取得した場合でも、そのプロファイルをインストールし、プリンタおよび用紙で使用することができます。

注記： RIPを使用していない限り、プリンタにはRGB出力プロファイルが必要です。

用紙の種類に対応するプロファイルをプリンタに伝える必要があります。そのため、まずプリンタが認識済みの用紙リストから用紙の種類を選択する必要があります。用紙の種類を選択する際に、実際の用紙の種類になるべく近いものを選択するようにしてください。用紙の種類によって、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータが決まるため、高品質の印刷結果を得るためにはここでの選択が重要となります。選択したプロファイルと用紙の種類で適切な結果を得られない場合は、同じ用紙に対して新たな用紙名で異なる用紙の種類を選択してテストし、その中から最適なものを選択します。

使用する用紙がリストにない場合、またはそれに近い用紙の種類が見つからない場合には、新しい種類を定義します。57 ページの 「カスタム用紙の種類を追加する 」を参照してください。定義後、

その用紙を使用するためにプリンタのキャリブレーションを実行します。ICCプロファイルのインストールは、その後にすることができます。

用紙の種類を選択し、お使いのプリンタと用紙で使用するためのICCプロファイルのファイルを表示します。一般的に、ICCプロファイルのファイル名には、拡張子「.icc」(International Color Consortium) または「.icm」(Image Color Matching) が付きます。プロファイルは、通常と同様、コンピュータの適切なシステム フォルダとプリンタに格納されます。

モニタのプロファイリングを行う

モニタ (ディスプレイ装置) もキャリブレーションとプロファイリングを行うことをお勧めします。これによって、画面に表示される色が、印刷される色により近くなります。これを行うには、以下の2つの方法があります。

- オペレーティング システムに付属する機能を使用する方法。詳細については、HP Color Centerで **[ディスプレイのキャリブレーション方法]** を選択してください。
- HP Advanced Profiling Solutionを使用する方法。より正確な結果を得ることができます。

カラーマネジメント オプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **[アプリケーションで管理]**：この場合、アプリケーション プログラムで、イメージに埋め込まれたICCプロファイルやプリンタおよび用紙の種類のICCプロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラー スペースに合わせてイメージの色が変換されます。
- **[プリンタで管理：]** この場合、アプリケーション プログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラー スペースに合わせて色が変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。
  - **PostScript**： プリンタ内部のPostScriptインタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイル（HP Color Centerによって生成されたプロファイルを含む）およびPostScriptジョブと共に送信された追加のプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScriptドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵Webサーバを介してプリンタにPostScript、PDF、TIFF、またはJPEGファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、デフォルトとして使用するプロファイル（ジョブで指定されない場合に備えて）および適用するレンダリング用途を選択する必要があります。
  - **PostScript以外（PCL、RTL、HP-GL/2）**： カラーマネジメントは、保存されたカラー テーブルのセットを使用して実行されます。ICCプロファイルは使用されません。この方法は前述の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的なHPの用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、PostScript以外のドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵Webサーバを介してプリンタにPCL、RTL、またはHP-GL/2ファイルを直接送信した場合に実行されます。

    注記： プリンタに格納されているカラー テーブルでプリンタのカラー スペースに変換できるカラー スペースは、2つだけです（Windowsの場合はAdobe RGBとsRGB、Mac OSの場合はAdobe RGBとColorSync）。

    ColorSyncはMac OSに組み込まれたカラーマネジメント システムです。実際、ColorSyncを選択するとき、ColorSyncはカラーマネジメントを実行しているMac OSの、組み込みのカラーマネジメント部分であり、指定した用紙の種類のICCプロファイルに基づいて実行されます。ColorSyncは、PCLドライバでみ使用できます。

使用するアプリケーションのカラーマネジメント オプションの使用方法については、http://www.hp.com/go/knowledge_center/djz3100/のKnowledge Centerを参照することをお勧めします。

以下の手順で、**[アプリケーションで管理]** または **[プリンタで管理]** を選択します。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**： **[カラー]** タブを選択します。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合（PCLドライバ）**： **[用紙の種類/品質]** パネルに移動して **[カラー]** を選択します。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合（PostScriptドライバ）**： **[カラー品質]** パネルを選択します。
- **一部のアプリケーションの場合**： アプリケーションで選択できます。

黒点補正の実行

注記：　このオプションは、PostScriptジョブまたはPDFジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

黒点補正オプションでは、カラー スペース間でカラーを変換するときに、黒点の差異を調整するかどうかを設定します。このオプションを選択すると、完全なダイナミック レンジのソース スペースが、完全なダイナミック レンジのデスティネーション スペースにマップされます。この機能は、ソース スペースの黒点がデスティネーション スペースの黒点より濃い場合に、シャドウ部分を残すために非常に便利です。このオプションは、レンダリング用途として相対カラーメトリックが選択されている場合（101 ページの 「レンダリング用途の設定 」を参照）にのみ使用できます。

黒点補正は、以下の方法で指定できます。

- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**カラー**］－［レンダリング用途］－［相対カラーメトリック］－［**黒点補正**］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**カラー オプション**］－［**黒点の補正**］を選択します。

レンダリング用途の設定

注記： このオプションは、PostScriptジョブまたはPDFジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

レンダリング用途は、カラー変換を実行するときに使用される設定の1つです。印刷するカラーの一部がプリンタで再現できない場合があります。レンダリング用途を使用すると、これらのいわゆる色域外の色を処理する4つの方法のいずれかを選択できます。

- [**彩度（グラフィック）**]：明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- [**知覚的（イメージ）**]：中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。色の全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- [**相対カラーメトリック（プルーフィング）**]：特定の色と調和させる場合に最適です。この方法は、主にプルーフィングに使用されます。正確に色を印刷できる状態では、確実に正確な色で印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラースペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- [**絶対カラーメトリック（プルーフィング）**]：[相対カラーメトリック] と同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にプルーフに使用されますが、この場合のプルーフは、1台のプリンタの出力のシミュレーション（白点を含む）を目的に行います。

レンダリング用途は、以下の方法で指定することができます。

- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**カラー**］－［**レンダリング用途**］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**カラー オプション**］－［**レンダリング用途の選択**］を選択します。

カラー エミュレーション

お使いのプリンタでは、他のデバイス（モニタなどのRGBデバイス、印刷機やプリンタなどのCMYKデバイス）の色の作用をエミュレートできます。

カラー エミュレーションは、以下の方法で設定できます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［**カラー**］タブを選択し、［**プリンタで管理**］を選択します。
- **［Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**：］［**カラー品質**］パネルを選択し、［**プリンタで管理**］を選択します。
- **内蔵Webサーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**カラー**］－［**カラーマネジメント**］－［**ICCカラーマネージメント**］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：［セットアップ］アイコン を選択して、次に［**印刷設定**］－［**カラー オプション**］－［**RGBソース プロファイルの選択**］、または［**CMYK入力プロファイルの選択**］を選択します。

適切なエミュレーションを実行するために、プリンタでは、これらのデバイスで再現できるカラーの仕様が必要です。これらの情報をカプセル化するための標準的な方法は、ICCプロファイルです。この解決策の一部として、弊社では、さまざまなデバイスで最も共通性の高い標準規格を用意しました。適切なICCプロファイルを選択する以外に、印刷の種類に応じて適切なレンダリング用途（ビジネス プレゼンテーション、写真、プルーフなど）を選択する必要があります。101 ページの 「レンダリング用途の設定 」を参照してください。

オプションは以下のとおりです。

CMYKカラー エミュレーション

従来の処理では、CMYKスペースでカラーが定義されます。最高の印刷結果を得るには、カラーをプリンタに合わせて調整する必要があります。これは、プリンタが変わると同じCMYKデータから異なるカラーが生成されるためです。印刷中のイメージ ファイルがHP Designjetプリンタに合わせて作成されていない場合は、プリンタから再調整を要求するメッセージが表示されます。再調整を行うには、プリンタの以下のオプションからいずれかを選択します。

CMYKエミュレーションのすべてのオプションは、PDF、PostScript、TIFF、およびJPEGファイルにのみ適用されます。

- ［なし（ネイティブ）］：エミュレーションを行いません。プリンタは、CMYKからRGBへのデフォルトの内部変換を使用します。このとき、どのカラー標準規格にも従いませんが、これにより、結果の質が悪くなることを意味するわけではありません。
- ［U.S. Sheetfed Coated v2］は、インクの総使用量350%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- ［U.S. Sheetfed Uncoated v2］は、インクの総使用量260%、ネガ版、オフセット用上質紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- ［U.S. Web Coated (SWOP) v2］は、インクの総使用量300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- ［U.S. Web Uncoated v2］は、インクの総使用量260%、ネガ版、オフセット用上質紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。

- [Europe ISO Coated FOGRA27] は、インクの総使用量350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、ISO 12647に準拠した印刷の高品質の色分解を行うように設計されています。
- [Euroscale Uncoated v2] は、インクの総使用量260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscaleインクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [JMPA]：オフセット印刷機の日本標準。

フロントパネルおよび内蔵Webサーバで、さらにいくつかのオプションを使用できます。

- [Japan Color 2001 Coated] は、Japan Color 2001のタイプ3（コート紙）の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [Japan Color 2001 Uncoated] は、Japan Color 2001のタイプ4（普通紙）の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [Japan Color 2002 Newspaper] は、Japan Color 2002 新聞用に準拠しています。これは、インクの総使用量240%、ポジ版、標準新聞紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [Japan Web Coated (Ad)] は、日本国内の雑誌/広告業界向けにイメージのデジタル プルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。
- [Toyo] は、高品質の色分解を行うための東洋インキ製造独自の仕様です。
- [DIC] は、高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。

注記：　これらのオプションは、アプリケーションが独自のCMYKスペースを定義している場合には影響しません。この独自のCMYKスペースは、「キャリブレーションされたCMYK」またはPostScriptの用語で「CIEBasedDEFG」と呼ばれます。

RGBカラー エミュレーション

これらのオプションは、PDF、PostScript、TIFF、およびJPEGファイルに適用されます。HP-GL/2およびRTLファイルでは、sRGBおよびAdobeRGBのみがサポートされます。

お使いのプリンタには、以下のカラー プロファイルが用意されています。

- [なし (ネイティブ)]：エミュレーションを行いません。カラー変換がアプリケーションまたはオペレーティング システムによって行われ、データがすでにカラーマネジメントされた状態でプリンタに送られる場合に使用します。
- [sRGB IEC61966-2.1] は、一般的なPCモニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーでサポートされており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになっています。
- [ColorMatch RGB] は、Radius Pressviewモニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。
- [Apple RGB] は、一般的なAppleモニタの特性をエミュレートしており、さまざまなDTPアプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Appleモニタでファイルを表示する場合、または古いDTPファイルを処理する場合に使用します。
- [Adobe RGB (1998)] は、RGBカラーのかなり大きな色域を再現することができます。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

HPプロフェッショナルPANTONEエミュレーション

イメージで名前付きのPANTONEカラーを使用すると、通常、アプリケーションによってそのカラーに近いCMYKまたはRGBカラーがプリンタに送信されます。ところが、アプリケーションではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONEカラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] では、プリンタや用紙の種類の特性を考慮に入れることによって、最も近いカラーを再現することができます。特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元のPANTONEカラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルの方々が手作業で行ったエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用するには、この機能をオンにするだけです。実際には、この機能はデフォルトでオンになっています。

- **Windows PostScriptドライバのダイアログの場合**：[**カラー**] タブをクリックして [**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**] を選択します。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログの場合**：[**カラー品質**] パネルに移動して [**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**] を選択します。
- **内蔵Webサーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**カラー**] – [**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**] を選択します。

注記：[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] は、PostScriptジョブまたはPDFジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

また、内蔵Webサーバを使用して、プリンタが再現するPANTONEカラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元のPANTONEスポット カラーの間の色の差（ΔE）の値も示されます。つまり、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用すると、お使いのプリンタで実現できる最も一致するカラーを再現できるだけでなく、そのエミュレーションが元のスポット カラーにどの程度近いかに関する明確な情報も得ることができます。

見本帳を印刷するには、内蔵Webサーバの [**メイン**] タブを選択し、[**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**] を選択します。エミュレートするPANTONEストックを選択し、印刷するPANTONEカラーを選択します。必要なカラーをすべて選択したら、[**印刷**] ボタンを押します。


HP Professional PANTONE emulation
hp HP Sample Printer
PANTONE RGB 252 252 9
Yellow C
ΔE 13.29
PANTONE RGB 252 249 8
Yellow 012 C
ΔE 16.15
PANTONE RGB 251 92 10
Orange 021 C
ΔE 9.81
PANTONE RGB 246 65 68
Warm Red C
ΔE 7.03
PANTONE RGB 243 41 74
Red 032 C
ΔE 8.94
PANTONE RGB 244 19 182
Rubine Red C
ΔE 6.29
PANTONE RGB 246 56 230
Rhodamine Red C
ΔE 11.16
1.1 C
HP Sample Paper
sample print mode
HP Professional PANTONE emulation
hp HP Sample Printer
PANTONE RGB 246 207 243
217 C
ΔE 3.98
PANTONE RGB 249 135 235
218 C
ΔE 3.17
PANTONE RGB 245 51 215
219 C
ΔE 5.73
PANTONE RGB 244 19 182
Rubine Red C
ΔE 6.29
PANTONE RGB 210 7 167
220 C
ΔE 3.83
PANTONE RGB 184 6 146
221 C
ΔE 4.09
PANTONE RGB 134 8 107
222 C
ΔE 1.68
19 C
HP Sample Paper
sample print mode

カラー調整オプション

カラー調整の目的は、正確な色を出力することにあります。カラーマネジメントを適切に実行すると、手動でカラー調整を行うことなく、正確な色を出力できます。

ただし、以下の状況では手動での調整が便利です。

- 何らかの原因で、カラーマネジメントが正しく機能しない場合
- 正確さより主観的に好ましい色が求められる場合

プリンタ ドライバには、カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかによって、異なる調整機能が用意されています。

カラーでの印刷

印刷の色は、WindowsとMac OSでほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［**カラー**］タブを選択し、［**カラー詳細調整**］チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある［**設定**］ボタンをクリックします。
- **[Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（**PostScriptドライバ**）**：]**［**カラー品質**］パネルを選択して、次に［**明度と色相**］を選択します。
- **[Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（**PCLドライバ**）**：]**［**用紙の種類/品質**］パネルを選択して、次に［**明度と色相**］タブを選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、明度スライダと3つのカラー調整スライダを使用して調整できます。



- 明度スライダは、印刷全体を明るくしたり、暗くしたりします。
- カラー調整スライダは、印刷で各原色を弱めたり、強調したりするために使用できます。原色は、イメージで使用されているカラー モデルに応じて、レッド、グリーン、ブルー、またはシアン、マゼンタ、イエローのどちらかになります。

［**リセット**］ボタンをクリックすると、各スライダは既定の中央位置に戻ります。

グレースケールでの印刷

印刷のグレー バランスは、WindowsとMac OSでほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［**カラー**］タブを選択し、［**カラー詳細調整**］チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある［**設定**］ボタンをクリックします。
- ［**Mac OSの［プリント］ダイアログの場合（PostScriptドライバ）：**］［**カラー品質**］パネルを選択して、次に［**グレー バランス**］を選択します。
- ［**Mac OSの［プリント］ダイアログの場合（PCLドライバ）：**］［**用紙の種類/品質**］パネルを選択して、次に［**グレー バランス**］を選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、ハイライト、中間トーン、シャドウについてそれぞれ独立したコントロールを使用して調整できます。



- 明度スライダは、印刷全体を明るくしたり、暗くしたりします。Windowsの場合、このスライダはグレースバランスの詳細調整と同じウィンドウにあります。Mac OSの場合、このスライダは［**明度と色相**］を選択して表示されるウィンドウにあります。
- ゾーンの定義スライダは、ハイライト、中間トーン、シャドウの調整を定義するために使用できます。
- ハイライト、中間トーン、シャドーの他のコントロールは、それぞれハイライト、中間トーン、シャドーのグレー バランスを調整するために使用できます。

［**リセット**］ボタンをクリックすると、各コントロールは既定の設定に戻ります。

カラーマネジメント シナリオ

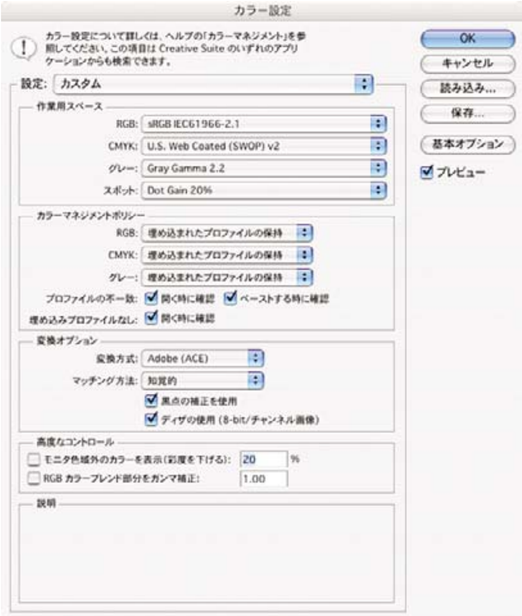
ここでは、特定のソフトウェアを使用した特定のプリント ジョブを手順を追って説明します。これは、Web上にあるHPのKnowledge Centerに掲載されているものとほとんど同じです。その他の例および最新の情報については、Knowledge Center (http://www.hp.com/go/knowledge_center/djz3100/) を参照することをお勧めします。

カラー写真を展覧会用に印刷する (Photoshop、PSドライバ)

この例では、Mac OS X環境 (PostScriptドライバを使用) でAdobe Photoshop CS2を使用します。カラーマネジメントはPhotoshopによって行います。

1. 推奨される初期設定
   - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」および96 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。
   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe Photoshop CS2を開きます。
3. [**編集**] メニューから [**カラー設定**] を選択します。
   - [**詳細オプション**] が表示されていることを確認します。
   - [**作業用スペース**] - [**RGB**]：[**RGB (1998)**] または [**sRGB**] を選択します。
   - [**カラーマネジメントポリシー**]：[**埋め込まれたプロファイルの保持**] を選択します。
   - [**プロファイルの不一致**]：[**開く時に確認**] と [**ペーストする時に確認**] にチェックをつけます。
   - [**埋め込みプロファイルなし**]：[**開く時に確認**] にチェックをつけます。

- [変換オプション] – [マッチング方法]：[知覚的] を選択します。



- [OK] をクリックします。

4. [ファイル] メニューから [開く] を選択し、イメージを開きます。
   - ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みプロファイルがある場合は、[作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用] を選択します。そうでない場合は、[作業用RGBを指定] を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、[編集] – [プロファイルの指定] を選択して、[sRGB]、[Adobe RGB]、[ColorMatch RGB] など、他のカラー スペースを試します。





- [OK] をクリックします。

5. [ファイル] メニューから [プリントプレビュー] を選択します。
   - [用紙設定] を選択します。
     - [対象プリンタ]：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。
     - [用紙サイズ]：プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。

- [**方向**]:ページの画像の向きを選択します。
- [OK] をクリックします。

- 必要な [**位置**] と [**拡大・縮小したプリントサイズ**] を設定します。
- [**詳細オプション**] が表示されていることを確認します。
- [**カラーマネジメント**] タブを選択します。
  - [**プリント**]:[**ドキュメント**] を選択します。
  - [**オプション**] – [**カラー処理**]:[**Photoshopによるカラー処理**] を選択します。
  - [**オプション**] – [**プリンタプロファイル**]:使用するプリンタに適したプロファイルと用紙の種類を選択します。
  - [**オプション**] – [**マッチング方法**]:[**知覚的**] を選択します。



- [**プリント**] をクリックします。

6. ドライバ設定を選択します。

- [**プリンタ**]:プリンタを選択します(たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo])。

- プルダウン メニューから［**イメージ品質**］を選択し、現在プリンタに取り付けられている［**用紙の種類**］（または、［**任意**］）を選択します。また、［**標準**］品質オプションを選択し、スライダを［**品質**］にドラッグします。



- プルダウン メニューから［**カラー品質**］を選択します。
  - ［**カラーで印刷**］を選択します。
  - ［カラーマネジメント］で、［**アプリケーションで管理**］を選択します。



- ［**プリント**］をクリックします。

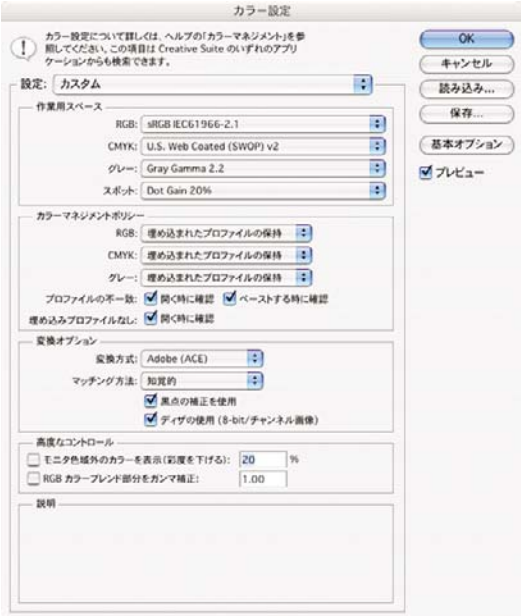
カラー写真を展覧会用に印刷する（Photoshop、PCL ドライバ）

この例では、Mac OS X環境（PCL ドライバを使用）でAdobe Photoshop CS2を使用します。カラーマネジメントはPhotoshopによって行います。

1. 推奨される初期設定
   - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」および96 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。
   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe Photoshop CS2を開きます。

3. [**編集**] メニューから [**カラー設定**] を選択します。

- [**詳細オプション**] が表示されていることを確認します。
- [**カラーマネジメントポリシー**]：[**埋め込まれたプロファイルの保持**] を選択します。
- [**プロファイルの不一致**]：[**開く時に確認**] と [**ペーストする時に確認**] にチェックをつけます。
- [**埋め込みプロファイルなし**]：[**開く時に確認**] にチェックをつけます。
- [**変換オプション**] – [**マッチング方法**]：[**知覚的**] を選択します。



- [OK] をクリックします。

4. [ファイル] メニューから [**開く**] を選択し、イメージを開きます。

- ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みプロファイルがある場合は、[**作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用**] を選択します。そうでない場合は、[**作業用RGBを指定**] を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、[**編集**] – [**プロファイルの指定**] を選択して、[sRGB]、[Adobe RGB]、[ColorMatch RGB] など、他のカラー スペースを試します。





- [OK] をクリックします。

5. [ファイル] メニューから [**プリントプレビュー**] を選択します。

- [**用紙設定**] を選択します。
  - [**対象プリンタ**]: プリンタを選択します (たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo])。
  - [**用紙サイズ**]: プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
  - [**方向**]: ページの画像の向きを選択します。
  - [OK] をクリックします。
- 必要な [**位置**] と [**拡大・縮小したプリントサイズ**] を設定します。
- [**詳細オプション**] が表示されていることを確認します。
- [**カラーマネジメント**] タブを選択します。
  - [**プリント**]: [**ドキュメント**] を選択します。
  - [**オプション**] – [**カラー処理**]: [**Photoshopによるカラー処理**] を選択します。
  - [**オプション**] – [**プリンタプロファイル**]: 使用するプリンタに適したプロファイルと用紙の種類を選択します。

  - **[オプション]** - **[マッチング方法]**:[**知覚的]** を選択します。



- **[プリント]** をクリックします。

6. ドライバ設定を選択します。

   - **[プリンタ]**:プリンタを選択します(たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo])。

   - プルダウンメニューから **[用紙の種類/品質]** を選択し、**[用紙]** タブを選択します。

     - **[用紙の種類]**:プリンタに現在取り付けられている用紙の種類を選択します。

     - **[品質オプション]**:**[標準]** を選択し、スライダを **[品質]** にドラッグします。

   - **[カラー]** タブを選択します。

     - **[カラーで印刷]** を選択します。

     - [カラーマネジメント] で、**[アプリケーションで管理]** を選択します。

   - **[プリント]** をクリックします。

モノクロ写真を展覧会用に印刷する(Photoshop、PSドライバ)

この例では、Mac OS X環境(PostScriptドライバを使用)でAdobe Photoshop CS2を使用します。カラー マネジメントは、プリンタの内蔵PostScript RIPによって行います。

注記: この例でも、前の例の場合と同じように、アプリケーション管理カラーを使用することができますが、2つのカラーマネジメント方法を説明するために、ここではプリンタ管理カラーを使用します。

白黒イメージを作成するお勧めの方法は、Photoshopなどの画像編集プログラムで、カラー イメージをグレースケールに変換することです。ただし、このシナリオでは、この変換はプリンタで実行され

ます。Photoshop CS2でカラー イメージを白黒に変換する場合は、手順5（オプション）を実行してください。

1. 推奨される初期設定

   - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。

   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションが実行されている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照してください。

   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。

2. Adobe Photoshop CS2を開きます。

3. ［**編集**］メニューから［**カラー設定**］を選択します。

   - ［**詳細オプション**］が表示されていることを確認します。

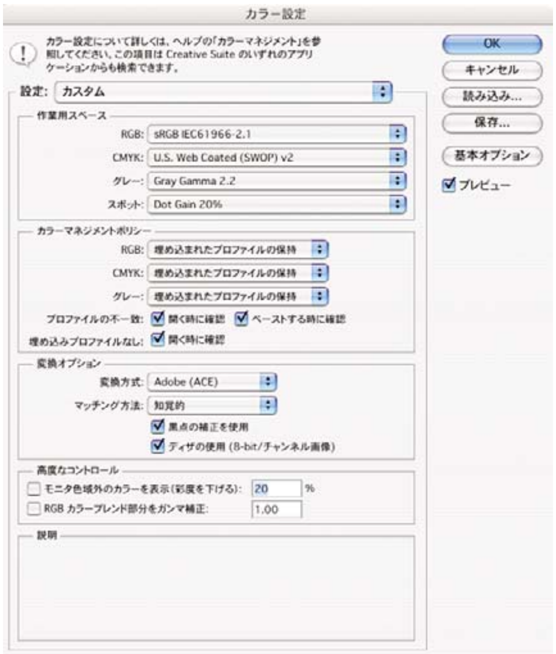
   - ［**作業用スペース**］－［**RGB**］：［**RGB（1998）**］または［**sRGB**］を選択します。

   - ［**カラーマネジメントポリシー**］：［**埋め込まれたプロファイルの保持**］を選択します。

   - ［**プロファイルの不一致**］：［**開く時に確認**］と［**ペーストする時に確認**］にチェックをつけます。

   - ［**埋め込みプロファイルなし**］：［**開く時に確認**］にチェックをつけます。

   - ［**変換オプション**］－［**マッチング方法**］：［**知覚的**］を選択します。



   - ［OK］をクリックします。

4. ［ファイル］メニューから［開く］を選択し、イメージを開きます。

- ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みプロファイルがある場合は、**［作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用］**を選択します。そうでない場合は、**［作業用RGBを指定］**を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、**［編集］**－**［プロファイルの指定］**を選択して、［sRGB］、［Adobe RGB］、［ColorMatch RGB］など、他のカラー スペースを試します。





- ［OK］をクリックします。

5. （オプション）Photoshopを使用してイメージをグレースケールに変換します。**［イメージ］**メニューから**［モード］**－**［グレースケール］**を選択する方法が簡単です。

   または、**［イメージ］**メニューから**［色調補正］**－**［チャンネルミキサー］**を選択し、以下の方法で各カラー チャンネルの寄与比率を選択して、イメージをグレースケールにします。

   a. **［モノクロ］**にチェックをつけます。

   b. 任意のソース チャンネルのスライダを左へドラッグすると、そのチャンネルの出力チャンネルに対する寄与比率が低くなり、右へドラッグすると高くなります。または、テキスト ボックスに-200%～+200%の値を入力します（例：レッド30%、グリーン59%、ブルー11%）。負の値を使用すると、出力チャンネルに追加される前にソース チャンネルが反転されます。

   c. **［平行調整］**オプションのスライダをドラッグするか、値を入力します。このオプションでは、不透明度を調節できる黒または白のチャンネルが追加されます。負の値の場合は黒のチャンネル、正の値の場合は白のチャンネルになります。



   d. ［OK］をクリックします。

6. [ファイル] メニューから [プリントプレビュー] を選択します。

- [**用紙設定**] を選択します。
  - [**対象プリンタ**]：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。
  - [**用紙サイズ**]：プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
  - [**方向**]：ページの画像の向きを選択します。
  - [OK] をクリックします。
- 必要な [**位置**] と [**拡大・縮小したプリントサイズ**] を設定します。
- [**詳細オプション**] が表示されていることを確認します。
- [**カラーマネジメント**] タブを選択します。
  - [**プリント**]：[**ドキュメント**] を選択します。
  - [**オプション**] - [**カラー処理**]：[**プリンタによるカラー処理**] を選択します。
  - [**オプション**] - [**マッチング方法**]：[**知覚的**] を選択します。



- [**プリント**] をクリックします。

7. ドライバ設定を選択します。

- [**プリンタ**]：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。

- プルダウン メニューから［**イメージ品質**］を選択し、現在プリンタに取り付けられている［**用紙の種類**］（または、［**任意**］）を選択します。また、［**標準**］品質オプションを選択し、スライダを［**品質**］にドラッグします。



- プルダウン メニューから［**カラー品質**］を選択します。
  - ［**グレースケールで印刷**］を選択します。

    ヒント：　光沢紙で黒色部分が褐色化する場合は、229 ページの 「褐色化する 」を参照してください。

  - ［カラーマネジメント］で［**プリンタで管理**］を選択し、［ソースプロファイル］リストから［**Adobe RGB (1998)**］を選択します。



- ［**プリント**］をクリックします。

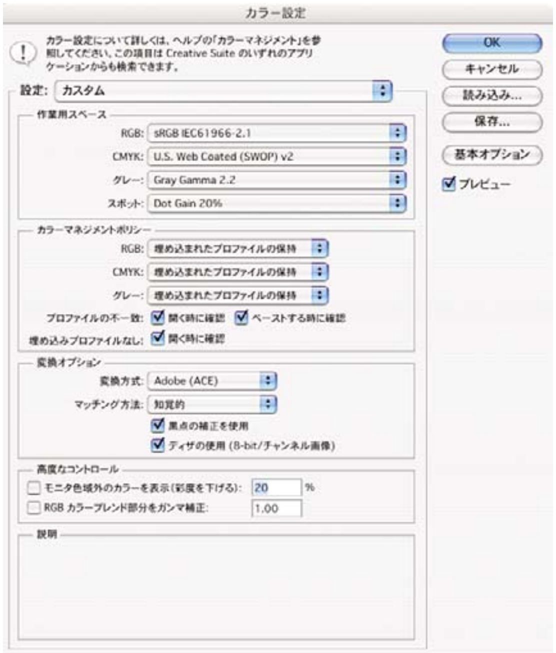
モノクロ写真を展覧会用に印刷する（Photoshop、PCL ドライバ）

この例では、Mac OS X環境（PCL ドライバを使用）でAdobe Photoshop CS2を使用します。カラーマネジメントはプリンタによって行います。

白黒イメージを作成するお勧めの方法は、Photoshopなどの画像編集プログラムで、カラー イメージをグレースケールに変換することです。ただし、このシナリオでは、この変換はプリンタで実行され

ます。Photoshop CS2でカラー イメージを白黒に変換する場合は、手順5（オプション）を実行してください。

1. 推奨される初期設定
   - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションが実行されている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照してください。
   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe Photoshop CS2を開きます。
3. **[編集]** メニューから **[カラー設定]** を選択します。
   - **[詳細オプション]** が表示されていることを確認します。
   - **[カラーマネジメントポリシー]**：**[埋め込まれたプロファイルの保持]** を選択します。
   - **[プロファイルの不一致]**：**[開くときに確認]** と **[ペーストする時に確認]** にチェックをつけます。
   - **[埋め込みプロファイルなし]**：**[開くときに確認]** にチェックをつけます。
   - **[変換オプション]** – **[マッチング方法]**：**[知覚的]** を選択します。



   - **[OK]** をクリックします。

4. ［ファイル］メニューから［開く］を選択し、イメージを開きます。

- ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みプロファイルがある場合は、**［作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用］**を選択します。そうでない場合は、**［作業用RGBを指定］**を選択します。このとき、表示されるイメージが適切であるように見えない場合は、**［編集］**－**［プロファイルの指定］**を選択して、**［sRGB］**、**［Adobe RGB］**、**［ColorMatch RGB］**など、他のカラー スペースを試します。





- ［OK］をクリックします。

5. （オプション）Photoshopを使用してイメージをグレースケールに変換します。**［イメージ］**メニューから**［モード］**－**［グレースケール］**を選択する方法が簡単です。

   または、**［イメージ］**メニューから**［色調補正］**－**［チャンネルミキサー］**を選択し、以下の方法で各カラー チャンネルの寄与比率を選択して、イメージをグレースケールにします。

   a. **［モノクロ］**にチェックをつけます。

   b. 任意のソース チャンネルのスライダを左へドラッグすると、そのチャンネルの出力チャンネルに対する寄与比率が低くなり、右へドラッグすると高くなります。または、テキストボックスに-200%～+200%の値を入力します（例：レッド30%、グリーン59%、ブルー11%）。負の値を使用すると、出力チャンネルに追加される前にソース チャンネルが反転されます。

   c. **［平行調整］**オプションのスライダをドラッグするか、値を入力します。このオプションでは、不透明度を調節できる黒または白のチャンネルが追加されます。負の値の場合は黒のチャンネル、正の値の場合は白のチャンネルになります。



   d. ［OK］をクリックします。

6. [ファイル] メニューから [プリントプレビュー] を選択します。
   - **[用紙設定]** を選択します。
     - **[対象プリンタ]**：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。
     - **[用紙サイズ]**：プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
     - **[方向]**：ページの画像の向きを選択します。
     - [OK] をクリックします。
   - 必要な **[位置]** と **[拡大・縮小したプリントサイズ]** を設定します。
   - **[詳細オプション]** が表示されていることを確認します。
   - **[カラーマネジメント]** タブを選択します。
     - **[プリント]**：**[ドキュメント]** を選択します。
     - **[オプション]** – **[カラー処理]**：**[プリンタによるカラー処理]** を選択します。
     - **[オプション]** – **[マッチング方法]**：**[知覚的]** を選択します。



   - **[プリント]** をクリックします。

7. ドライバ設定を選択します。
   - **[プリンタ]**：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。
   - プルダウンメニューから **[用紙の種類/品質]** を選択し、**[用紙]** タブを選択します。
     - **[用紙の種類]**：プリンタに現在取り付けられている用紙の種類を選択します。
     - **[品質オプション]**：**[標準]** を選択し、スライダを **[品質]** にドラッグします。

- [カラー] タブを選択します。
  - [グレースケールで印刷] を選択します。

    ヒント： 光沢紙で黒色部分が褐色化する場合は、229 ページの 「褐色化する 」を参照してください。

  - [カラーマネジメント] で [プリンタで管理] を選択し、[ソースプロファイル] リストから [Adobe RGB (1998)] を選択します。
- [プリント] をクリックします。

デジタル アルバムを印刷する (Aperture、PSドライバ)

この例では、Mac OS X環境 (PostScriptドライバを使用) でApple Apertureを使用します。カラーマネジメントはApertureによって行います。

1. 推奨される初期設定
   - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」および96 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。
   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Apple Apertureを開きます。
3. このアルバムにプロジェクトをまだ作成していない場合は、[File] メニューから [New Project] を選択し、プロジェクトに名前をつけます。プロジェクト メニューで新しいプロジェクトを選択し (左側)、[File] メニューに移動して [Import] – [Folders into a Project] を選択します。
4. 使用するイメージを選択し、[File] メニューに移動して [New From Selection] – [Book] を選択します。
   - [Theme] リスト：リスト内のテーマを選択すると、そのデザインのプレビューが右側に表示されます。
   - [Book Size] ポップアップ メニュー：ブックの物理的なサイズを選択します。



   - [Choose Theme] をクリックし、ブック アルバムの名前を変更します。
5. 必要に応じて、ページ レイアウトを変更し、カスタマイズします。写真とテキスト ボックスを追加し、ボックスの位置およびテキスト スタイルを修正できます。

6. Apertureで自動的にイメージをブックに配置することができます（[Book Actions] メニューから [Autoflow Unplaced Images] を選択します）。または、ドラッグ アンド ドロップして手動で配置することもできます。また、次の操作もできます。

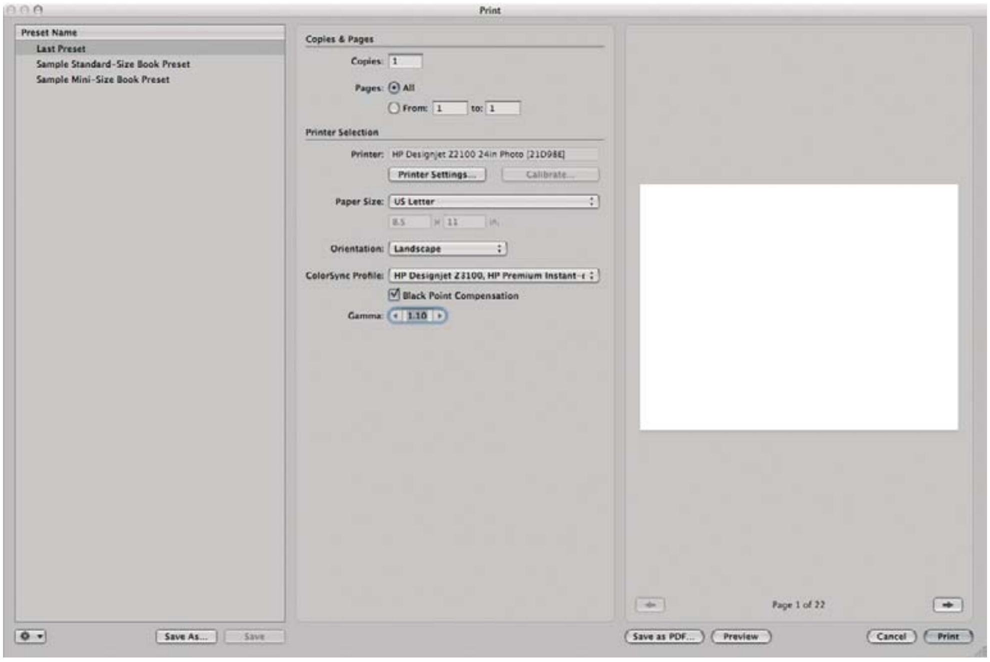
- イメージの倍率の調整、一部切り出し、パン操作が可能です。
- イメージをページの背景として設定し、ウォッシュ加工を適用できます。



7. Book Layout Editorの [Print] ボタンを使用して、ブックを印刷します。

- [Presets Name] リスト：ブックのプリセットを選択します。
- 印刷する [Copies] および [Pages] を選択します。
- [Paper Size]：ジョブを印刷する用紙のサイズを選択します。
- [Orientation]：ページの画像の向きを選択します。
- [ColorSync Profile]：プリンタに合った適切なカラー プロファイルと、使用する用紙を選択します。
- [Black Point Compensation] を選択します。

- [Gamma]：コンピュータのディスプレイは光で照らされているため、コンピュータに表示されるイメージは印刷したときよりも明るく見える傾向があります。ガンマをデフォルトの1.0から増やすことにより、この問題を補正できます。通常、1.1～1.2に設定すると適切な表示になります。



8. [Printer Settings] ボタンをクリックします。

- [**プリンタ**]：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。

- プルダウン メニューから [**イメージ品質**] を選択し、現在プリンタに取り付けられている [**用紙の種類**]（または、[**任意**]）を選択します。また、[**標準**] 品質オプションを選択し、スライダを [**品質**] にドラッグします。



- プルダウン メニューから [**カラー品質**] を選択します。
  - [**カラーで印刷**] を選択します。

● ［カラーマネジメント］で、**［アプリケーションで管理］**を選択します。



● **［プリント］**をクリックします。

デジタル アルバムを印刷する（Aperture、PCL ドライバ）

この例では、Mac OS X環境（PCL ドライバを使用）でApple Apertureを使用します。カラーマネジメントはApertureによって行います。

1. 推奨される初期設定

   ● 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。

   ● 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」および96 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。

   ● 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。

2. Apple Apertureを開きます。

3. このアルバムにプロジェクトをまだ作成していない場合は、[File] メニューから [New Project] を選択し、プロジェクトに名前をつけます。プロジェクト メニューで新しいプロジェクトを選択し（左側）、[File] メニューに移動して [Import] – [Folders into a Project] を選択します。

4. 使用するイメージを選択し、[File] メニューに移動して [New From Selection] – [Book] を選択します。

   ● [Theme] リスト：リスト内のテーマを選択すると、そのデザインのプレビューが右側に表示されます。

- [Book Size] ポップアップ メニュー : ブックの物理的なサイズを選択します。



- [Choose Theme] をクリックし、ブック アルバムの名前を変更します。

5. 必要に応じて、ページ レイアウトを変更し、カスタマイズします。写真とテキスト ボックスを追加し、ボックスの位置およびテキスト スタイルを修正できます。

6. Apertureで自動的にイメージをブックに配置することができます ([Book Actions] メニューから [Autoflow Unplaced Images] を選択します)。または、ドラッグ アンド ドロップして手動で配置することもできます。また、次の操作もできます。

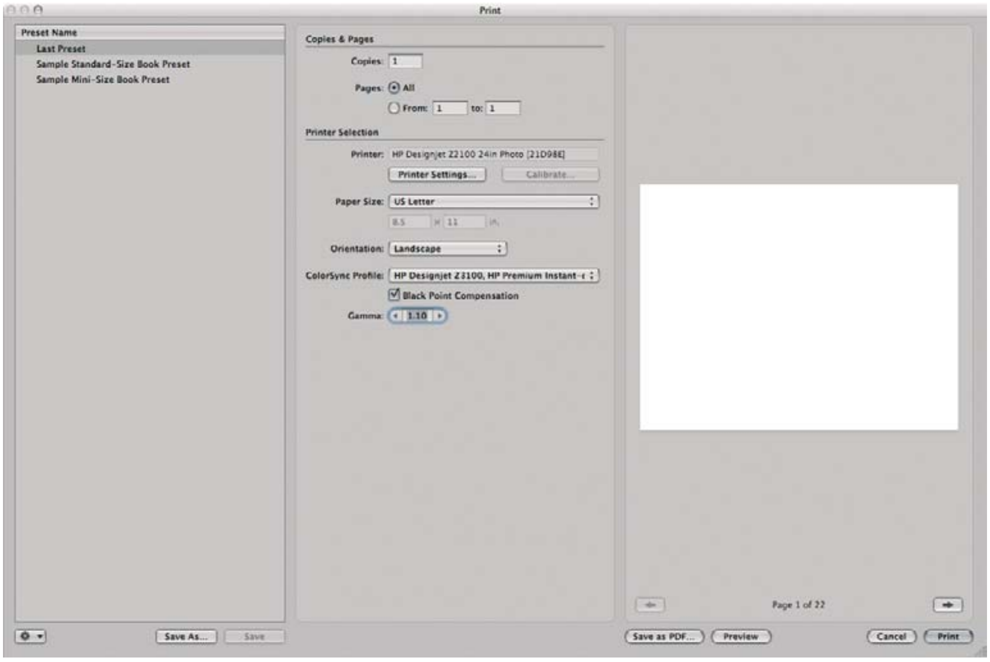
   - イメージの倍率の調整、一部切り出し、パン操作が可能です。
   - イメージをページの背景として設定し、ウォッシュ加工を適用できます。



7. Book Layout Editorの [Print] ボタンを使用して、ブックを印刷します。

   - [Presets Name] リスト : ブックのプリセットを選択します。
   - 印刷する [Copies] および [Pages] を選択します。
   - [Paper Size] : ジョブを印刷する用紙のサイズを選択します。
   - [Orientation] : ページの画像の向きを選択します。
   - [ColorSync Profile] : プリンタに合った適切なカラー プロファイルと、使用する用紙を選択します。

- [Black Point Compensation] を選択します。
- [Gamma]：コンピュータのディスプレイは光で照らされているため、コンピュータに表示されるイメージは印刷したときよりも明るく見える傾向があります。ガンマをデフォルトの1.0から増やすことにより、この問題を補正できます。通常、1.1～1.2に設定すると適切な表示になります。



8. [Printer Settings] ボタンをクリックします。
   - [**プリンタ**]：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。
   - プルダウンメニューから [**用紙の種類/品質**] を選択し、[**用紙**] タブを選択します。
     - [**用紙の種類**]：プリンタに現在取り付けられている用紙の種類を選択します。
     - [**品質オプション**]：[**標準**] を選択し、スライダを [**品質**] にドラッグします。
   - [**カラー**] タブを選択します。
     - [**カラーで印刷**] を選択します。
     - [カラーマネジメント] で、[**アプリケーションで管理**] を選択します。
   - [**プリント**] をクリックします。

モニタで出力を確認する（InDesign、PSドライバ）

この例では、Mac OS X環境（PostScriptドライバを使用）でAdobe InDesign CS2を使用しています。カラー マネジメントはプリンタによって行います。

1. 推奨される初期設定
   - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」および96 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。
   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe InDesign CS2を開きます。
3. **[編集]** メニューから **[カラー設定]** を選択します。
   - **[詳細設定モード]** チェックボックスがオンになっていることを確認します。
   - **[作業用スペース]** - **[RGB]**：**[RGB（1998)]** または **[sRGB]** を選択します。
   - **[作業用スペース]** - **[CMYK]**：**[Europe ISO Coated FOGRA27]**（ヨーロッパ）、**[U.S. Web Coated（SWOP）v2]**（米国）、または **[Japan Standard v2]**（日本）を選択します。
   - **[カラーマネジメントポリシー]**：**[埋め込みプロファイルを保持]** を選択します。
   - **[プロファイルの不一致]**：**[開くときに確認]** と **[ペーストするときに確認]** にチェックをつけます。
   - **[埋め込みプロファイルなし]**：**[開くときに確認]** にチェックをつけます。
   - **[変換オプション]** - **[マッチング方法]**：**[知覚的]**（RGB イメージの場合）または **[相対的な色彩を維持]**（CMYK イメージの場合）を選択します。



   - **[OK]** をクリックします。
4. **[ファイル]** メニューから **[開く]** を選択し、ドキュメントを開きます。

5. 必要に応じてイメージを配置します。[**ファイル**] メニューから [**配置**] を選択し、使用可能なイメージを参照して [**開く**] をクリックします。

6. [**ファイル**] メニューから [**ドキュメント設定**] を選択し、ドキュメントのすべての設定が正しいことを確認します。

7. [**表示**] メニューから、[**画質の設定**] - [**高品質表示**] を選択します。

8. [**表示**] メニューから、[**校正設定**] - [**カスタム**] を選択します。

   - プロファイル: 校正する出力デバイスのプロファイルを選択します。プリンタのプロファイルは一般に、プリンタのモデルや用紙の種類に依存しています。正しいプロファイルがリストに見つからない場合は、/**ライブラリ**/ColorSync/Profiles フォルダにプロファイルをコピーしてください。

   - [**表示オプション (スクリーン)**] - [**紙色をシミュレート**]: これは、モニタの表示のみに影響します。用紙のカラーを画面に再現する場合は、このボックスをオンにします。オンにしなかった場合、用紙のカラーは完全な白であるとみなされます。

   - [OK] をクリックします。

   - これで、イメージをレタッチしたり、印刷時にどのように見えるかを画面で確認することができます。

9. [**ファイル**] メニューから [**プリント**] を選択します。

   - [**プリンタ**]: プリンタを選択します (たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo])。

   - [**用紙設定**] ボタンを押します。

     - [**対象プリンタ**]: プリンタを選択します。

     - [**用紙サイズ**]: ジョブを印刷する用紙のサイズを選択します。

     - [**方向**]: ページの画像の向きを選択します。

     - [OK] をクリックします。

10. プリンタ ドライバの設定を変更するには、[**プリンタ**] ボタンを押します。

- プルダウン メニューから [**イメージ品質**] を選択し、現在プリンタに取り付けられている [**用紙の種類**]（または、[**任意**]）を選択します。また、[**標準**] 品質オプションを選択し、スライダを [**品質**] にドラッグします。



- プルダウン メニューから [**カラー品質**] を選択します。
  - [**カラーで印刷**] を選択します。
  - [カラーマネジメント] で、[**プリンタで管理**] を選択します。



- [**プリント**] をクリックします。

11. Adobe InDesign の [**プリント**] 設定を確認します。

- [**セットアップ**]（左側のメニュー）：
  - [**用紙サイズ**]：[**プリンタ ドライバで定義**] を選択します。
  - [**オプション**]：必要に応じてサイズ調整のオプションを選択します。
- [**色分解**]（左側のメニュー）：
  - [**カラー**]：[**コンポジット RGB**] を選択します。
- [**カラーマネジメント**]（左側のメニュー）：
  - [**プリント**]：[**ドキュメント**] を選択します。
  - [**オプション**] – [**カラーの処理**]：[**InDesignでカラーを決定**] を選択します。

- **[オプション] - [プリンタ プロファイル]**：校正するプリンタまたはプレスのプロファイルを選択します。選択するプロファイルは、**[プルーフ設定]** ダイアログ ボックス（この場合は [U.S. Web Coated (SWOP) v2]）と同じものである必要があります。



- [プリント] をクリックします。

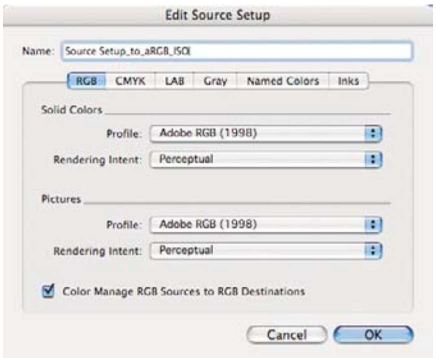
プリンタで出力を確認する (QuarkXPress、PSドライバ)

この例では、PostScript ドライバがインストールされたMac OS XでQuarkXPress 7を使用しています。カラー マネジメントは、プリンタの内蔵PostScript RIPにより行われます。

この例の目的は、プレス（この場合はEurope ISO Coated FOGRA27プレス）の概念的な校正を作成することです。QuarkXPressでは、ドキュメントとそのイメージをISO Coatedスペースに変換してプリンタに送信します。プリンタで、ISO Coatedスペースはプレスなどをエミュレートする最終的なカラーに変換されます。したがって、関係するカラー変換は2つの段階があります。

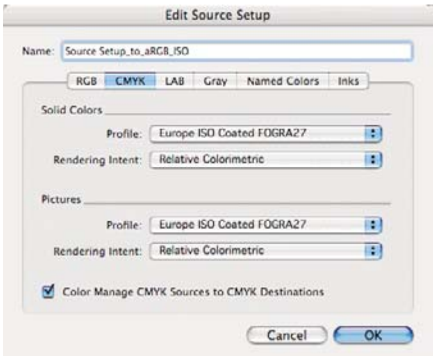
1. 推奨される初期設定
   - 用途に応じて適切な用紙の種類を選択します。
   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」および96 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。
   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. QuarkXPress 7を起動します。
3. [File] メニューから [Color Setups] - [Source] - [New] を選択し、[Name] を選択してカスタムのソース設定を指定します。
4. [RGB] タブを選択します。
   - [Solid Colors] - [Profile]：[Adobe RGB (1998)] を選択します。
   - [Solid Colors] - [Rendering Intent]：[Relative Colorimetric] または [Perceptual] を選択します。
   - [Pictures] - [Profile]：[Adobe RGB (1998)] を選択します。
   - [Pictures] - [Rendering Intent]：[Perceptual] を選択します。

- [Color Manage RGB Sources to RGB Destinations] チェック ボックスをオンにします。



5. [CMYK] タブを選択します。

- [Solid Colors] – [Profile]：[Europe ISO Coated FOGRA27]（ヨーロッパ用）、[U.S. Web Coated (SWOP) v2]（米国）、または[Japan Standard v2]（日本）を選択します。
- [Solid Colors] – [Rendering Intent]：[Relative Colorimetric] を選択します。
- [Pictures] – [Profile]：[Europe ISO Coated FOGRA27]（ヨーロッパ用）、[U.S. Web Coated (SWOP) v2]（米国）、または[Japan Standard v2]（日本）を選択します。
- [Pictures] – [Rendering Intent]：[Relative Colorimetric] を選択します。
- [Color Manage CMYK Sources to CMYK Destinations] チェック ボックスをオンにします。



- [OK] をクリックします。

6. [Edit] メニューから [Color Setups] – [Output] – [New] を選択し、[Name] を選択してカスタムの出力設定を指定します。

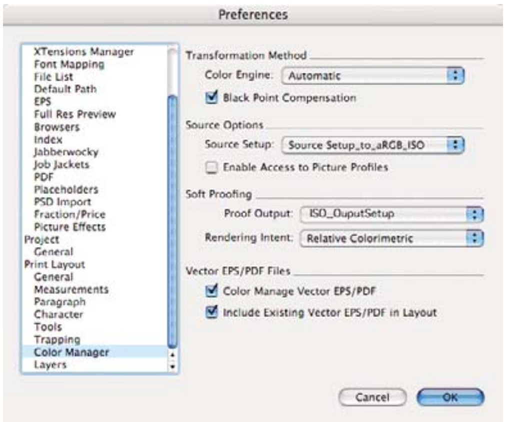
- [Name]：カスタムの出力設定を識別するための名前を選択します。
- [Mode]：[Composite] を選択します。
- [Output Options] – [Model]：[CMYK] を選択します。

- [Output Options] – [Profile]：[Europe ISO Coated FOGRA27] を選択します。



- [OK] をクリックします。

7. [Edit] メニューから [Preferences] – [Color Manager]（[Print Layout] の左側のメニュー）を選択します。
   - [Black Point Compensation] チェック ボックスをオンにします。
   - [Source Options] – [Source Setup]：カスタムのソース設定を選択します。
   - [Soft Proofing] – [Proof Output]：カスタムの出力設定を選択します。
   - [Soft Proofing] – [Rendering Intent]：[Relative Colorimetric] を選択します。



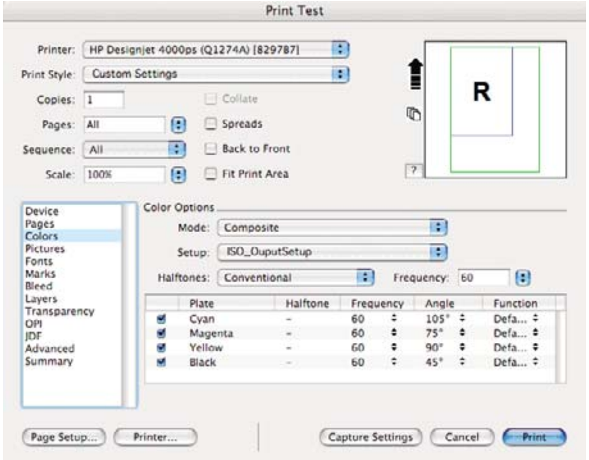
   - [OK] をクリックします。

8. [File] メニューから [Open] を選択し、プロジェクトを参照します。イメージを挿入するには、[Rectangle Picture Box] を使用してボックスを描き、[File] – [Import Picture] を使用してイメージを挿入します。

9. 画像を選択し、[Item] メニューで [Preview Resolution] を [Full Resolution] に設定します。

10. [File] メニューから [Print] を選択します。
    - [Printer]：プリンタを選択します（たとえば、[HP Designjet Z3100ps GP 24in Photo]）。
    - 左側のメニューから [Colors] パネルを選択します。
      - [Color Options] – [Mode]：[Composite] を選択します。

- [Color Options] – [Setup]：カスタムの出力設定を選択します。



- [Orientation]：ページのドキュメントの向きを選択します。
- [OK] をクリックします。

11. プリンタ ドライバの設定を変更するには、[**プリンタ**] ボタンを押します。

- プルダウン メニューから [**イメージ品質**] を選択し、現在プリンタに取り付けられている [**用紙の種類**]（または、[**任意**]）を選択します。また、[**標準**] 品質オプションを選択し、スライダを [**品質**] にドラッグします。



- プルダウン メニューから [**カラー品質**] を選択します。
  - [**カラーで印刷**] を選択します。

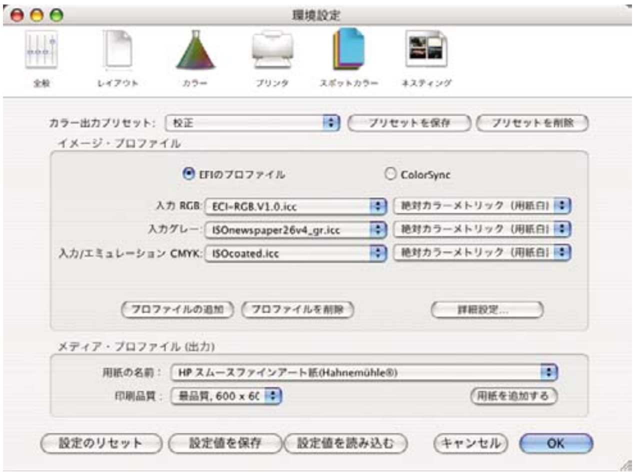
- ［カラーマネジメント］で、**［プリンタで管理］**を選択します。



- ドライバのウィンドウで**［プリント］**をクリックします。
- QuarkXPressの［Print］ウィンドウで**［Print］**をクリックします。

EFI RIPを使用して印刷を校正する

1. EFI Designer Edition for HPを開きます。
2. RIPの**［環境設定］**を開きます。**［カラー］**を選択します。
   - **［カラー出力プリセット］**として**［校正］**を選択します。
   - エミュレートする印刷の入力/エミュレーションCMYKプロファイルを選択します。たとえば、**［ISOcoated.icc］**（ヨーロッパ用）や**［Best_SWOP_Ref_Presssheet_2003.icc］**（米国用）を選択します。EFI のデフォルトのプロファイルについては、RIP マニュアルの4.2.2 の「イメージ・プロファイル」を参照してください。
   - リストに目的の印刷プロファイルがない場合は、**［プロファイルの追加］**ボタンを選択して印刷プロファイルを追加します。
   - **［詳細設定］**ボタンをクリックし、**［埋め込みプロファイルの使用］**チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、イメージに含まれているプロファイルが存在する場合はそのプロファイルが使用されます。
   - **［メディア プロファイル］**で、使用する用紙と印刷モードを選択します。
   - **［OK］**をクリックして**［環境設定］**ウィンドウを閉じます。



3. ［プリンタ］および［レイアウト］の設定で、レイアウトまたはプリンタに依存する他の設定を選択できます。

4. 校正するファイルをドラッグし、RIPキュー（図を参照）にドロップします。



サポートされている形式は PS レベル 3、PDF 1.7、EPS、TIFF、JPEG、DCS 2.0、PDF/X1a、PDF/X であることに注意してください。

5. ツールバーまたはメニューの［印刷］をクリックします。

7 ジョブ キューの管理

内蔵Webサーバのジョブ キュー ページ

プリンタのジョブ キューは、HP Easy Printer Care (Windows) または HP Printer Utility (Mac OS) (29 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスする 」を参照) またはプリンタの内蔵Webサーバ (30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照) から管理できます。

ジョブ キューのページには、プリンタのジョブ キューにあるすべてのジョブが表示されます。ここには、受信中、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

ジョブごとに以下の情報が表示されます。

- **[プレビュー]**: ジョブのプレビューを表示するには、このアイコンをクリックします。ジョブのプレビューは、ジョブが処理されると表示可能になります。
- **[ファイル名]**: ジョブのプロパティを表示するには、ファイル名をクリックします。
- **[ステータス]**: 現在のジョブのステータスを表示します。
- **[ページ数]**: ジョブのページ数。
- **[部数]**: 印刷する部数。
- **[日付]**: プリンタがジョブを受信した日付と時刻。
- **[ユーザ]**: ユーザの名前。

キュー内のジョブは、任意の情報項目 (プレビューを除く) に対応する列のタイトルをクリックすることによって並べ替えることができます。次の操作は、キュー内のジョブのうちの1つでも全部でも実行できます。

- **[キャンセル]**: 選択したジョブをキャンセルします。ジョブをキャンセルする前に確認メッセージが表示されます。ジョブはプリンタに保存されたままですが、**[再印刷]** をクリックしない限り印刷は行われません。
- **[一時停止]**: **[続行]** をクリックして印刷を続行するまで、選択したジョブを保留します。
- **[続行]**: 選択した保留中のジョブすべての印刷を続行します。
- **[再印刷]**: ジョブをさらに特定の部数、印刷します。部数 (デフォルトは1で最大は99) を入力し、**[印刷]** をクリックします。
- **[キューの先頭に移動する]**: 選択したすべてのジョブをジョブ キューの先頭へ送ります。
- **[削除]**: 選択したジョブをジョブ キューから削除します。ジョブを削除する前に確認メッセージが表示されます。
- **[更新]**: ページを更新して、情報を最新の状態にします。

注記: ジョブ キューのページは、自動的には更新されません。

ジョブのプレビュー

プリンタでは送信されてくるすべてのジョブをサンプリングし、ジョブのプレビューとして表示可能なJPEGファイルを生成します。このプレビューは、プリンタが対応するすべての言語 (PDF、PS、HPGL/2、RTL、TIFF、CALS/G4、およびJPEG) で使用可能です。

注意： プレビューするページ数が64を超えるジョブを送信しないでください。

ジョブのプレビューは、ジョブが処理されると表示可能になります。プレビュー ページにアクセスするには、虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはジョブ キュー ページの [プレビュー] 列に表示されます。プレビュー ページには、次のようなジョブの詳細と、ジョブのプレビューがサムネールで表示されます。

- **[ファイル名]**：ジョブのファイル名。
- **[取り付けられている用紙]**：プリンタに取り付けられている用紙の種類。
- **[ジョブの寸法]**：ジョブの寸法。

より大きなジョブのプレビューを見るには、ジョブのサムネールまたは虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはプリンタのイメージの右側に表示されます。

注記： Macromediaプラグインが入っていないブラウザでは、ジョブのイメージが黄みがかって表示されます。Macromedia Flashプラグインのバージョン7以上が入っているブラウザでは、プリンタに取り付けられている用紙にジョブのイメージが印刷された状態の高機能プレビューが表示されます。

ジョブ キューをオフにする

内蔵Webサーバからキューをオフにするには、[**セットアップ**] タブ – [**プリンタ設定**] – [**ジョブ管理**] – [**キューイング**] を選択し、[**オフ**] を選択します。フロント パネルからオフにするには、[セットアップ] アイコンを選択し、[**ジョブ管理オプション**] – [**キューの有効化**] – [**オン/オフ**] を選択します。

キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

注記：［印刷の開始］オプションは、PostScriptジョブでは使用できません。

キュー内にあるジョブをどの段階で印刷するかを選択することは可能です。内蔵Webサーバから［**セットアップ**］タブ－［**プリンタ設定**］－［**印刷の開始**］を選択するか、フロント パネルから［ジョブ管理メニュー］アイコンを選択し、［**ジョブ キュー**］を選択します。

選択可能なオプションは次の3つです。

- ［**処理後**］を選択すると、ページ全体が処理されるまで待ってから印刷を開始します。最も時間のかかる設定ですが、大きな印刷や複雑な印刷において最高の印刷品質が保証されます。
- ［**すぐに**］を選択すると、ページを処理しながら印刷します。最も高速な設定ですが、印刷の途中にデータの処理を行うためプリンタが停止する場合があります。濃い色で複雑なイメージを印刷する場合には、この設定はお勧めしません。
- ［**最適化**］を選択すると（デフォルト設定）、ページの印刷を開始する最適なタイミングをプリンタが計算します。これは通常、［**処理後**］と［**すぐに**］の設定の間になる最も適した設定です。

キュー内のジョブの識別

キューを見る最善の方法は、内蔵Webサーバ（[**メイン**] タブ – [**ジョブ キュー**]）から見る方法です。ここでは、キューを管理したり、（ファイルの名前をクリックすることで）すべてのジョブに関する完全な情報を見ることが可能です。

ただし、キューの管理はフロントパネルからでも実行できます。これを行うには、[ジョブ管理メニュー] アイコン  を選択し、[**ジョブ キュー**] を選択します。これにより、キュー内のジョブのリストが表示されます。

それぞれのジョブには、次のような構成の識別子が付いています。

〈キュー内での位置〉:〈イメージ名〉

現在、印刷中のジョブにはチェック マーク、キャンセルされたジョブにはバツ、処理中のジョブには時計、保留中のジョブには警告が表示されます。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内の任意のジョブを次の印刷対象にするには、そのジョブを選択して［**再印刷**］（内蔵Webサーバの場合）または［**キューの先頭に移動する**］（フロントパネルの場合）を選択します。

ネスティングがオンになっている場合、優先されるジョブも他のジョブとネストされることがあります。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、そのジョブ自体がキューの途中にある場合は、まずネスティングをオフにして、前述の方法でキューの先頭にジョブを移動します。

ジョブ キュー

キューからジョブを削除する

通常の環境では、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューからジョブが削除されるためです。しかし、誤ってファイルを送信し、そのファイルが再印刷されるのを避ける場合は、(内蔵Webサーバまたはフロントパネルで) そのファイルを選択して［**削除**］を選択することでファイルを削除できます。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

ジョブが現在印刷中 (内蔵Webサーバでのステータスが 「**印刷しています**」、またはフロントパネルでのキュー位置が0) で、ジョブをキャンセルして削除する場合は、まずWebサーバの［キャンセル］アイコンをクリックするか、フロントパネルの キャンセル キーを押して、キューからジョブを削除します。

キュー内のジョブを再印刷またはコピーする

キュー内のジョブを再印刷したり部数を追加したりする場合は、内蔵Webサーバでそのジョブを選択して［**再印刷**］アイコンをクリックし、必要な部数を指定します。ジョブはキューの先頭に移動されます。フロントパネルからキュー内でまだ印刷されていないジョブの印刷物を複数部作成するには、ジョブを選択し、［**部数**］を選択して、必要な部数を指定し、選択 キーを押します。この値は、ソフトウェアで設定されたどの値よりも優先されます。

注記： ファイルの送信時に［**回転**］が［**オン**］になっていると、指定した部数すべてが回転して印刷されます。

すでに印刷したジョブをフロントパネルから再印刷できます。［ジョブ管理メニュー］アイコンを選択し、キューからジョブを選択して、［**再印刷**］を選択します 。

注記： この方法は、PCL3ジョブでは使用できません。以前のジョブがPCL3である場合、使用するオペレーティング システムのプリンタ スプーラで再印刷できます。ただし、以前のジョブを保存するようスプーラを設定しておく必要があります。この機能は、使用するオペレーティング システムによって異なります。

ジョブのステータス メッセージ

以下は、表示されうるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- **データを受信しています**：プリンタがコンピュータからジョブを受信しています
- **処理待機中**：ジョブがプリンタで受信され、レンダリングを待っています（内蔵Webサーバ経由で送信されたジョブのみ）
- **データを処理しています**：プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています
- **印刷の準備を行っています**：プリンタがジョブの印刷前に出力システムのチェックを行っています
- **印刷待ち**：印刷エンジンが印刷に移行できるようになるのを待っています
- **ネスト待機中**：プリンタでネスティングがオンに設定されているため、ネスティングが完了して印刷に移行するために他のジョブを待っています
- **保留中**：ジョブが［**プレビュー待ち中**］オプション付きで送信され、保留中になっています

  注意： プレビューするページ数が64を超えるジョブを送信しないでください。

  注記： キュー機能がオンになっている状態で、ジョブの印刷中にプリンタがハングアップした場合、次にプリンタの電源をオンにしたときに、部分的に印刷されたジョブはキュー内で **保留中** と表示されます。ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

- **用紙の保留**：プリンタに用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け（39 ページの 「用紙の取り扱い」を参照）、［**続行**］をクリックしてジョブを再開します
- **アカウンティング待ち中**：すべてのジョブにアカウントIDが付いている必要があるため、ジョブを印刷できません。アカウントIDを入力し、［**続行**］をクリックしてジョブを再開してください
- **印刷**
- **乾燥中**
- **用紙カット中**
- **用紙を排出しています**
- **キャンセルしています**：ジョブはキャンセルされますが、プリンタのジョブ キューには残ります
- **削除中**：ジョブをプリンタから削除しています
- **印刷しました**
- **キャンセル**：ジョブがプリンタによってキャンセルされました
- **ユーザの指示によりキャンセルしました**
- **空のジョブ**：ジョブに印刷対象が入っていません

保留を解除する

プリンタでジョブが保留されて警告が出た場合は、270 ページの 「プリンタ アラート 」を見ると、ジョブが保留された理由がわかります。保留を解除して印刷を続行するには、画面の指示に従います。

ジョブ キュー

8　プリンタの使用状況に関する情報を取得する

プリンタのアカウンティング情報

プリンタからアカウンティング情報を取得するには、いくつかの方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示する (151 ページの 「プリンタの使用状況に関する情報を確認する 」を参照)。
- HP Easy Printer Care (Windows)、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)、またはフロントパネルを使用して、最近実行した各ジョブのインクと用紙の使用状況を表示する (152 ページの 「ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する 」を参照)。HP Easy Printer CareまたはHP プリンタ ユーティリティが使用できない場合は、29 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスする 」を参照してください。
- サードパーティ製アプリケーションを使用して、インターネット経由でプリンタのステータス、プリンタの使用状況、またはプリンタのジョブ アカウンティング データを取得します。プリンタは、要求されるとアプリケーションにXML形式でデータを提供します。HPでは、そのようなアプリケーションの開発を促進するためにSoftware Development Kitを提供しています。

プリンタ使用状況

プリンタの使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには、2つの方法があります。

注記： 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）でのプリンタ情報

1. HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスします（29 ページの 「HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスする 」を参照）。
2. プリンタの使用に関する全状況を表示するには、**[使用状況]** ウィンドウに移動します。
3. Windowsでは、**[概要]** タブに移動し、**プリンタ使用状況** リンクをクリックします。

   Mac OSでは、**[情報]** - **[プリンタ使用状況]** を選択し、**[検索]** ボタンをクリックします。

内蔵Webサーバでのプリンタ情報

1. 内蔵Webサーバにアクセスします（30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照）。
2. **[メイン]** タブに移動します。
3. **[履歴]** - **[使用状況]** を選択します。

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには、2つの方法があります。

注記： 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) でのインクと用紙の情報

1. HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスします (29 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスする 」を参照)。
2. 前回のジョブに関する情報を表示するには、[**ジョブ センター**] ウィンドウに移動します。
3. Windowsでは、[**アカウンティング**] タブに移動します。

   Mac OSでは、[**ジョブ アカウンティング**] を選択し、[**検索**] ボタンをクリックします。

内蔵Webサーバでのプリンタ情報

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照)。
2. [**メイン**] タブに移動します。
3. [**履歴**] – [**アカウンティング**] を選択します。

9 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い

インクカートリッジについて

インクカートリッジにはインクが収められており、用紙にインクを噴射するプリントヘッドに接続されています。24インチ プリンタには69mlの導入用カートリッジが12個取り付けられています。44インチ プリンタには130mlのカートリッジが12個取り付けられています。どちらのプリンタ用にも、130mlのインクカートリッジを購入できます（185 ページの 「アクセサリ」を参照）。

注意： インクカートリッジはESD センシティブ デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です（293 ページの 用語集を参照）。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

インクカートリッジのステータスを確認する

インクカートリッジのインク量を表示するには、フロントパネルの インク容量の表示 ボタンを押します。

インクカートリッジの詳細を表示するには、フロントパネルのインクのメニュー、HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) が使用できます。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細は、247 ページの 「インクカートリッジのステータス メッセージ」を参照してください。

インクのメニューの使用手順

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[インク] アイコンを選択し、**[インク カートリッジ情報]** を選択します 。
2. 情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルには以下の情報が表示されます。
   - カラー
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号
   - ステータス
   - インク残量 (該当する場合)
   - 容量
   - 使用期限日付
   - 製造元
   - 保証期限

HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) での手順

- HP Easy Printer Care (Windows) では、**[概要]** タブに移動すると、**[サプライ品ステータス]** - **[カートリッジ]** の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) では、**[情報]** - **[プリンタ ステータス]** を選択します。

インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジの取り外しが必要になる場合は、次の3点があげられます。

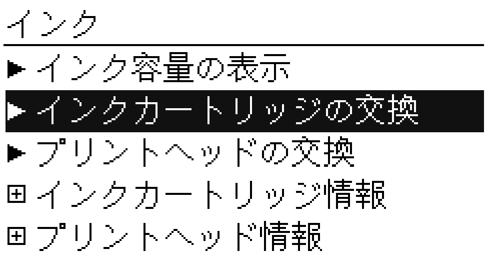
- カートリッジのインク残量が僅かで、無人印刷を実行するために満杯のカートリッジに交換する必要がある場合（元のカートリッジは都合のよいときに使い切ることができます）
- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合
- インクカートリッジの使用期限が切れた場合

注意： 印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

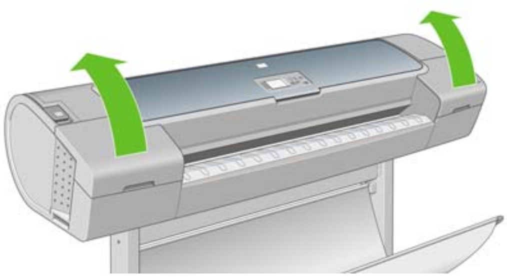
注意： インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

注意： プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキ レバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、［インク］アイコンを選択し、［**インクカートリッジの交換**］を選択します 。

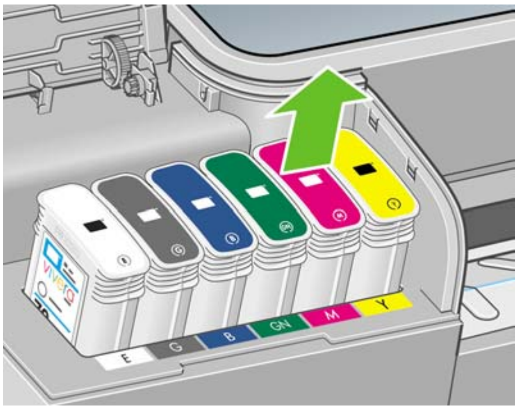


2. インクカートリッジのカバーを完全に開きます。グロスエンハンサ、グレー、ブルー、グリーン、マゼンダ、イエローは左側に、ライトマゼンタ、ライトシアン、フォトブラック、ライトグレー、マットブラック、レッドは右側にあります。



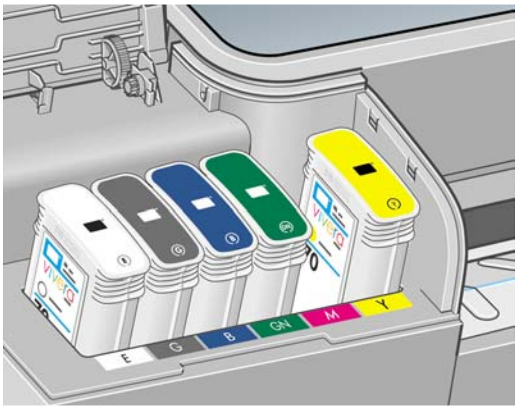
3. 取り外すカートリッジをつかみます。

4. カートリッジを真上に引き上げます。



注記： プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着している場合があります。

注記： 一部使用済みのインクカートリッジは保管しないようにしてください。



5. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。

インクカートリッジを取り付ける

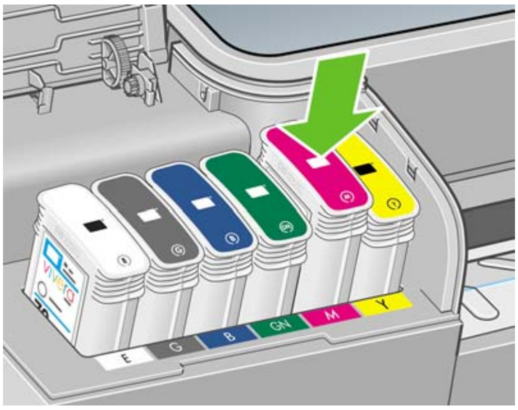
1. インクカートリッジは、袋から取り出す前によく振ります。

2. 新しいインクカートリッジを取り出し、ラベルを参照してインクの色を確認します。空いたスロットに印された文字（このイラストの場合、マゼンタを意味するM）と、カートリッジのラベルの文字が同じであることを確認します。

3. インクカートリッジをスロットに取り付けます。



4. 音がして固定されるまでカートリッジをスロットに押し込みます。カートリッジが取り付けられると、ブザーが鳴り、確認メッセージが表示されます。



取り付けにくい場合は、246 ページの 「インクカートリッジを取り付けられない 」を参照してください。

5. すべてのカートリッジを取り付けたら、ドアを閉めます。



6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されたら、フロントパネルの OK ボタンを押します。

プリントヘッドについて

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。

注意： プリントヘッドはESD センシティブ デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です（293 ページの 用語集を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[インク] アイコンを選択し、[**プリントヘッド情報**] を選択します 。
2. 情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルには以下の情報が表示されます。
   - カラー
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号
   - ステータス（271 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ 」 を参照）
   - 使用済みインク量
   - 保証期限

HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）を使用すると、コンピュータ上で上記の情報について確認できます。

プリントヘッドのステータス メッセージの詳細は、257 ページの 「プリントヘッドのステータス メッセージ」を参照してください。

注記： 保証期限に、保証に関する注記を参照するように指示している場合は、HP製以外のインクが使用されていることを示します。HP製以外のインクカートリッジを使用した場合、サービスおよび修理は無償保証の対象になりません。保証の詳細は、法律情報を参照してください。

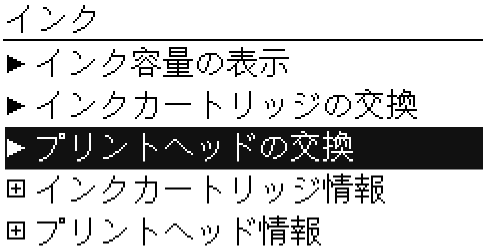
プリントヘッドを取り外す

注意： プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキ レバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



注意： プリントヘッドの交換は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

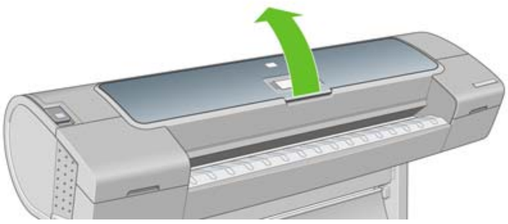
1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、［インク］アイコンを選択し、［**プリントヘッドの交換**］を選択します 。



2. キャリッジが適切な位置に移動します。

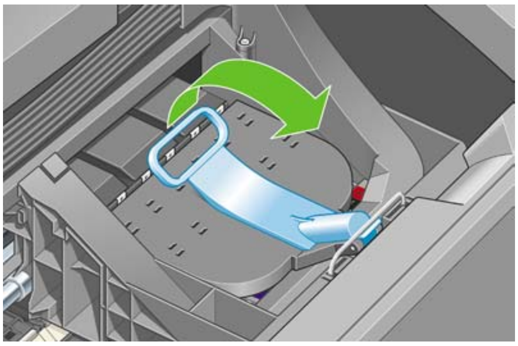
   注意： キャリッジは、取り外し位置に移動してからプリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに3分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

3. キャリッジが停止すると、ウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。

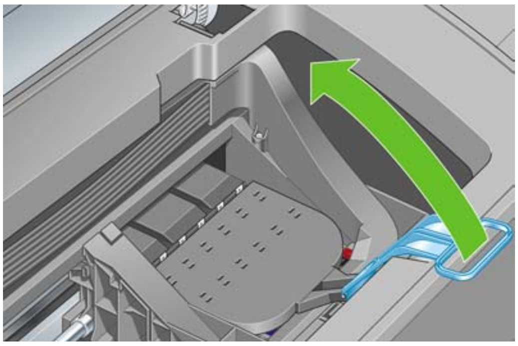


4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。

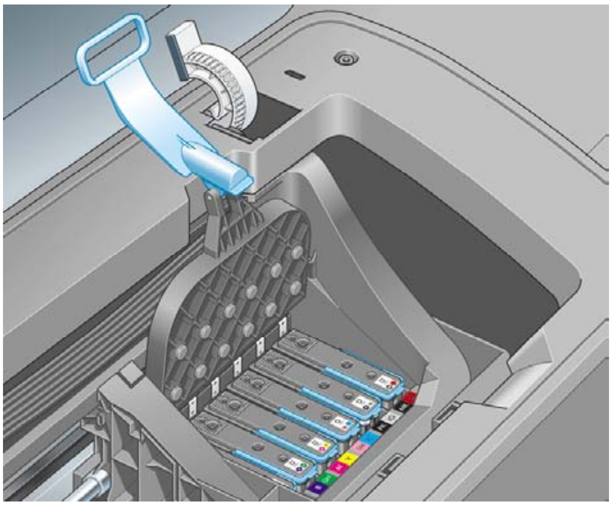
5. ハンドルを手前に引き上げ、ワイヤー ループを解除します。



6. ハンドルを押し戻して、キャリッジのカバーを起こします。

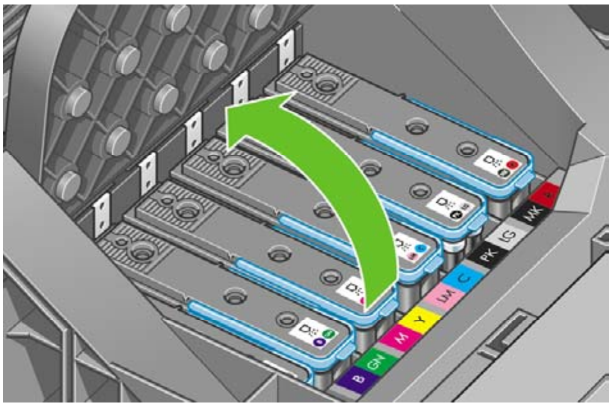


7. プリントヘッドにアクセスできるようになります。

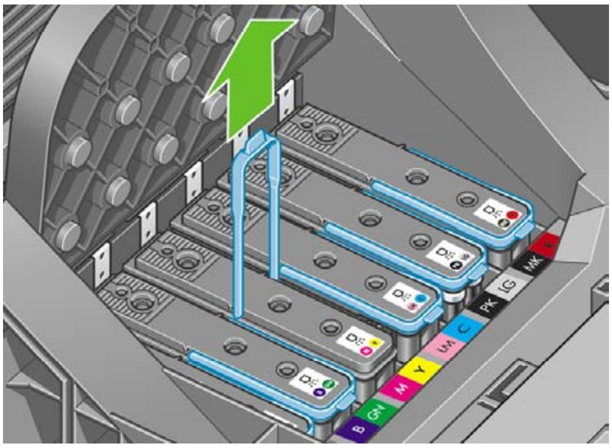


インクとプリントヘッド

8. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

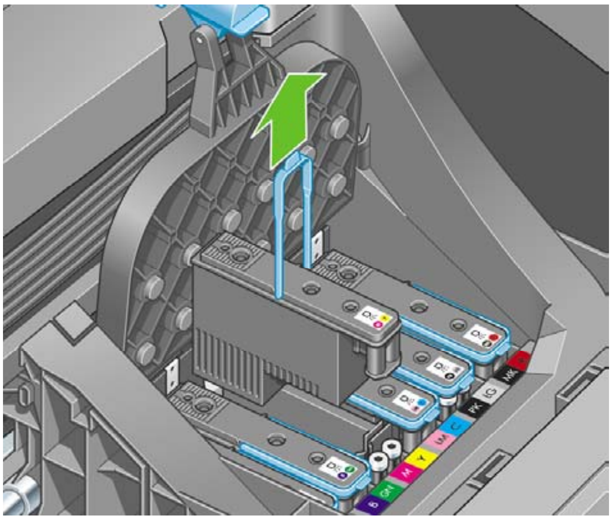


9. 青いハンドルを使って、一定の力でプリントヘッドを静かに取り外します。



10. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルを引き上げます。

> **注意：** 急いで引き上げるとプリントヘッドが破損することがありますので、ゆっくりと引き上げてください。

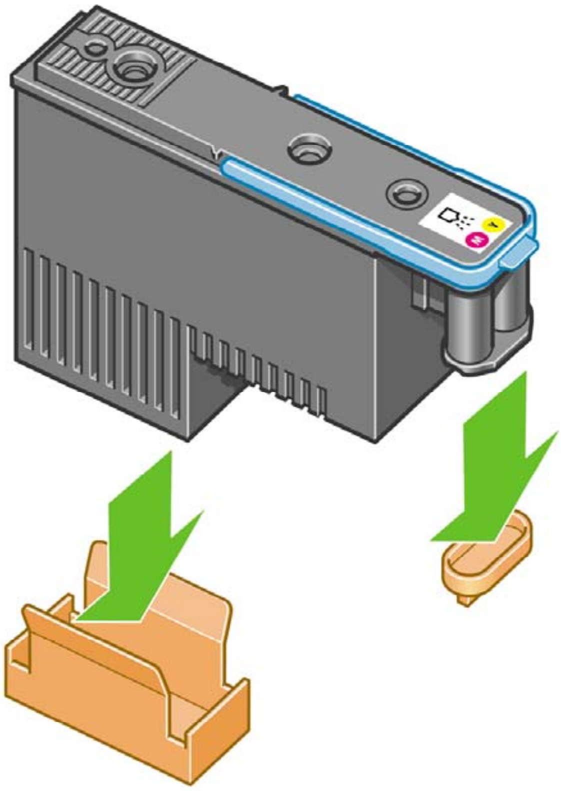


11. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

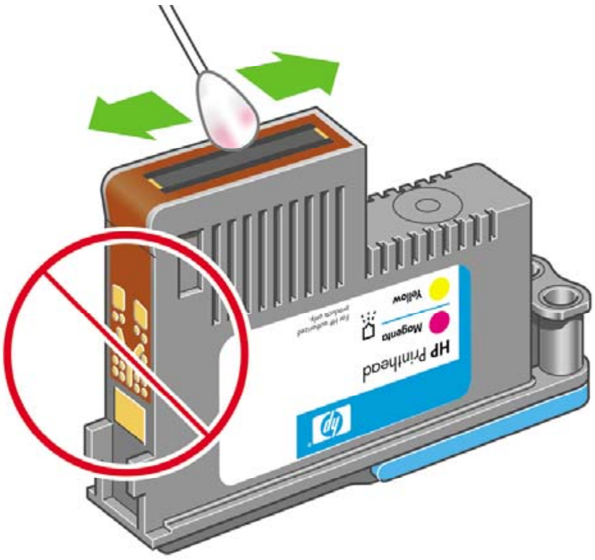
プリントヘッドを取り付ける

1. 新しいプリントヘッドの場合、保護キャップを取り外す前にプリントヘッドをよく振ります。

2. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。



3. プリントヘッドの下部を、同梱の綿棒でクリーニングするか、または綿棒と脱イオン水または蒸留水でクリーニングします。

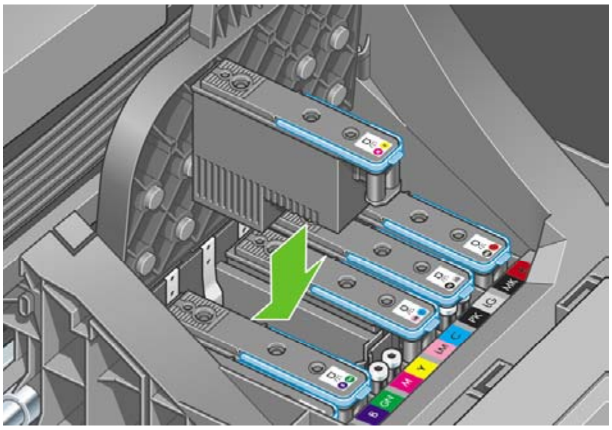


警告！ プリントヘッドの裏面にある電極部分に触らないでください。

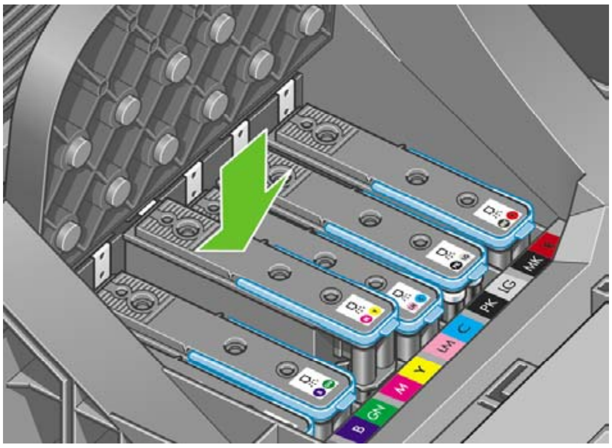
4. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジ スロットのラベルの色が合っていることを確認してください。

5. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

> **注意：** プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

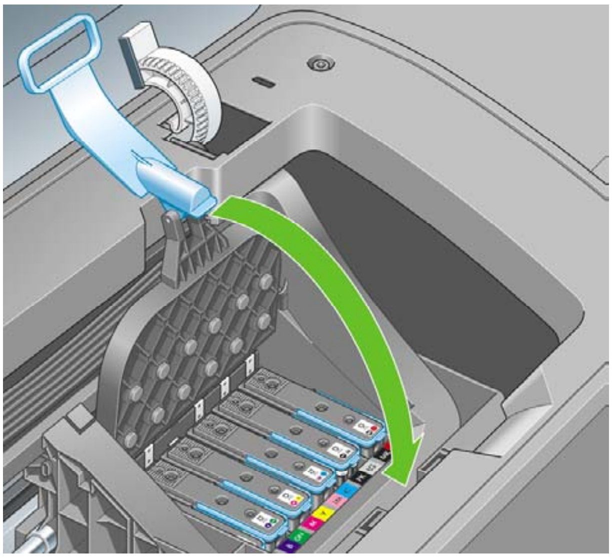


6. 図の矢印のとおりに、プリントヘッドを下に押し込みます。

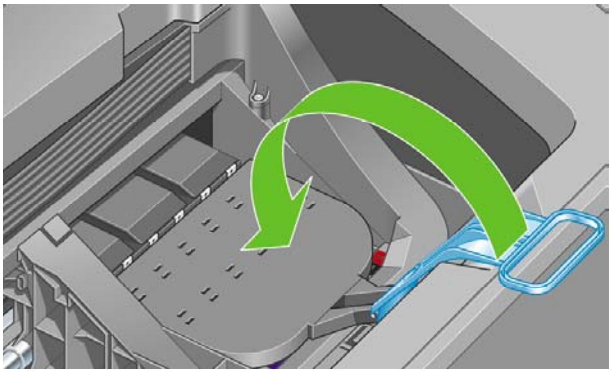


> **注意：** 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、248 ページの 「プリントヘッドを取り付けられない 」を参照してください。

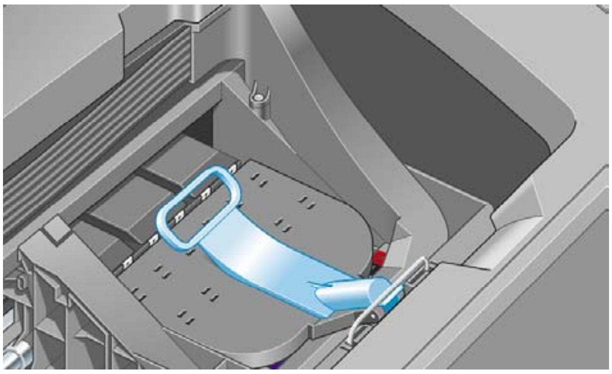
7. 必要なプリントヘッドを同じ手順ですべて取り付けたら、キャリッジのカバーを閉じます。



8. 青いハンドルの先端が、キャリッジの手前側のワイヤー ループに掛かっていることを確認します。



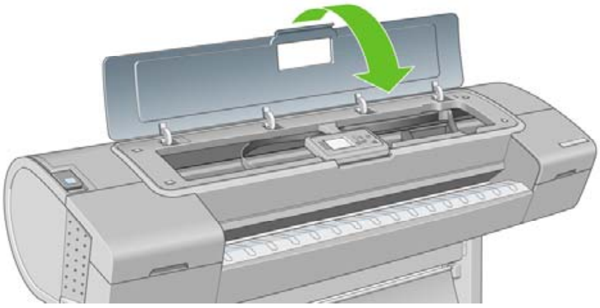
9. ハンドルをキャリッジのカバーの上まで押し下げます。



すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

注記： プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに**「交換して下さい」**というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

10. ウィンドウを閉じます。



11. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理はデフォルトで25分ほどかかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、この処理に最大で65分ほどかかることがあります。プリントヘッドを1つだけ取り付けた場合は、20～40分ほどかかります。すべてのプリントヘッドの確認と準備が終了した後、用紙が取り付けられている場合は、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。254 ページの「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

インクとプリントヘッド

10 プリンタを保守する

プリンタ ステータスを確認する

プリンタのステータスは、以下のさまざまな方法で確認できます。

- HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) を起動して、使用するプリンタを選択すると、プリンタ、用紙、インク サプライ品のステータスが記述されたページが表示されます。
- 内蔵Webサーバにアクセスすると、プリンタの全般的なステータスに関する情報が表示されます。[**メイン**] タブの [サプライ品] ページに、用紙およびインク サプライ品のステータスが表示されます。
- プリンタのフロントパネルのステータス画面に、プリンタに影響を与える現在の問題がまとめて表示されます。また、以下の情報も確認できます。
  - 現在取り付けられている用紙（取り付けられている用紙の表示 ボタン）
  - インク量（インク容量の表示 ボタン）
  - インクカートリッジ（[インク] アイコン を選択し、[**インクカートリッジ情報**] を選択）
  - プリントヘッド（[インク] アイコンを選択し、[**プリントヘッド情報**] を選択）

プリンタの外部をクリーニングする

プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

警告！ 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

注意： プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

カッターを交換する

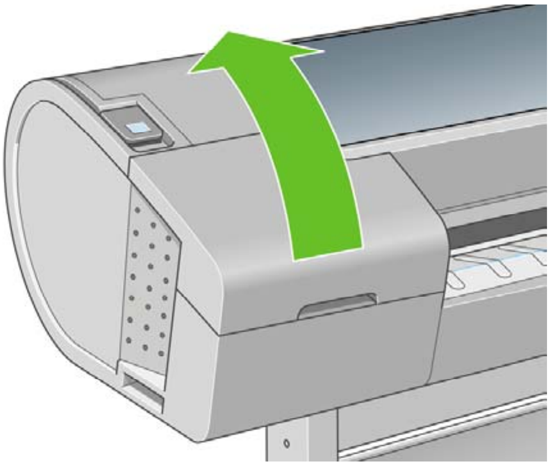
カッターは、使用する用紙の総量や厚さに応じて、プリンタの使用期間内に1～2度交換する必要があります。交換が必要な場合は、フロントパネルに表示されます。カッターをすぐに交換しなくてもプリンタは正常に動作しますが、フロントパネルにはカッターの情報が表示されたままになります。

カッターの交換は以下の手順で行います。

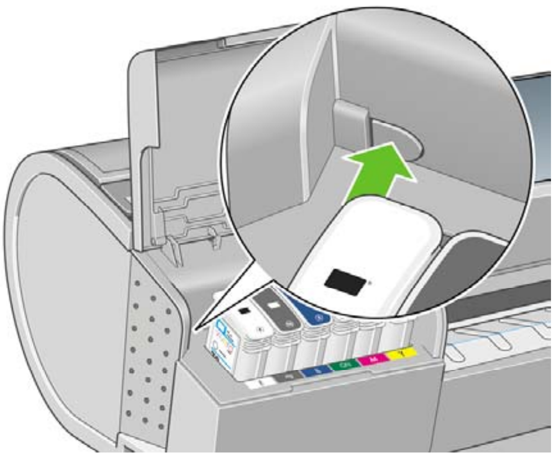
1. プリンタに用紙がセットされている場合は、用紙を取り外します。
2. フロントパネルで［セットアップ］アイコンを選択し、**［リセット］**－**［カッターの寿命カウンタをリセット］**を選択します 。
3. 少し間をおいて、プリンタの電源が切れます。プリントヘッド キャリッジはプリンタの右側、カッターは左側にあります。

   警告！ プリンタの電源を入れたままカッターの交換を行おうとすると感電する恐れがあります。

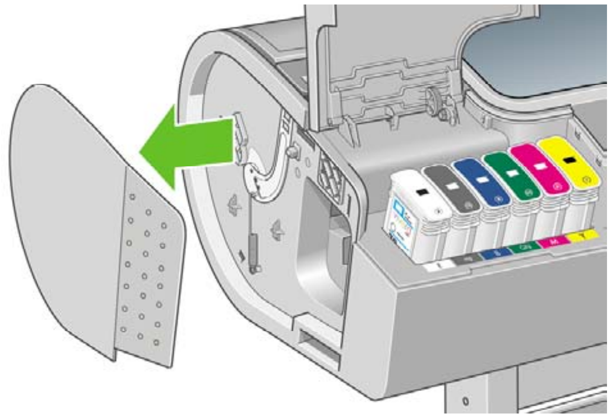
4. プリンタの左側にあるインクカートリッジ カバーを上げます。



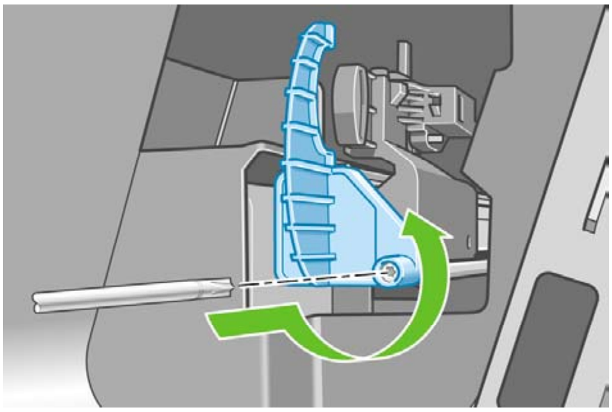
5. プリンタの左端のカバーを外すために、インクカートリッジの後方にあるボタンを押します。

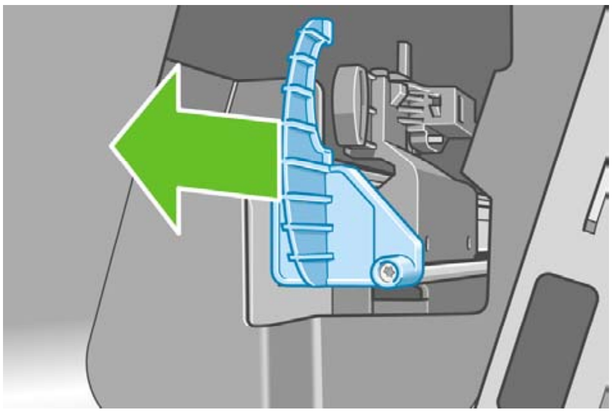


6. 左端のカバーを外します。

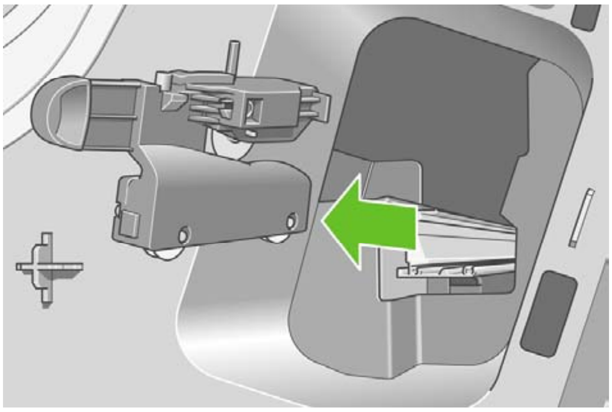


7. 新しいカッターに同梱されているトルクスプラス ドライバを使用して、カッター止めのネジを緩めて外します。ネジは、外れても落ちないようになっています。

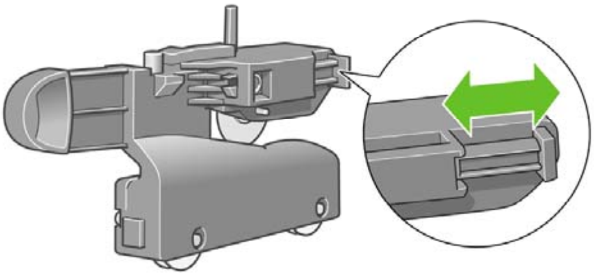




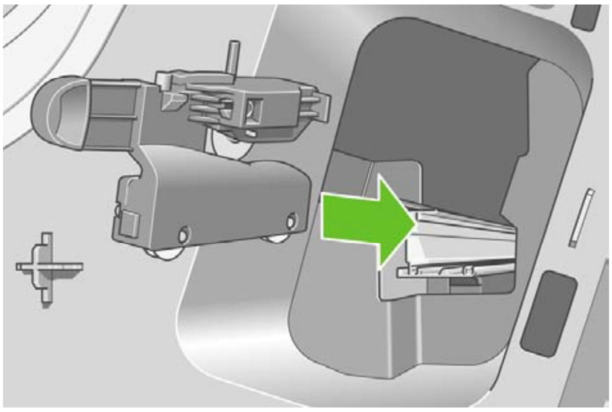
8. 古いカッターを外します。



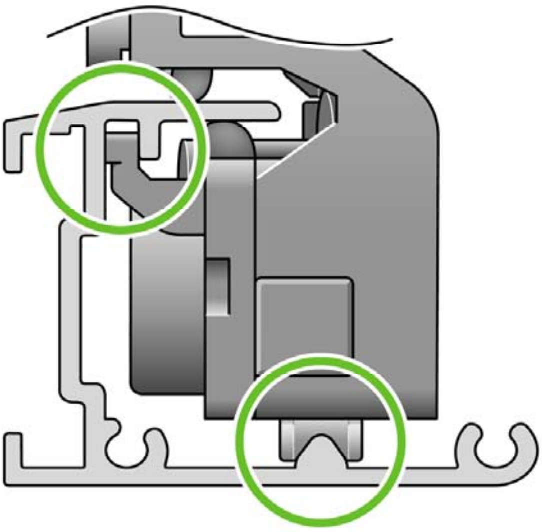
9. 保守キットから新しいカッターを取り出し、上部にあるプランジャーを枠の中でゆっくり前後に動かして、自由に動くことを確認します。



10. 新しいカッターをカッター レールの所定の位置に差し込みます。



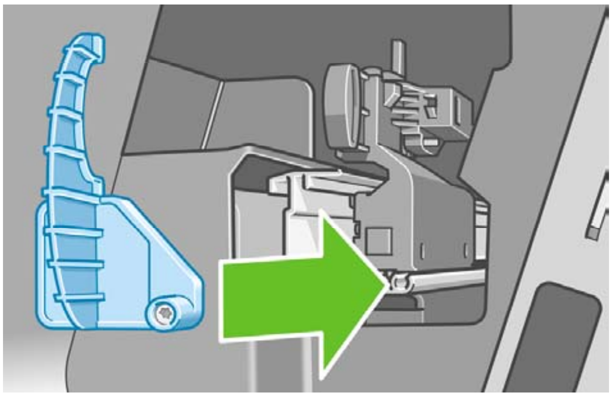
カッターの下部にあるキャスターが2つともカッター レール中央の隆起部にかみ合い、軸受けガイドが2つともカッター レール上部の溝にはまるようにします。

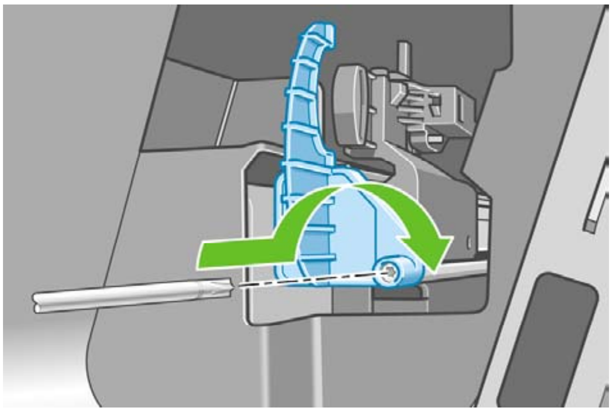


カッターがレール上を滑らかに動くことを確認します。カッターは、レール上のどこにあっても構いません。後で適切な位置に修正されます。

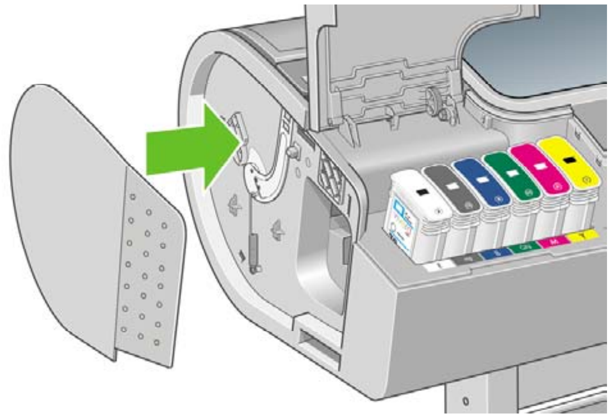
プリンタを保守する

11. カッター止めをカッター レールの端にはめ込み、片方の手で押さえながら、もう一方の手でドライバを使用しながらネジを締めます。



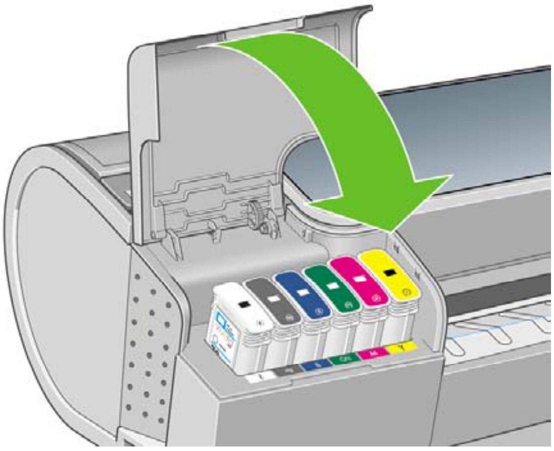


12. 左端のカバーをプリンタに取り付けます。カバー側の突起をプリンタ側の穴に合わせるようにします。



プリンタを保守する

13. インクカートリッジ カバーを閉じます。



14. フロントパネルでプリンタの電源を入れ直します。カッターが正しく取り付けられているかどうかの確認が行われます。フロントパネルを見て、何らかの問題が発生している場合はその指示に従います。

インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。カートリッジが使用期限に達すると、プリンタのフロントパネルに表示されます。

カートリッジの使用期限はいつでも確認できます（170 ページの 「プリンタ ステータスを確認する 」を参照）。

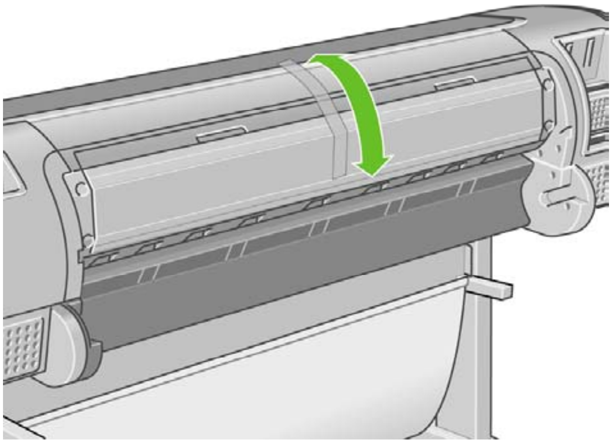
153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」も参照してください。

プリンタを保守する

プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、保管したりする必要がある場合は、損傷を防ぐために適切な準備作業を行ってください。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、プリントヘッドは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリンタがアイドル状態であることを確認します。
4. ネットワークやコンピュータにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。
5. プリンタを移動する前に、背面トレイをテープで閉じます。これを行わない場合、トレイが開き、壊れてプリンタから外れることがあります。



長期間プリンタの電源をオフのままにする必要がある場合は、以下の追加手順を実行します。

1. フロントパネルの 電源 ボタンを押して、電源をオフにします。
2. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
3. プリンタの電源ケーブルを取り外します。

注意： プリンタを逆さにすると、プリンタ内部にインクが漏れてプリンタに重大な故障が発生することがあります。

プリンタの電源を入れ直すと、プリンタの初期化、およびプリントヘッドの確認と準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備は、通常、1分強かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大1時間かかることがあります。

注意： プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、プリントヘッドが使用できなくなる可能性があります。この場合、プリントヘッドを新品に交換する必要があります。

長期間保管をした後でカラー精度の維持を優先する場合、カラーキャリブレーション処理を開始する前にプリントヘッドから少量のインクを除去することをお勧めします。プリントヘッドの準備でもインクが使用されますが、これはそれに加えて行うものです。フロントパネルで［イメージ品質の保守］アイコンを選択し、**［詳細設定］**－**［インクの除去］**を選択します 。

ヒント： プリントヘッドの準備と除去では時間とインクが消費されるので、プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンタの電源を常にオン、またはスリープ モードにしておくことを強くお勧めします。どちらの場合も、随時プリンタは自動的に起動し、プリントヘッドが保守されます。そのため、プリンタを使用する前に、準備処理に長い時間をかけずにすみます。

ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、Hewlett-Packardから入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

ファームウェアのアップデートは、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールできます。以下の中から最も便利な方法をお選びください。

- Windowsの場合、HP Easy Printer Careで使用するプリンタを選択し、[**サポート**] タブ、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。
- Mac OSの場合、HP プリンタ ユーティリティで [**サポート**] を選択し、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。
- 使用するプリンタの内蔵Webサーバで [**セットアップ**] タブを選択し、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。

いずれの場合でも、画面の指示に従ってファームウェア ファイルをハードディスクに保存します。次に、ダウンロードしたファイルを選択し、[**アップデート**] をクリックします。

ファームウェア ファイルをプリンタにアップロードする処理に非常に時間がかかる場合は、プロキシ サーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵Webサーバに直接アクセスします。

- WindowsのInternet Explorer 6を使用している場合は、[**ツール**] – [**インターネット オプション**] – [**接続**] – [**LANの設定**] をクリックし、[**ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない**] ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、[**詳細設定**] タブをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスを [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] の一覧に追加します。
- Mac OSのSafariを使用している場合は、[**Safari**] – [**環境設定**] – [**詳細**] をクリックし、[**プロキシ：設定を変更**] ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プロファイルが含まれています。追加の用紙プロファイルは、別途ダウンロードできます (56 ページの 「用紙プロファイル 」を参照)。

ソフトウェアをアップデートする

HP Designjetプリンタ用のプリンタ ドライバおよびその他のソフトウェアをアップデートするには、http://www.hp.com/support/japanにアクセスし、[**ダウンロード**] を選択して [**ドライバ**] を選択します。次に、使用するプリンタ、表示言語、オペレーティング システムを選択します。

Windowsをご使用の場合、HP ソフトウェア アップデートによってソフトウェアが定期的に自動更新されます。

プリンタ保守キット

プリンタには3種類の保守キットが用意されており、長期間使用したコンポーネントを交換できます。コンポーネントの交換が必要な場合、フロントパネルにメッセージが表示されるか、HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) によってメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、HPサポート (280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照) までお問い合わせの上、保守キットを入手してください。キットのうち2種類は、サービス エンジニアがインストールします。もう1種類のキットに入っている交換用カッターは、ユーザ自身で取り付けることができます (「172 ページの 「カッターを交換する 」」を参照)。

安全なディスク消去

プリンタのハード ディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。安全なディスク消去機能を使用すれば、ハード ディスクから情報を完全に消去して、許可のないアクセスから情報を保護できます。特定のファイルを消去することも、ハード ディスク全体を消去することも可能です。

安全なディスク消去機能では、次の3つのセキュリティ レベルを設定できます。

- **非セキュア高速消去**： 情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハード ディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータ システムでファイルを消去するときに使用される通常の方法です。最も短時間で消去できますが、最も安全性の低い方法です。

- **セキュア高速消去**： 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。非セキュア高速消去よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気の痕跡を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。

- **セキュア サニタイジング消去**： 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュア サニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスク メディアの消去およびサニタイジングの要件 (5220-22.m) を適合しています。安全なディスク消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティ レベルです。

安全なディスク消去は、HPから無料で提供されているWebベースの印刷管理ソフトウェアWeb JetAdminの機能の1つです。詳細は、http://www.hp.com/go/webjetadmin/を参照してください。

Web JetAdminから安全なディスク消去するときに問題が発生した場合は、HPサポート(280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照) にお問い合わせください。

ハード ディスク全体の消去を選択する前に、次の点に注意してください。

- 処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なディスク消去では約6時間、セキュア サニタイジング消去では約24時間かかります。
- フロント パネルから入手できるデモ印刷は削除されます。元に戻すことはできません。

プリンタを保守する

11 アクセサリ

サプライ品およびアクセサリ

プリンタ用のサプライ品およびアクセサリについては、次の2つの方法でご確認ください。

- Webで、http://www.hp.com/jp/dj-supply/にアクセスする
- HPサポート（280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照）に問い合わせる

以下は、ご使用いただけるサプライ品およびアクセサリと製品番号のリストです。

インク サプライ品について

このプリンタ対応のインク サプライ品は以下のとおりです。

表 11-1 インクカートリッジ

カートリッジ	製品番号
HP70 インクカートリッジ マットブラック	C9448A
HP70 インクカートリッジ フォトブラック	C9449A
HP70 インクカートリッジ グレー	C9450A
HP70 インクカートリッジ ライトグレー	C9451A
HP70 インクカートリッジ マゼンタ	C9453A
HP70 インクカートリッジ イエロー	C9454A
HP70 インクカートリッジ ライトマゼンタ	C9455A
HP70 インクカートリッジ レッド	C9456A
HP70 インクカートリッジ グリーン	C9457A
HP70 インクカートリッジ ブルー	C9458A
HP70 インクカートリッジ グロスエンハンサ	C9459A
HP70 インクカートリッジ ライトシアン	C9390A
HP70 インクカートリッジ マットブラック（2個パック）	CB339A
HP70 インクカートリッジ フォトブラック（2個パック）	CB340A
HP70 インクカートリッジ グレー（2個パック）	CB341A
HP70 インクカートリッジ ライトグレー（2個パック）	CB342A
HP70 インクカートリッジ マゼンタ（2個パック）	CB344A
HP70 インクカートリッジ イエロー（2個パック）	CB345A
HP70 インクカートリッジ ライトマゼンタ（2個パック）	CB346A
HP70 インクカートリッジ レッド（2個パック）	CB347A
HP70 インクカートリッジ グリーン（2個パック）	CB348A
HP70 インクカートリッジ ブルー（2個パック）	CB349A
HP70 インクカートリッジ グロスエンハンサ（2個パック）	CB350A
HP70 インクカートリッジ ライトシアン（2個パック）	CB351A

表 11-2 プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP70 プリントヘッド ライトマゼンタ/ライトシアン	C9405A
HP70 プリントヘッド マゼンタ/イエロー	C9406A
HP70 プリントヘッド フォトブラック/ライトグレー	C9407A
HP70 プリントヘッド ブルー/グリーン	C9408A
HP70 プリントヘッド マットブラック/レッド	C9409A
HP70 プリントヘッド グロスエンハンサ/グレー	C9410A

用紙について

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

注記： 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、http://www.hp.com/jp/dj-supply/ を参照してください。

販売地域を示すコード

- (A) アジア（日本を除く）で販売されている用紙を示します。
- (E) ヨーロッパ、中東、およびアフリカで販売されている用紙を示します。
- (J) 日本で販売されている用紙を示します。
- (L) 南米で販売されている用紙を示します。
- (N) 北米で販売されている用紙を示します。

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

表 11-3 ロール紙

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP フォト用紙				
HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙	300	50 フィート = 15.2 m	24 インチ = 610 mm	Q8759A
HP プレミアム速乾半光沢フォト紙	260	50 フィート = 15.2 m	18 インチ = 458 mm	Q8001A (AEJN)
		75 フィート = 22.8 m	24 インチ = 610 mm	Q7992A (AEJN)
		100フィート = 30.4m	36 インチ = 914 mm	Q7994A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q7996A (AEJN)
HP プレミアム速乾光沢フォト紙	260	50 フィート = 15.2 m	18 インチ = 458 mm	Q7990A (AEJN)
		75 フィート = 22.8 m	24 インチ = 610 mm	Q7991A (AEJN)
		100フィート = 30.4m	36 インチ = 914 mm	Q7993A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q7995A (AEJN)
HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	190	100 フィート = 30 m	24 インチ = 610 mm	Q6574A
			36 インチ = 914 mm	Q6575A
			42 インチ = 1067 mm	Q6576A

表 11-3 ロール紙（続き）

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙	190	100 フィート = 30 m	24 インチ = 610 mm	Q6579A
			36 インチ = 914 mm	Q6580A
			42 インチ = 1067 mm	Q6581A
HP ファインアート紙				
HP コレクター半光沢キャンバス	400	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8708A (AEJN)
		50 フィート = 15.2 m	36 インチ = 914 mm	Q8709A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8710A (AEJN)
HP プロフェッショナルマットキャンバス	430	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8673A (EN)
		50 フィート = 15.2 m	36 インチ = 914 mm	Q8671A (EN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8674A (EN)
HP アーティストマットキャンバス	380	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8704A (AEJN)
		50 フィート = 15.2 m	36 インチ = 914 mm	Q8705A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8706A (AEJN)
HP スタンダードマットキャンバス	350	20 フィート = 6.1 m	24 インチ = 610 mm	Q8712A (AEJN)
		50 フィート = 15.2 m	36 インチ = 914 mm	Q8713A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8714A (AEJN)
HP スムースファインアート紙 (Hahnemühle®)	265	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8732A (EJN)
			36 インチ = 914 mm	Q8745A (EJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8733A (EJN)
	310	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8734A (EJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8735A (EJN)
HP ファインアート紙 (Hahnemühle®)	265	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8736A (EJN)
			36 インチ = 914 mm	Q8737A (EJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8738A (EJN)
	310	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8739A (EJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8740A (EJN)
HP 水彩用紙 (Hahnemühle®)	210	38 フィート = 11.6 m	36 インチ = 914 mm	Q1984A (EN)
HP 水彩用アート紙	240	35 フィート = 10.6 m	24 インチ = 610 mm	Q8741A (EN)
			36 インチ = 914 mm	Q8746A (EN)
HP キャンバス用紙 180グラム	180	35 フィート = 10.6 m	36 インチ = 914 mm	Q1724A (EN)
HP リトグラフ調マット紙	270	100 フィート = 30 m	24 インチ = 610 mm	Q7972A (EN)
			36 インチ = 914 mm	Q7973A (EN)
HP プルーフ用紙				
HP プロフェッショナルプルーフ用光沢用紙	200	100 フィート = 30 m	18 インチ = 458 mm	Q8664A (EN)
			24 インチ = 610 mm	Q8663A (EN)
HP プロフェッショナルプルーフ用半光沢用紙	235	100 フィート = 30 m	18 インチ = 458 mm	Q8049A (EN)
			24 インチ = 610 mm	Q7971A (EN)

表 11-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP プルーフ用マット紙	146	100 フィート = 30 m	18 インチ = 458 mm	Q7896A (EJN)
			24 インチ = 610 mm	Q1968A (EN)
HP サイン&バナー				
HP 耐久性ディスプレイフィルム	205	50 フィート = 15.2 m	36 インチ = 914 mm	Q6620A (EN)
HP 速乾性屋内バナー 光沢	195	50 フィート = 15.2 m	36 インチ = 914 mm	Q5482A (N)
			42 インチ = 1067 mm	Q5483A (AN)
HP オパークスクリム	486	50 フィート = 15.2 m	36 インチ = 914 mm	Q1898B (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q1899B (AEN)
HP バナーマテリアル (Tyvek®)	140	50 フィート = 15 m	36 インチ = 914 mm	C6787A (AEJN)
HP Outdoor Paper	145	100 フィート = 30 m	36 インチ = 914 mm	Q1730A (EN)
HP 屋外ビルボード紙 (ブルーバック)	140	100 フィート = 30 m	36 インチ = 914 mm	C7949A (EN)
HP バックライト用紙				
HP バックライトフィルム UV (顔料)	205	100 フィート = 30 m	36 インチ = 914 mm	C6778A (AEJN)
HP 粘着紙とラミネート				
HP Polypropylene, Matte – Adhesive Backed	225	70 フィート = 21.3 m	36 インチ = 914 mm	Q1908A (AEN)
HP ビニール (粘着タイプ)	328	40 フィート = 12.2 m	36 インチ = 914 mm	C6775A
HP スタンダード粘着ビニール	290	66 フィート = 20.1 m	36 インチ = 914 mm	Q8676A (EN)
			42 インチ = 1067 mm	Q8677A (EN)
HP 普通紙とコート紙				
HPスタンダード普通紙	80	150 フィート = 45 m	23.39 インチ = 594 mm	Q8003A (J)
			24 インチ = 610 mm	Q1396A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	Q1397A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q1398A (AEJN)
		300 フィート = 91.5 m	23.39 インチ = 594 mm	Q8004A (E)
			33.11 インチ = 841 mm	Q8005A (EJ)
HP インクジェット普通紙	90	150 フィート = 45 m	16.54 インチ = 420 mm	Q1446A (J)
			23.39 インチ = 594 mm	Q1445A (EJ)
			24 インチ = 610 mm	C1860A (LN)、C6035A (AEJ)
			33.11 インチ = 841 mm	Q1444A (EJ)
			36 インチ = 914 mm	C1861A (LN)、C6036A (AEJ)
		300 フィート = 90 m	36 インチ = 914 mm	C6810A

表 11-3　ロール紙（続き）

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HPスタンダード コート紙	95	150 フィート = 45 m	24 インチ = 610 mm	Q1404A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	Q1405A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q1406A
HP コート紙	90	150 フィート = 45 m	16.54 インチ = 420 mm	Q1443A (J)
			18 インチ = 458 mm	Q7897A (EN)
			23.39 インチ = 594 mm	Q1442A (EJ)
			24 インチ = 610 mm	C6019B
			33.11 インチ = 841 mm	Q1441A (EJ)
			36 インチ = 914 mm	C6020B
			42 インチ = 1067 mm	C6567B
		300 フィート = 90 m	36 インチ = 914 mm	C6980B
HPスタンダード厚手コート紙	120	100 フィート = 30 m	24 インチ = 610 mm	Q1412A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	Q1413A
			42 インチ = 1067 mm	Q1414A (AEJN)
HP 厚手コート紙	131	100 フィート = 30 m	24 インチ = 610 mm	C6029C (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	C6030C
			42 インチ = 1067 mm	C6569C
		225 フィート = 67.5 m	42 インチ = 1067 mm	Q1956A (EN)
HP プラス スーパー厚手マット紙	210	100 フィート = 30 m	24 インチ = 610 mm	Q6626A (AEJN)
			36 インチ = 914 mm	Q6627A (AEJN)
			42 インチ = 1067 mm	Q6628A (AEJN)

表 11-4　カット紙

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP フォト用紙				
HP フォト用紙(つや消し)	196	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q5492A
HP ファインアート紙				
HP アーティストマットキャンバス	360	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q8731A (EJN)
HP スムースファインアート紙 (Hahnemühle®)	265	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q8728A (EN)
HP 水彩用紙 (Hahnemühle®)	210	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q8729A (EN)
HP 水彩用アート紙	240	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q8730A (EN)
HP プルーフ用紙				
HP プロフェッショナルプルーフ用光沢用紙	200	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q8662A (EN)

表 11-4 カット紙（続き）

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP プロフェッショナルプルーフ用半光沢用紙	235	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q7970A (EJN)
HP プルーフ用マット紙	146	19 インチ = 483 mm	13 インチ = 330 mm	Q1967A (AEJN)
HP 普通紙とコート紙				
HP コート紙	90	24 インチ = 610 mm	18 インチ = 457 mm	Q1961A (AEJN)
		36 インチ = 914 mm	24 インチ = 610 mm	Q1962A (AEN)
HP プレミアム インクジェット専用紙		11 インチ = 279 mm	8.5 インチ = 216 mm	51634Y (N)
		17 インチ = 432 mm	11 インチ = 279 mm	C1855A (N)

推奨しない用紙の種類

通常、HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。ただし、以下の種類の用紙では、適切な結果を得られない可能性が高くなります。

- 膨張しやすいフォト用紙
- ブローシャ用紙

アクセサリについて

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

名前	製品番号
HP Designjet Z2100/Z3100 24インチ スタンド	Q6663A
HP Designjet Z2100/Z3100 24 インチ スピンドル	Q6700A
HP Designjet Z2100/Z3100 44インチ グラフィック用スピンドル	Q6699A
HP Designjet Z2100/Z3100 44インチ テクニカル用スピンドル	Q6698A
EFI Designjet Edition 5.1 for HP XL International	Q6643D
EFI Designjet Edition 5.1 for HP XL Japan	Q6644D
HP Jetdirect 625nギガビットイーサネット プリント サーバ	J7960A、J7960G
HP Jetdirect 635n IPv6/IPsecプリント サーバ	J7961A、J7961G

アクセサリ

スタンド

プリンタ スタンドは、プリンタおよびバスケットの補助として使用します。プリンタから出てくる印刷物は、バスケットにまとめられます。スタンドを使用しない場合は、プリンタをデスクに置きます。

スタンドの高さは668 mmです。

スタンドの重量は10.12kg（24インチ）です。

EFI Designer Edition RIP

HP プリンタ用にカスタマイズされたEFI Designer Edition for HP は、デジタルプルーフのニーズを完全に管理することが可能で、わずらわしい作業を削減し、時間およびコストの節約と、強力で費用効率の高いデジタル プルーフシステムを提供します。EFIとHPが共同で、デザイナー、写真家、その他のプロのクリエーターが、鮮明な細部、カラー精度、およびなめらかなカラー グラデーションをプルーフ品質の印刷で簡単に実現できるようにします。

EFI Designer Editionは、簡単に使用できるわかりやすいインタフェースと、Adobe PostScript 3エンジン（Adobe CPSI）で構成されています。また、PDF/Xのサポート、ネスティング機能、変更可能なRIP解像度などが提供されます。Adobe CPSI インタプリターでは、In-RIP色分解、オーバープリント、およびフォント ダウンロード機能により、2バイト フォントの処理がサポートされます。

- 高度なプルーフ機能。EFI Designer Editionでは、作成段階で正確なカラー プルーフを実現することにより、コストのかかるエラーを早期に発見して修正し、最終的な印刷出力を正確にシミュレーションできるようになります。
- 他のアプリケーションとの完全な統合。EFI Designer Edition では、Adobe Configurable PostScript 3 を使用して、その他のイラスト、写真、およびレイアウトのアプリケーションと簡単に統合できます。
- 正確なカラー。このソリューションには、RGB、グレースケール、またはCMYK ワークフローで高度なカラーマネジメントを実現するためのいくつかの主要な機能が含まれています。Ugra/FOGRA Media Wedge 2.0では、正確なカラーを実現できる一方で、Spot Color Editorでは、PANTONE、HKS、およびTOYOに対応する無制限のスポット カラーとライブラリがサポートされます。
- 拡張されたプロファイルオプション。柔軟性のあるEFI Designer Editionには、オフセットまたは新聞などの選択した印刷方法に対応するプロファイルや、EFIおよびプリンタ製造元の用紙の種類に対応した用紙プロファイルが含まれます。独自のプロファイルが必要な場合は、Profile Connectorを使用してそのプロファイルをワークフローに統合することができます。

Adobe Photoshop用HP Photosmart Pro Printプラグイン

HP Photosmart Pro Printプラグイン（ProPrint）は、Adobe Photoshopと直接動作するソフトウェア モジュールです。このプラグインは、Photoshopの［プリントプレビュー］ダイアログ ボックスの代わりに使用されます。ProPrintの機能により、ほとんどの状況で、Photoshopの［プリントプレビュー］ダイアログ ボックスを開く必要がなくなりました。Photoshopから開くと、ProPrintには、Photoshopのオプションと似た印刷オプションが表示されますが、以下のような大きな違いがいくつかあります。

- プリンタの選択とプリンタ ドライバの設定をトップ レベルのユーザ インタフェースから同期させて設定できる。
- プリンタ ドライバとの同期など、カラーマネジメントの設定が簡単。
- トップ レベルのユーザ インタフェースで印刷の向きが設定できる。

- ユーザが定義できるデフォルト設定など、より簡単になったイメージのサイズと位置の設定。
- グラフィック デザインのユーザ用の設定（レジストレーション マークなど）の多くを省き、簡潔化されたユーザ インタフェース。

このアクセサリは、DesignjetオンラインWebサイト（http://www.hp.com/go/designjet/）でのみ入手できます。

12 用紙に関するトラブルシューティング

用紙が正しく取り付けられない

- 用紙が取り付けられていないことを確認します。
- 用紙がプリンタの奥まで取り付けられていることを確認します。プリンタに用紙が固定される感触があるはずです。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、位置合わせの処理中に用紙をまっすぐにしないでください。用紙はプリンタによって自動的にまっすぐにされます。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。

ロール紙の取り付けに失敗する

- 用紙が取り付けられない場合、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れており、切り揃える必要があります。ロール紙の先端の2cm（1インチ）を切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- 用紙の端がスピンドルの端にしっかりと固定されていることを確認します。
- スピンドルが正しく挿入されていることを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいことを確認します。
- ロール紙のストッパがすべて取り除かれていることを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 位置合わせの処理中は、ロール紙または用紙に触れないでください。

用紙がまっすぐに挿入されていない場合、フロントパネルに以下の指示が表示されます。

1. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。ロール紙はプリンタによってまっすぐにされます。
2. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。ロール紙の位置合わせが終了すると、プリンタによって幅が測定されます。これで、印刷の準備が整いました。

   ロール紙の位置が合っていないと、フロントパネルにエラーおよび指示が表示されます。
3. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。
4. ロール紙の端が青い線の位置に合うまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。
5. フロントパネルの OK を押します。
6. フロントパネルに指示が表示されたら、レバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。ロール紙の位置合わせが終了すると、プリンタによって幅が測定されます。これで、印刷の準備が整いました。

   ロール紙の位置がまだ合っていない場合、フロントパネルにエラーが表示され、手順3からやり直す必要があるという指示が表示されます。

   用紙の取り付け処理をやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルし、端がプリンタから外れるまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。

カット紙の取り付けに失敗する

- 厚手の用紙の場合は特に、プリンタが最初にカット紙を給紙するときにカット紙の位置を揃えます。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、用紙の取り付けの処理中にカット紙をまっすぐにしないでください。カット紙はプリンタによって自動的にまっすぐにされます。
- はさみなどを使用して切ったカット紙（形が不揃いである可能性があります）は使用せず、購入したカット紙のみを使用します。

カット紙がプリンタにセットされない場合、フロントパネルに、用紙をプリンタの奥まで差し込み再度給紙するように求める指示が表示されます。

プリンタにセットされたカット紙がまっすぐに挿入されていない場合、フロントパネルに以下の指示が表示されます。

1. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。
2. カット紙を調整して、前面と右側の青い線に合わせます。
3. カット紙の位置を合わせたら、フロントパネルの OK を押します。
4. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。カット紙の位置合わせが終了すると、プリンタによってカット紙が測定され、ロール フィードの裏に送られます。これで印刷の準備が整いました。

   カット紙の位置が合っていない場合、フロントパネルにエラーが表示され、やり直す必要があるという指示が示されます。

   用紙の取り付け処理をやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルすると、プリンタによってカット紙が前面に排出されます。

用紙の取り付けのエラー メッセージ

用紙の取り付けに関連してフロントパネルに表示されるメッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネルに表示されるメッセージ	推奨する処理
用紙取り付けエラー	用紙が正しく取り付けられておらず、端が取り付けガイドに合っていません。青いレバーを持ち上げ、用紙を取り除き、レバーを下げます。
ロール紙の端が見つかりません	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。用紙が完全に取り付けられており、透明ではないことを確認します。
取り付けた用紙にスキューが多すぎます	用紙の取り付け中に、用紙にスキュー（歪み）が多すぎることが検出されました。フロントパネルに表示される指示に従います。
用紙が小さすぎます	用紙の取り付け中に、用紙の幅が狭すぎるか、長さが短すぎることが検出されたため、プリンタに取り付けることができません。キャンセル ボタンを押して、取り付けを中止します。284 ページの 「プリンタ機能の仕様 」を参照してください。
用紙が大きすぎます	用紙の取り付け中に、幅が広すぎるか、長さが長すぎること（カット紙のみ）が検出されたため、プリンタに正しく取り付けることができません。キャンセル ボタンを押して、取り付けを中止します。284 ページの 「プリンタ機能の仕様 」を参照してください。
レバーが上がっています	用紙の取り付け中に、青いレバーが上がっていました。このため、プリンタに用紙を取り付けることができません。フロントパネルに表示される指示に従います。

用紙の種類がドライバに含まれていない

ドライバに含まれない用紙を扱うには、このドライバに新しい用紙を追加します。57 ページの「カスタム用紙の種類を追加する 」を参照してください。ドライバに用紙を追加することをお勧めします。これにより、プロファイルなど、この用紙に対するカスタム パラメータを保存できるようになります。

すでにドライバに存在するプロファイルの1つとして用紙を使用することもできますが、この用紙が透明か半透明か、光沢紙、マット紙、HPバナー マテリアル（Tyvek®）かを確認する必要があります。

注記： 光沢紙にマット ブラック インクを使用してもうまく印刷できません。光沢紙を使用する場合は、[用紙の種類] に光沢紙を指定することが重要です。

透明または半透明な用紙

透明フィルム（例：OHPフィルム）を使用する場合は、用紙の種類に [**フィルム**] - [**クリアフィルム**] を選択します 。

注記： [クリアフィルム] の新しい用紙を追加することはできません。

半透明フィルム（例：テクニカル用紙）を使用する場合は、用紙の種類に [**テクニカル用紙**] - [**トレーシング ペーパー**]、[**ベラム紙**]、または [**半透明ボンド紙**] を選択します 。

注記： トレーシング ペーパー、ベラム紙、または半透明ボンド紙の新しい用紙を追加することはできません。

バックライト用紙（例：HP バックライト フィルム）を使用する場合は、用紙の種類に [**美術用紙**] - [**厚手ファインアート紙（>250 g/m²）**] を選択します 。

ヒント： 厚手ファインアート紙の新しい用紙を追加することは可能です。

光沢紙

光沢紙を使用している場合は、この用紙がフォト用紙か、プルーフ用紙かを確認します。よくわからない場合は、フォト用紙とみなします。

フォト用紙を使用する場合は、[**フォト用紙**] カテゴリを選択します。光沢紙、または高光沢紙を使用する場合は、用紙の種類に [**光沢フォト用紙**] を選択します 。半光沢、サテン、パール、またはつや仕上げを使用する場合は、用紙の種類に [**半光沢/サテンフォト用紙**] を選択します 。

注記： フォト用紙のガモットを上げるには、仕上げの種類に応じて、用紙の種類に [**HP プレミアム速乾光沢フォト用紙**]、 または [**HP プレミアム速乾半光沢フォト用紙**] を選択します 。ただし、使用している用紙に対する新しい ICCプロファイルを作成すると、HP純正用紙の元のプロファイルは失われます。

プルーフ用紙を使用する場合は、[**プルーフ用紙**] カテゴリを選択します。光沢紙、または高光沢紙を使用する場合は、用紙の種類に [**プルーフ用光沢用紙**] を選択します 。半光沢、サテン、パール、またはつや仕上げを使用する場合は、用紙の種類に [**半光沢/サテンプルーフ用紙**] を選択します 。

注記： プルーフ用紙のガモットを上げるには、[**HP プロフェッショナル プルーフ用光沢用紙**]、 または [**HPプロフェッショナルプルーフ用半光沢用紙**] を選択します 。ただし、使用している用紙に対する新しい ICCプロファイルを作成すると、HP純正用紙の元のプロファイルは失われます。

光沢のあるバナー（例：HP 速乾性屋内バナー 光沢）に印刷する場合は、**[光沢フォト用紙]** を選択します。

マット紙

マット用紙に選択する用紙の種類は、用紙のインク吸収能力によって異なります。用紙カテゴリと種類を選択するにはまず、使用する用紙が汎用、写真用、ファインアート用、バナーのいずれかを確認します。次に、推奨される用紙の種類を選択します。

汎用の用紙

- 薄手（< 90 g/m2）の普通紙（例：普通紙、インクジェット普通紙）を使用する場合は、用紙の種類に、**[普通紙とコート紙]** - **[普通紙]** を選択します 。
- 薄いコート紙（<110 g/m2）を使用する場合は、用紙の種類に、**[普通紙とコート紙]** - **[コート紙]** を選択します 。
- 厚手コート紙（<200 g/m2）を使用する場合は、用紙の種類に、**[普通紙とコート紙]** - **[厚手コート紙]** を選択します 。
- しわの出ない、非常に厚手のコート紙（> 200 g/ m2）を使用する場合は、用紙の種類に、**[普通紙とコート紙]** - **[スーパー厚手コート紙]** を選択します 。

注意： このオプションは、印刷時に用紙にしわが絶対に出ないとわかっている場合のみ選択してください。

フォト用紙

フォト用紙を使用する場合は、用紙の種類に、**[フォト用紙]** - **[つや消しフォト用紙]** を選択します 。印刷からガモットが不足している場合は、**[美術用紙]** - **[ファインアート紙]** を選択します 。

ファインアート紙

- キャンバスを使用する場合は、用紙の種類に、**[美術用紙]** - **[キャンバス]** を選択します 。
- 薄手のファインアート紙（<250 g/m2）を使用する場合は、用紙の種類に、**[美術用紙]** - **[ファインアート紙]** を選択します 。
- 薄手のファインアート紙（>250 g/m2）を使用する場合は、用紙の種類に、**[美術用紙]** - **[厚手ファインアート紙（>250 g/m²）]** を選択します 。ただし、印刷時にしわになる可能性のある用紙を使用している場合は、**[美術用紙]** > **[ファインアート紙]** を選択して、しわや、プリントヘッドへのダメージを防ぎます。

バナー

バナーや看板用紙を使用する場合は、用紙の種類に、**[美術用紙]** > **[ファインアート紙]** を選択します 。

HPバナーマテリアル（Tyvek®）

HPバナー マテリアル（Tyvek®）を使用する場合は、用紙の種類に、**[フォト用紙]** - **[光沢フォト用紙]** を選択します 。

触ると、黒インクが簡単に落ちる

これは、使用している用紙にマット ブラック インクとの互換性がない場合に起こります。マット以外のブラック インクを使用する場合は、用紙の種類に、**[フォト用紙]** - **[光沢フォト用紙]** を選択します 。

印刷後、用紙がしわになるか、インクが多すぎる

これはインクの使用量が多すぎるときに発生します。使用されるインクの量を減らすには、より薄いカテゴリを選択します。マット紙のカテゴリを薄いものから順に並べると次のようになります。

- 普通紙
- コート紙
- 厚手コート紙
- ファインアート紙
- スーパー厚手コート紙
- 厚手ファインアート紙 (>250 g/m2)

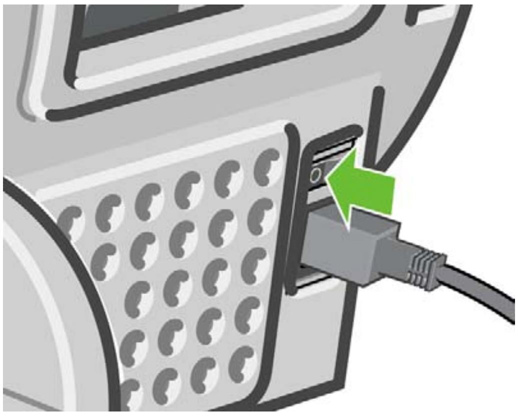
その他のイメージ品質の問題については、213 ページの 「印刷品質に関するトラブルシューティング」を参照してください。

用紙の問題

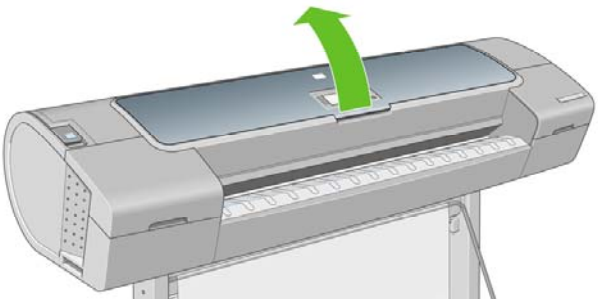
用紙が詰まっている

紙詰まりが起こると、通常、**紙づまりの可能性があります** というメッセージがフロントパネルに表示されます。

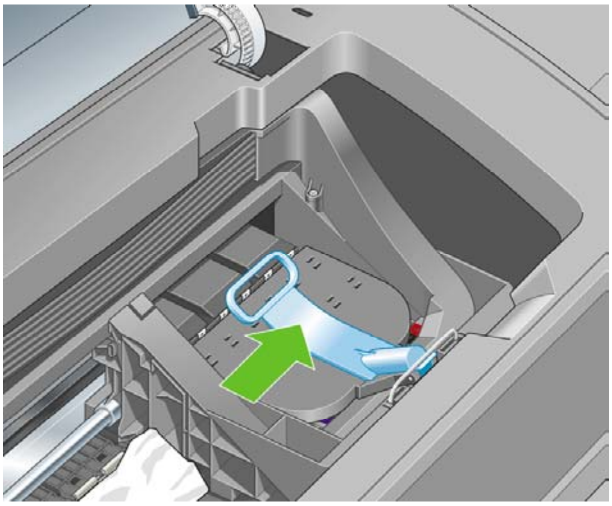
1. フロントパネルでプリンタの電源をオフにし、背面にある電源スイッチもオフにします。



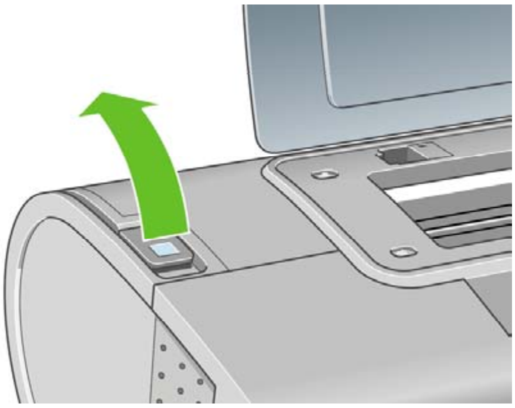
2. ウィンドウを開きます。



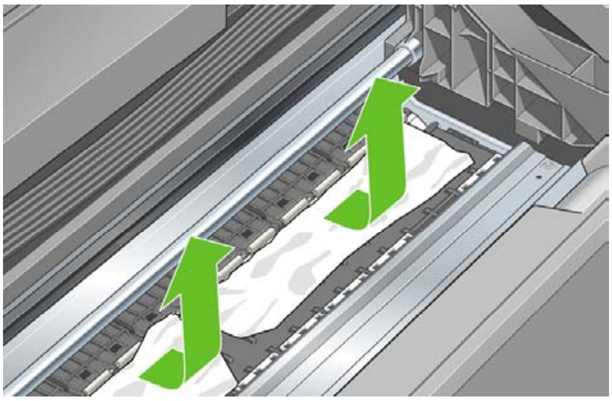
3. プリントヘッド キャリッジを邪魔にならない場所に移動します。



4. 青いレバーを上がるところまで持ち上げます。

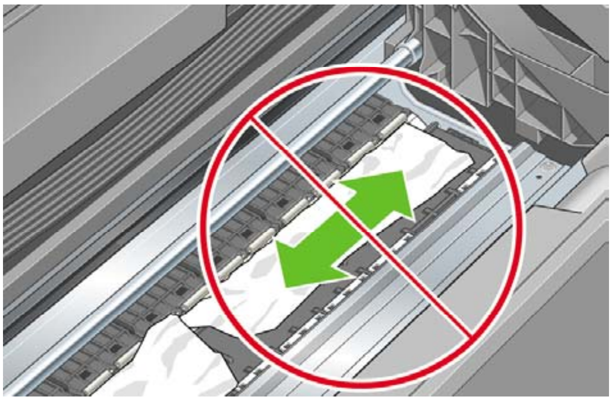


5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

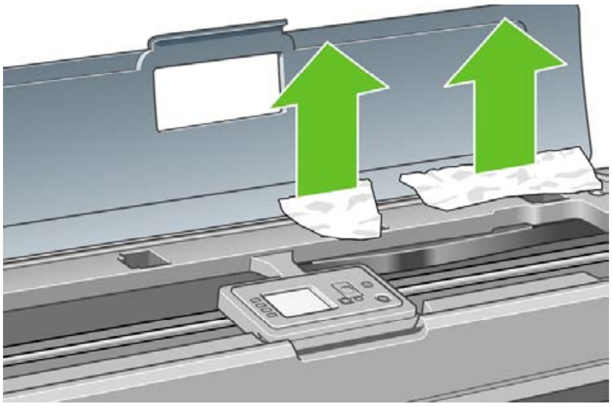


6. プリンタの後ろ側に立ち、ロール紙を巻き戻すか、プリンタからカット紙を引き出します。用紙が見えない場合は、プリンタの前に戻り、排紙トレイから用紙を取り除きます。

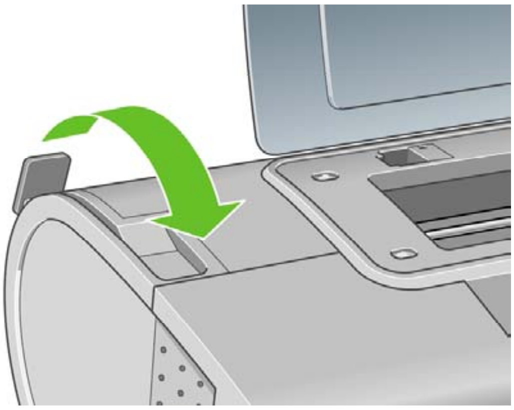
注意： 用紙を横に動かさないでください。横に動かすとプリンタが損傷するおそれがあります。



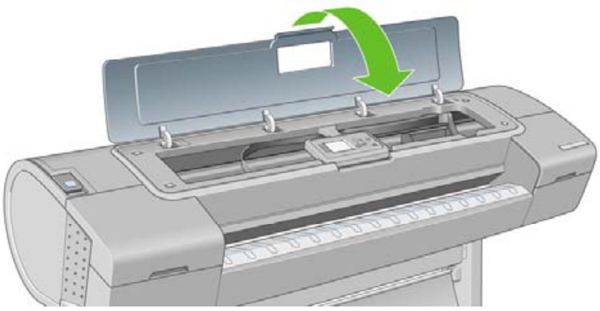
7. 用紙の切れ端を慎重に取り除きます。



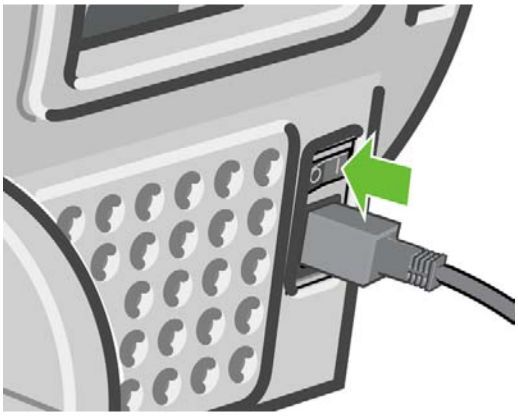
8. 青いレバーを下げます。



9. 透明なウィンドウを閉じます。



10. プリンタの電源を入れます。



11. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます。45 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」または51 ページの 「カット紙を取り付ける 」を参照してください。

注記： プリンタ内に障害の原因となる用紙がまだ残っている場合は、作業をやり直し、用紙の切れ端すべてを慎重に取り除きます。

印刷物がバスケットに正しく排出されない

- バスケットが正しく取り付けられていることを確認します。
- バスケットが開いていることを確認します。
- バスケットが満杯になっていないことを確認します。
- 用紙は端でカールすることが多いため、出力の問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。

印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる

印刷物を乾かすため、カット紙は印刷後プリンタに保持されます（60 ページの 「乾燥時間を変更する 」を参照）。乾燥時間が過ぎても用紙の一部分しか排出されない場合、用紙をゆっくりとプリンタから引き出します。自動カッターが無効になっている場合、フロントパネルの 排紙/カット ボタンを押します。62 ページの 「用紙を給紙してカットする 」を参照してください。

用紙の問題

印刷が完了すると用紙がカットされる

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると用紙はプリンタにカットされます（60 ページの 「乾燥時間を変更する 」を参照）。カッターを無効にすることもできます（61 ページの 「自動カッターのオン/オフを切り替える 」を参照）。

用紙の問題

カッターで正しくカットされない

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると、プリンタは用紙を自動的にカットするよう設定されています。ただし、キャンバスや非常に厚手の用紙など、排紙/カット ボタンを押してもカットされない用紙もあります。

カッターの使用がオンになっていても正しくカットされない場合は、カッター レールに汚れや障害物がないことを確認します。

カッターの使用がオフになっているか、または選択されている用紙がキャンバスの場合、排紙/カット ボタンを押しても用紙はカットされずに排出されるだけです。このボタンを使用して、手動で水平に端をカットしたり、はさみを使用してカットできる位置まで、用紙をプリンタ前面から十分に引き出します。

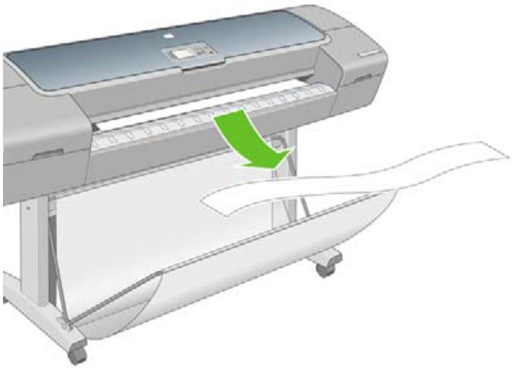
ロール紙がスピンドルでたるむ

ロール紙を交換するか、取り付け直す必要があります。厚紙製3インチ芯のロール紙を使用する場合は、プリンタに同梱されている芯アダプタが取り付けられていることを確認します（42 ページの「ロール紙をスピンドルに取り付ける 」を参照）。

用紙の問題

帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する

小さな用紙（220 mm以下）がカットされるとき、フチ無し印刷の前（新しいロール紙の場合）や後、または 排紙/カット ボタンを押した後などに、カットされた帯が排紙トレイに残ります。プリンタが動作していないときのみ、トレイから帯を取り除いてください。



用紙送りのキャリブレーションを行う

正確な用紙送りは、用紙に対して適切にドットを配置するための制御要素の一つであるため、優れたイメージ品質を得るのに重要です。プリントヘッドが通過する間に用紙が適当な距離で送られない場合、明るいまたは暗い帯が印刷に現われ、イメージの粒状感が増える場合があります。

プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、カスタム用紙を使用していたり、用紙のデフォルトのキャリブレーションに満足できない場合、用紙を送る間隔を再度キャリブレーションする必要があります。用紙送りのキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを決定する手順については、213 ページの 「印刷品質に関するトラブルシューティング」を参照してください。

現在取り付けられている用紙の用紙送りのキャリブレーション ステータスは、フロントパネルの 取り付けられている用紙の表示 ボタンを押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- デフォルト : このステータスは、HP用紙を取り付けると表示されます。フロントパネルに表示されるHP用紙はデフォルトで最適化されているため、印刷したイメージにバンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生していない限り、再度、用紙送りのキャリブレーションをすることは推奨しません。
- 推奨 : このステータスは、新しい用紙が作成されたときに表示されます。この用紙の用紙送り値は、ファミリの種類から継承されます。このような場合は、用紙送りのキャリブレーションを実行して値を最適化することをお勧めします。
- OK : このステータスは、取り付けた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

注記： プリンタのファームウェアを更新した場合には必ず、用紙送りのキャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます（180 ページの 「ファームウェアをアップデートする 」を参照）。

注意： 透明紙やフィルムは、[イメージ品質の保守] メニューの [**拡張精度キャリブレーション**] - [**拡張精度の調整**] で、下記手順4の用紙送りのキャリブレーションを再度行う必要があります。

用紙送りのキャリブレーションを再度行う

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[イメージ品質の保守] アイコンを選択してから、[**拡張精度キャリブレーション**] を選択します 。プリンタにより自動的に用紙送りのキャリブレーションが再度行われ、用紙送りのキャリブレーション イメージが印刷されます。
2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

注記： 再キャリブレーションの処理には、約3分間かかります。用紙送りのキャリブレーション イメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

満足できる印刷結果が得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。印刷品質に改善が見られる場合、手順3に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します（212 ページの 「デフォルトのキャリブレーションに戻す」を参照）。

3. キャリブレーションを微調整したり、透明紙を使用している場合は、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[イメージ品質の保守] アイコンを選択します。次に [**拡張精度キャリブレーション**] - [**拡張精度の調整**] を選択します 。
4. - 100% ～ 100%の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。
5. フロントパネルの OK ボタンを押して値を保存します。
6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、用紙送りのキャリブレーションで行ったすべての補正が0に設定されます。デフォルトの用紙送りのキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[イメージ品質の保守] アイコンを選択してから、[**拡張精度キャリブレーション**] - [**拡張精度のリセット**] を選択します 。
2. フロントパネルに作業の正常終了が表示されるまで待ってから、戻る ボタンを押してメイン メニューに戻ります。

13 印刷品質に関するトラブルシューティング

一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、187 ページの 「用紙について 」を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。これを確認するには、フロントパネルの 取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。同時に、使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認してください。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。

  注意： 誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します（63 ページの 「印刷」を参照）。印刷品質の低下が起こりやすいのは、［印刷品質］のスライダを［速度］の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを［**高速**］に設定した場合です。
- 環境状況（温度、湿度）が推奨する範囲内にあることを確認します。290 ページの 「動作環境の仕様 」を参照してください。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します（178 ページの 「インクカートリッジを保守する 」を参照）。
- 印刷の実行中は、用紙に触れないようにします。

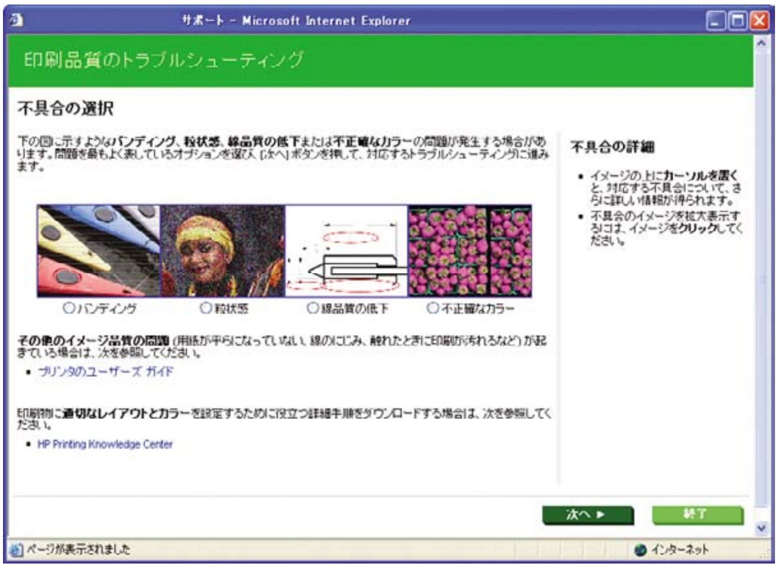
印刷品質のトラブルシューティング ウィザード

印刷品質のトラブルシューティング ウィザードは、以下の問題の解決に役立ちます。

- イメージに横線（バンディング）が見られる
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 色が正確に再現されない

ウィザードを起動するには、以下の手順に従います。

- **WindowsのHP Easy Printer Careの場合**：［サポート］タブに移動し、[**印刷品質のトラブルシューティング**］を選択します。
- **Mac OSのHP プリンタ ユーティリティの場合**：［サポート］を選択し、[**印刷品質のトラブルシューティング**］を選択します。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**：［サービス］パネルに移動し、[**プリンタのメンテナンス**］を選択して、保守作業の一覧から［**印刷品質のトラブルシューティング**］を選択します。
- **内蔵Webサーバの場合**：［サポート］タブに移動し、[**トラブルシューティング**］を選択して、[**印刷品質のトラブルシューティング**］を選択します。



ウィザードを使用しない場合や、印刷品質に関する他の問題が発生している場合は、引き続きこの章をお読みください。

印刷品質の問題

イメージに横線（バンディング）が見られる

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合（色は異なる場合があります）は、下の手順に従います。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。

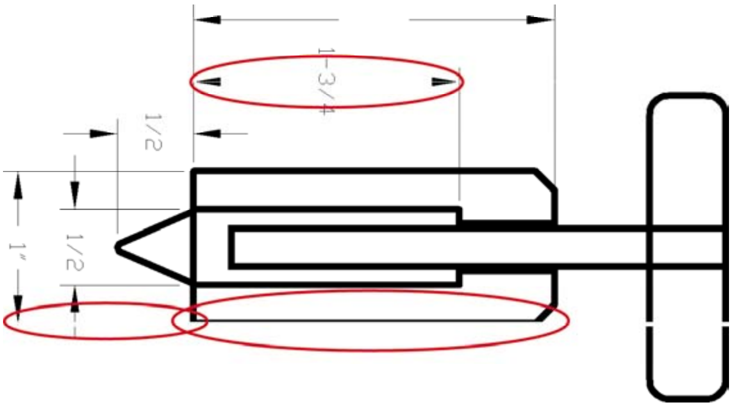
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します（63 ページの 「印刷」を参照）。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質] のスライダを［**速度**］に設定している場合は、［**品質**］に設定します。すでに［**品質**］に設定している場合は、カスタム オプションで［**パスの拡張**］を選択します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

3. [イメージ診断の印刷] を印刷します。239 ページの 「イメージ診断の印刷 」を参照してください。

4. プリントヘッドが正しく機能している場合は、フロントパネルで 取り付けられている用紙の表示 ボタンを押して、拡張精度のキャリブレーション ステータスを確認します。ステータスが推奨になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。211 ページの 「用紙送りのキャリブレーションを行う 」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。

2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します（63 ページの 「印刷」を参照)。ドライバのダイアログ（Mac OSの［プリント］ダイアログ）でカスタム印刷の品質オプションを選択し、［**高精細**］オプションをオンにします。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

3. イメージの解像度が印刷解像度よりも高い場合、線品質が低下する場合があります。WindowsでPCLまたはHP-GL/2ドライバを使用している場合、［**アプリケーションの最大解像度**］オプションは、Windowsドライバ ダイアログの［**詳細設定**］タブで、［**ドキュメントのオプション**］-［**プリンタの機能**］の下に表示されます。オプションを変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、［イメージ診断の印刷］を印刷します。239 ページの 「イメージ診断の印刷 」を参照してください。

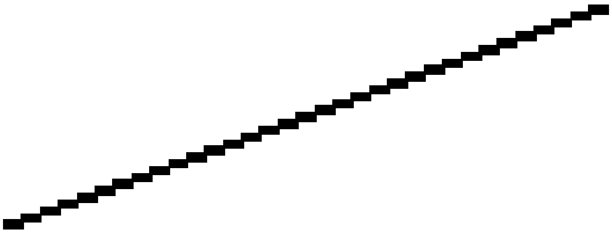
5. プリントヘッドの軸合わせを行います。254 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

6. フロントパネルで、取り付けられている用紙の表示 ボタンを押して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが推奨になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。211 ページの 「用紙送りのキャリブレーションを行う 」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時にイメージの線が段状になる場合、またはギザギザになる場合は、以下の手順に従ってください。

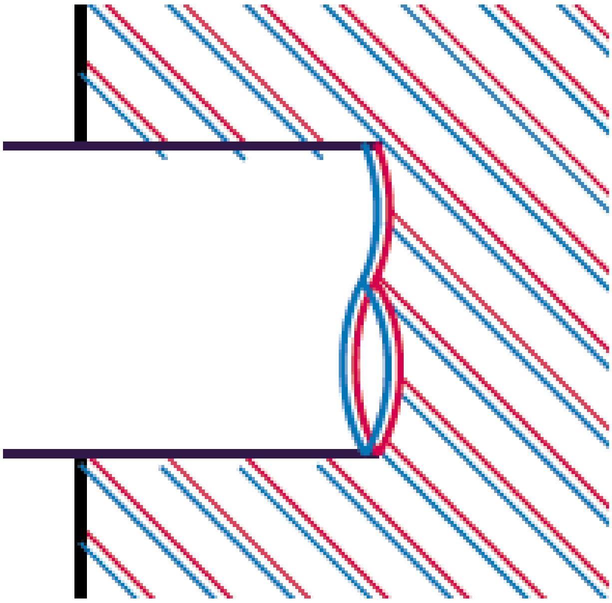


1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。63 ページの 「印刷」を参照してください。
3. ドライバのダイアログ（Mac OSの［プリント］ダイアログ）でカスタム印刷の品質オプションを選択し、［**高精細**］オプションをオンにします。
4. Windows用PCLまたはHP-GL/2ドライバを使用している場合、印刷の必要に応じて、イメージのレンダリング解像度を300 dpiまたは600 dpiに変更します。［**アプリケーションの最大解像度**］オプションは、Windowsドライバのダイアログの［**詳細設定**］タブで、［**ドキュメントのオプション**］-［**プリンタの機能**］の下に表示されます。

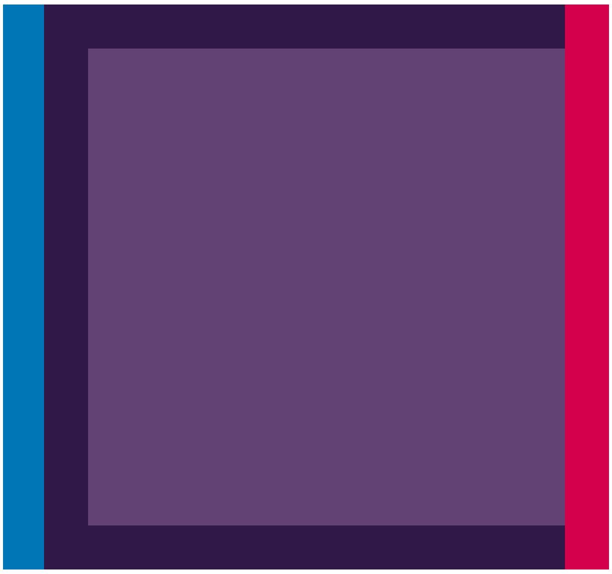
線画が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには、以下の手順を実行します。

1. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。162 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および165 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。254 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

線が不連続になる

以下の図のように、線が不連続になる場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。63 ページの 「印刷」を参照してください。
2. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。162 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および165 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。
3. プリントヘッドの軸合わせを行います。254 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

線がぼやけている



湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明になる原因となります。以下の手順を試します。

1. 環境状況（温度、湿度）が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。290 ページの 「動作環境の仕様 」を参照してください。
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうかを確認します。フロントパネルで確認するには、取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。
3. HP 厚手コート紙、HP プラス スーパー厚手マット紙、またはデジタルファインアート紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 取り付けた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類の例を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に記載されています：普通紙、コート紙、厚手コート紙、ファインアート紙、プラス スーパー厚手マット紙、厚手ファインアート紙（>250 g/m^2）。
5. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
6. ドライバのダイアログ（Mac OSの［プリント］ダイアログ）でカスタム印刷の品質オプションを選択し、**［パスの拡張］**オプションをオンにします。
7. プリントヘッドの軸合わせを行います。254 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

イメージ全体がぼやけているかざらついている



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。

2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。

3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください（63 ページの 「印刷」を参照）。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質］のスライダを［**速度**］に設定している場合は、［**品質**］に設定します。すでに［**品質**］に設定している場合は、カスタム オプションで［**パスの拡張**］を選択します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

4. グロスエンハンサを使用している場合は、オフにすることで粒状感を減らすことができます。カスタム印刷品質オプションを選択し、[**グロスエンハンサ**］を［**オフ**］に設定します。

5. プリントヘッドの軸合わせを行います。254 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

6. フロントパネルで、取り付けられている用紙の表示 ボタンを押して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが推奨になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。211 ページの 「用紙送りのキャリブレーションを行う 」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

用紙が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。

2. HP 厚手コート紙、HP プラス スーパー厚手マット紙、またはより厚手のデジタルファインアート紙などに変更してみてください。

3. 取り付けた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類の例を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に記載されています：普通紙、コート紙、厚手コート紙、ファインアート紙、プラス スーパー厚手マット紙、厚手ファインアート紙 (>250 g/m²)。

印刷が擦り切れる、または傷がつく

黒の顔料は、指やペンなどで触れると、擦り切れたり傷がついたりします。これは特に、コート紙、プルーフ用マット紙、および美術用紙の場合にみられます。

使用するインク量や印刷時の環境状況により、光沢紙はバスケットやその他の印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。

擦り切れや傷のリスクを減らすには、以下のことに従います。

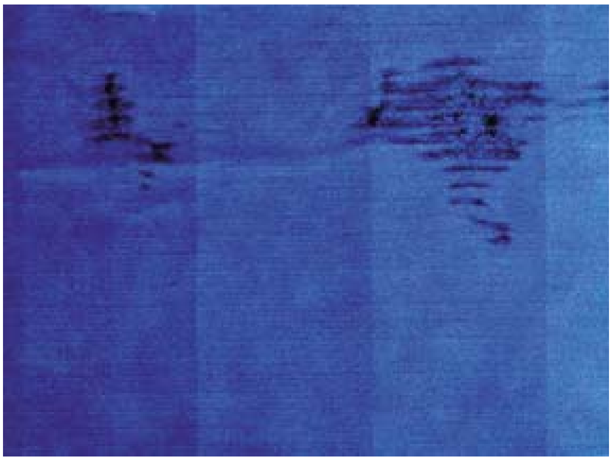
- 印刷物を慎重に取り扱う。
- 印刷物が互いに貼り付かないようにする。
- 印刷前に自動カッターを無効にし、印刷物がバスケットに落ちないようにする。61 ページの「自動カッターのオン/オフを切り替える 」を参照してください。または、カット紙を1枚バスケットに入れて、印刷直後の用紙がバスケットに直接触れないようにします。

用紙にインクが残る

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

コート紙の表面に水平方向の汚れがある

普通紙およびコート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。この問題は、通常、カットされた紙でのみ発生します（ロール紙では発生しません)。



この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。キャンセル ボタンを押して、コンピュータ アプリケーションのジョブをキャンセルします。インクが付着した用紙によってプリントヘッドが破損することがあります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。
2. 推奨する用紙の種類（187 ページの 「用紙について 」を参照）および正しい印刷設定を使用します。
3. カット紙を使用している場合、用紙を90度回転させます。用紙の繊維方向が品質に影響します。
4. HP 厚手コート紙、HP プラス スーパー厚手マット紙、またはより厚手のデジタルファインアート紙などに変更してみてください。
5. 取り付けた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類の例を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に記載されています：普通紙、コート紙、厚手コート紙、ファインアート紙、プラス スーパー厚手マット紙、厚手ファインアート紙（>250 g/m²)。
6. ソフトウェア アプリケーションを使用してイメージをページの中央に移動させ、マージン設定を広くしてみてください。

用紙の裏にインクが付着する

これは、特に標準ではない用紙サイズでフチ無し印刷を大量に行った後に発生する可能性があります。プラテンに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。

柔らかい布でプラテンのクリーニングを行います。リブの間の発泡体に触れずにそれぞれのリブのクリーニングを行います。

印刷部に触れると黒インクが擦れる

問題の原因として、光沢紙にマットブラック インクで印刷したことが考えられます。このプリンタでは、用紙にマットブラック インクが乗らないことがわかると、マットブラック インクは使用されません。マットブラック インクを使用しないようにするには、用紙の種類で（[フォト用紙] カテゴリにある）[光沢フォト用紙] を選択します。

オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない



オブジェクトや線画の端がぼやけていたり、はっきり出ていない場合、およびドライバのダイアログ（Mac OSの［プリント］ダイアログ）で印刷品質のスライダをすでに［**品質**］に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、［**パスの拡張**］オプションと［**高精細**］オプションがオフになっていることを確認します。63 ページの 「印刷」を参照してください。

オブジェクトの端が予期したよりも暗い



オブジェクトの端が予期したよりも暗い場合、およびドライバのダイアログ（Mac OSの［プリント］ダイアログ）で印刷品質のスライダをすでに［**品質**］に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、［**パスの拡張**］オプションと［**高精細**］オプションがオフになっていることを確認します。63 ページの 「印刷」を参照してください。

褐色化する

フォト用紙にグレースケールで印刷を行う際に、印刷物からの光が直接手前に反射し、インクの「ブロンズ色」の反射により光沢の差異が生じる場合は、以下のいずれかを実行してください。

- 標準の印刷品質オプションを使用している場合は、スライダが［**品質**］に設定されていることを確認します（65 ページの 「印刷品質を選択する 」を参照）。
- カスタムの印刷品質オプションを使用している場合は、［**グロスエンハンサ**］オプションが［**ページ全体**］に設定されていることを確認します（74 ページの 「高品質で印刷する 」を参照）。
- 印刷物を垂直にして見るか、ガラスごしに見る

カット紙の端に横線が印刷される

用紙の端から約30mm以内の、印刷の最後の部分にのみ不具合が発生することがあります。極細の横線が印刷物に少し見られる場合があります。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. ［イメージ診断の印刷］を印刷します。239 ページの 「イメージ診断の印刷 」を参照してください。
2. ロール紙で印刷します。
3. イメージの周囲のマージンを大きくします。

異なる色の縦線が印刷される

印刷の周囲に異なる色の縦線が現れる場合は、以下の手順に従います。

1. HP厚手コート紙やHP スーパー厚手コート紙など、推奨する用紙の種類から厚手の用紙を選択して使用します。187 ページの 「用紙について 」を参照してください。
2. 印刷品質のレベルを上げて使用します (63 ページの 「印刷」を参照)。たとえば、[印刷品質] のスライダを [**速度**] に設定している場合は、[**品質**] に設定します。すでに [**品質**] に設定している場合は、カスタム オプションで [**パスの拡張**] を選択します。

印刷品質の問題

印刷物に白色の点がある

印刷に白色の点が見られる場合があります。これはおそらく、用紙の繊維やほこりによるものか、用紙のコーティングが落ちやすいことが原因です。この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 印刷前にブラシを使用して用紙を手動でクリーニングし、繊維や紙粉を取り除きます。
2. プリンタのカバーは常に閉じておきます。
3. ロール紙やカット紙は、袋または箱に保存して保護します。

色が正確に再現されない



印刷物の色が予期したものと一致しない場合、以下の方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用します。同時に、カラーキャリブレーションのステータスを確認してください。ステータスが［ペンディング］または［失効］の場合、カラーキャリブレーションを実行する必要があります（94 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照）。変更を加えて問題が解決した場合、ジョブを再印刷する必要があります。

2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。

3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください（63 ページの 「印刷」を参照）。**［速度］**または**［高速］**オプションを選択した場合、最も正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

4. アプリケーション カラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラー プロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、85 ページの 「カラーマネジメント」を参照してください。カラー プロファイルを作成する必要がある場合は、96 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。

5. アプリケーションとプリンタの両方でカラーマネジメントを実行しようとすると、間違った結果になります。カラーはアプリケーションとプリンタのどちらかで管理してください。両方で管理することはできません。

6. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

7. ［イメージ診断の印刷］を印刷します。239 ページの 「イメージ診断の印刷 」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

ページ レイアウト アプリケーションでEPSまたはPDFイメージを使用した場合のカラー精度

Adobe InDesignやQuarkXPressなどのページ レイアウト アプリケーションはEPS、PDF、またはグレースケール ファイルのカラーマネジメントをサポートしません。

このようなファイルを使用する必要がある場合は、Adobe InDesignまたはQuarkXPressで使用するのと同じカラー スペースに、EPS、PDF、またはグレースケール イメージがすでにあることを確認します。たとえば、最終的な目的がジョブをSWOP規格に準拠した印刷機で印刷することである場合、ジョブの作成時にイメージをSWOPに変換します。

イメージが不完全（下部の一部が印刷されない）

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、キャンセル ボタンを押した可能性があります。その場合は、データの転送が終了しているため、ページを再度印刷する必要があります。
- [**I/Oタイムアウト**] 設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。この場合、フロントパネルで、[**I/Oタイムアウト**] 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。[接続] アイコンから、[**詳細設定**] - [**I/Oタイムアウトの選択**] の順に選択します 。
- コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある可能性があります。USBまたはネットワーク ケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページ サイズ（長尺印刷など）に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

イメージの一部が印刷されない

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューすることにより、この問題を印刷前に確認することができます（71 ページの 「印刷をプレビューする 」を参照）。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。

  印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン

- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域（「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます）を確認します。たとえば、ソフトウェア アプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用するか、フチ無し印刷を検討してください（67 ページの 「マージン オプションを選択する 」を参照）。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、[**内容をマージンでクリップ**] を使用することによって正常に印刷できることがあります（67 ページの 「マージン オプションを選択する 」を参照）。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- 用紙サイズの幅が足りない場合、用紙の向きを縦から横に変更するように要求されることがあります。
- 必要に応じて、ソフトウェア アプリケーションでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にぴったり収まるようにします。

イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAWなどのアプリケーションは、16ビットの内部座標系を使用するため、32,768ピクセルを超えるイメージを処理できません。これらのアプリケーションから、これより大きいイメージを印刷すると、イメージの下部がクリップされます。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。

- PostScriptプリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- イメージが32,768ピクセル以下になるように解像度を下げます。WindowsのPCLおよびHP-GL/2ドライバには、[**16ビットアプリケーション互換性**] というオプションがあり、これらのイメージの解像度を自動的に下げるために使用できます。このオプションは、[**詳細設定**] タブで [**ドキュメントのオプション**] - [**プリンタの機能**] の下に表示されます。
- ファイルをTIFFやEPSなど別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- RIPを使用してファイルを印刷します。

一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない

高品質で大判のプリント ジョブを印刷するには大量のデータが必要になるため、特定のワークフローでは、一部のオブジェクトが出力されなくなる問題が発生することがあります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。

- PostScriptプリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- ドライバまたはフロントパネルで、希望する最終ページ サイズに応じてより小さいページ サイズを選択します。
- ファイルをTIFFやEPSなど別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- RIPを使用してファイルを印刷します。
- お使いのアプリケーションでビットマップ イメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げるために、より低い印刷品質を選択します。
- Windows用PCLまたはHP-GL/2ドライバ ダイアログにある［**詳細設定**］タブで、［**ドキュメントのオプション**］、［**プリンタの機能**］を選択し、以下の手順に従います。
  - ［**ビットマップ形式でジョブを送信する**］を［**有効**］に設定します（HP-GL/2ドライバのみ）。
  - ［**16ビットアプリケーション互換性**］を［**有効**］に設定します。
  - ［**アプリケーションの最大解像度**］を［300］に設定します。

注記： 上記の設定はトラブルシューティングのために挙げたものであり、最終的な出力品質や、プリント ジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、上記の設定でも問題を解決できなかった場合は、デフォルト値に戻してください。

PDFファイルの一部やオブジェクトが印刷されない

古いバージョンのAdobe AcrobatやAdobe Readerでは、HP-GL/2ドライバを使用して高解像度で印刷すると、大判のPDFファイルの一部が印刷されなかったり、オブジェクトが印刷されない場合があります。このような問題を解決するために、Adobe AcrobatまたはAdobe Readerソフトウェアを最新バージョンにアップグレードします。これらの問題は、バージョン7以降では解決されています。

イメージ診断の印刷

イメージ診断の印刷では、印刷の信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを確認できます。

イメージ診断の印刷を実行するには、以下の手順に従います。

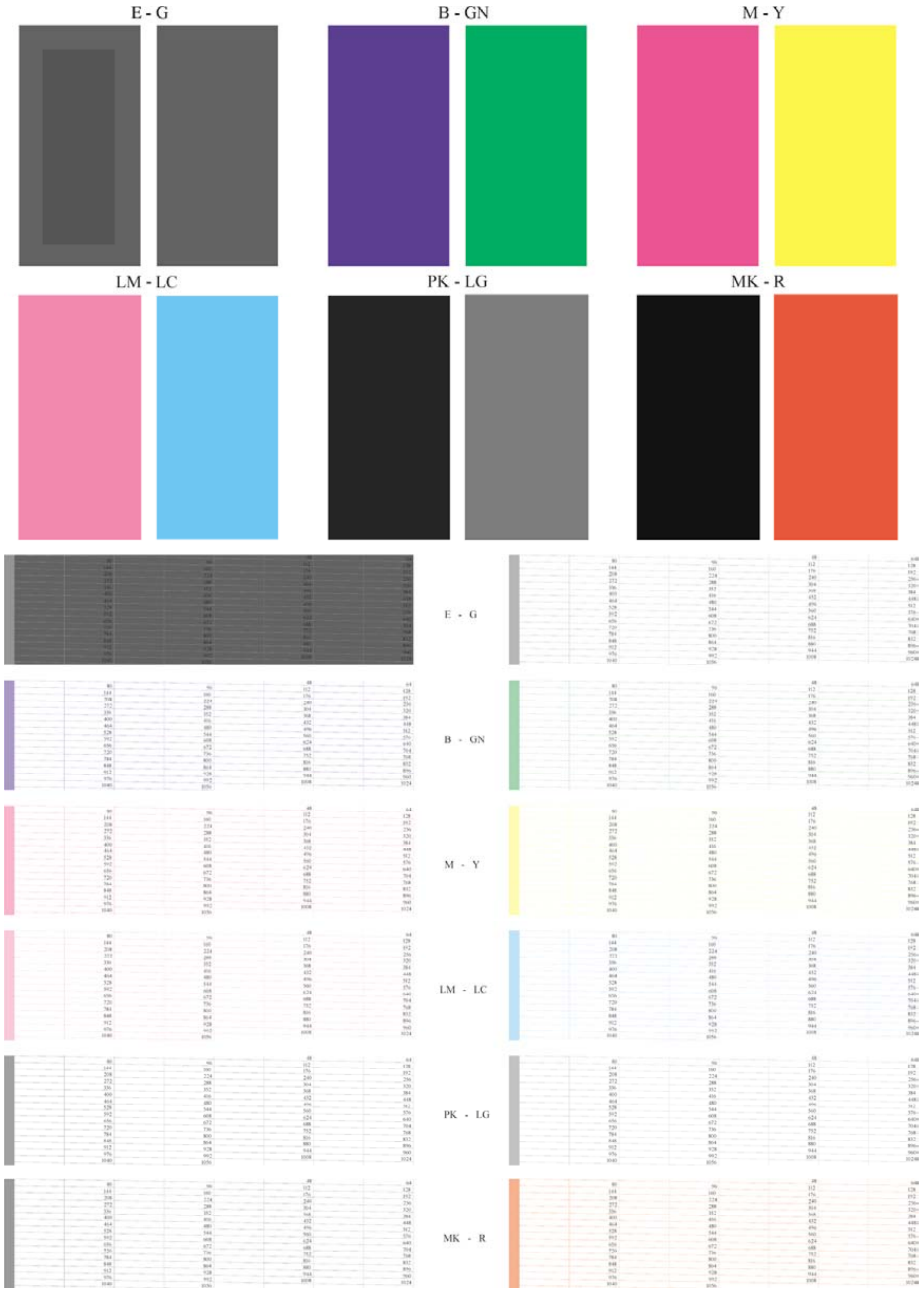
1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. フロントパネルの 取り付けられている用紙の表示 ボタンを使用して、選択した用紙がプリンタに取り付けられている用紙と同じかどうかを確認します。
3. プリンタのフロントパネルで、[イメージ品質の保守] アイコンを選択してから、**[イメージ診断の印刷]** を選択します 。

[イメージ診断の印刷] の印刷には2分ほどかかります。

印刷は2つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート1（上部）は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート2（下部）は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート1を補完するものであり、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数をより明確に検出することを目的としています。

印刷物を注意して見てください。カラーの名前が、長方形の上および破線のパターンの中央に表示されます。



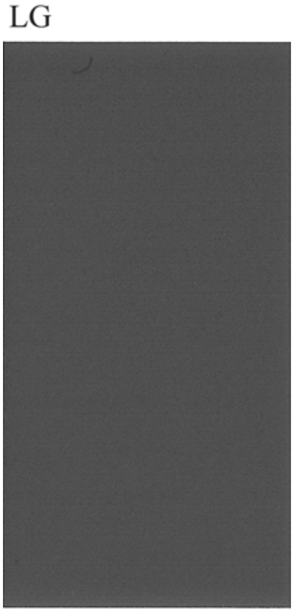
最初に印刷の上部（パート1）を見てください。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

次に、印刷の下部（パート2）を見てください。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

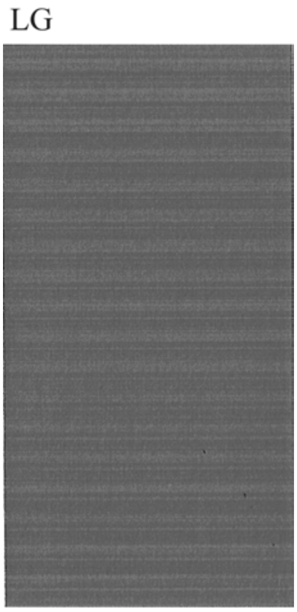
パート1に水平の線が表示され、パート2の破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート2の破

線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

これは、ライトグレーが良い状態で印刷された例です。



同じライトグレーが悪い状態で印刷された例です。



グロスエンハンサ（E）は、透明な液体であるため、単独で印刷した場合には見えません。該当部分が実際に見えるようにするため、イメージ診断の印刷ではグレーのインク（G）の上に印刷されます。

- パート1（上部）では、グロスエンハンサは、グレーの長方形のうち、わずかに異なるグレーの内部ブロックとして見えます。用紙によっては、内部ブロックが暗く見えたり、明るく見えたりすることがあります。
- パート2（下部）では、グロスエンハンサの小さな破線は、プリントヘッドのノズルに合わせてグレーの領域にかかる明るいグレーの小さな破線として見えます。

一般的な普通紙やコート紙の上ではグロスエンハンサはほとんど見えないため、これらの用紙はグロスエンハンサのトラブルシューティングには適していません。

解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします（250 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」を参照）。次に、[イメージ診断の印刷] を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。

2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから [イメージ診断の印刷] を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。

3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください（250 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」を参照）。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。

4. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドのドロップ検出器をクリーニングしてみてください。通常、この操作が必要な場合はプリンタから表示されますが、プリンタから表示されていない場合でも良い結果を得られることがあります。251 ページの 「プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング 」を参照してください。

5. それでも問題が解決しない場合は、問題が解消しないプリントヘッドを交換するか（153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照）、HPサポートにお問い合わせください（280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照）。

問題が解決されない場合

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 印刷品質オプションのレベルを上げます。63 ページの 「印刷」を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP製以外のドライバをご使用の場合、ドライバ ベンダーにお問い合わせの上、問題についてご確認ください。可能であれば、適切なHPドライバを試します。最新のHPドライバはhttp://www.hp.com/support/japanからダウンロードできます。
- HP製以外のRIPを使用している場合、RIPの設定が正しくない可能性があります。RIPに収録されているマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。180 ページの 「ファームウェアをアップデートする 」を参照してください。
- ソフトウェア アプリケーションの設定が正しいかどうかを確認します。

14 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ（モデル番号）を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、カートリッジのラベルを示す文字や文字列の右側が上になっていて読み取れるかどうかを確認します。

△ **注意：** インクカートリッジ スロットの内部はクリーニングしないでください。

インク システムの問題

インクカートリッジのステータス メッセージ

表示されるインクカートリッジのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **OK**：カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です**：カートリッジが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **もうすぐなくなります**：インクの残量が少なくなっています。
- **残量が僅かです**：インクの残量がきわめて少なくなっています。
- **インクがありません**：カートリッジが空です。
- **再度取付け下さい**：クリーナをいったん取り外して、取り付け直してください。
- **交換して下さい**：新しいカートリッジと交換することをお勧めします。
- **変更済み**：インクの補充などカートリッジのステータスに予期しないことが起こりました。
- **使用期限切れ**：カートリッジの使用期限が切れました。

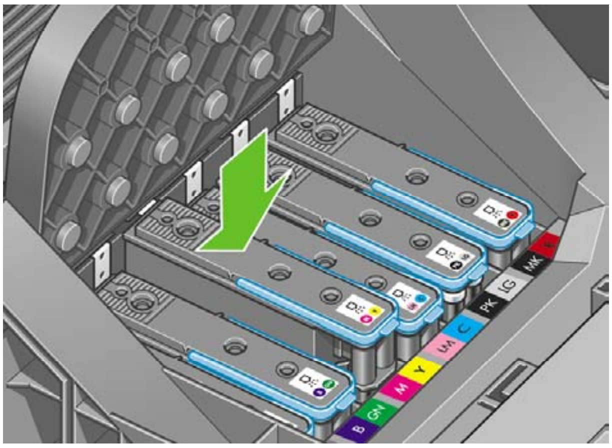
プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいプリントヘッド（モデル番号）を使用しているかどうかを確認します。

2. プリントヘッドから2つのオレンジ色の保護キャップを取り外したかどうかを確認します。

3. プリントヘッドのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。

4. プリントヘッドの向きが正しいかどうかを（他のプリントヘッドと比較して）確認します。

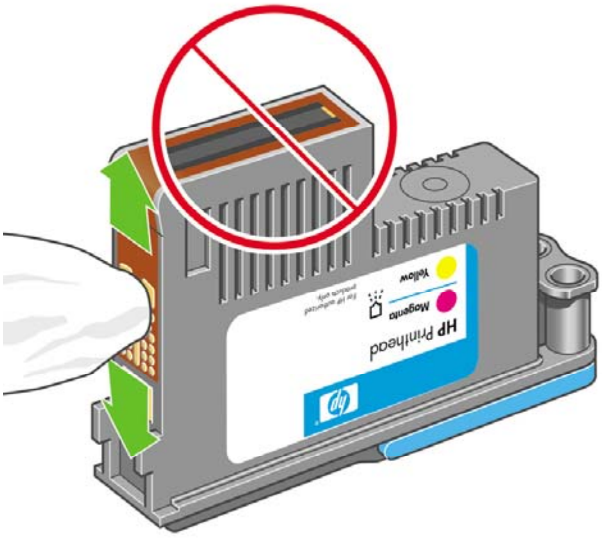


5. キャリッジのカバーが正しく閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。165 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。

フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. フロントパネルで、電源をオフにしてからもう一度オンにします。
2. フロントパネルを確認して［印刷可能です］というメッセージが表示されている場合は、プリンタが印刷できる状態です。問題が解決しない場合は、次の手順を続行します。
3. プリントヘッドを取り外します（162 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」を参照)。
4. プリントヘッドの裏面にある電極部分を、研磨剤が入っていない布でクリーニングします。付着物の除去に水分が必要な場合、脱イオン水または蒸留水を注意しながら使用します。水は使用しないでください。

   注意： デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの底面のノズルは、特にアルコールで触れないようにしてください。



5. プリントヘッドを再度取付けます（165 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照)。
6. フロントパネルのメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

プリントヘッドをクリーニングする

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的に自動クリーニングが実行されます。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止し、カラー精度が保たれます。まだ自動クリーニングを行っていない場合は、次に進む前に239 ページの 「イメージ診断の印刷 」を参照してください。

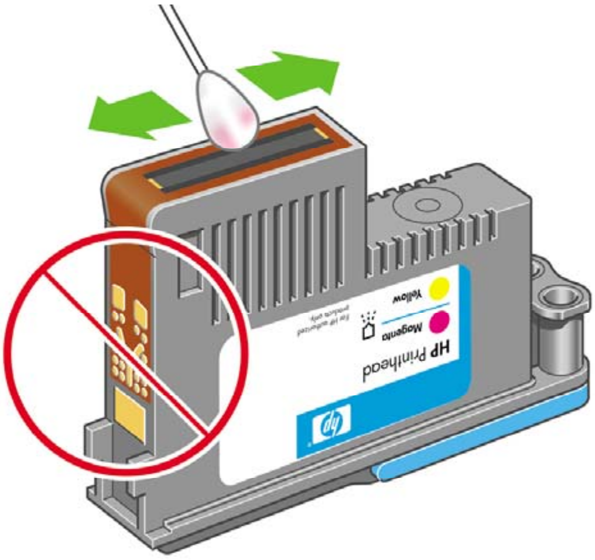
プリントヘッドをクリーニングするには、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[イメージ品質の保守] アイコンを選択してから [**プリントヘッドのクリーニング**] を選択します 。イメージ品質診断の印刷プロセスを行うと、問題のあるカラーが判断できます。問題のあるカラーを含むプリントヘッドを2個1組選択します。クリーニングするカラーが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングするよう選択することもできます。すべてのプリントヘッドのクリーニングには、10分ほどかかります。1組のプリントヘッドのクリーニングには、6分ほどかかります。

注記： すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

フロントパネルで [プリントヘッドのクリーニング] 処理を行ってもイメージ品質に関する問題が発生する場合は、以下の手順に従って、手動でプリントヘッドのノズルをクリーニングすることもできます。

注意： デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの裏面にある電極部分に触らないでください。

プリントヘッドを取り外し（162 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」を参照)、綿棒と脱イオン水または蒸留水で、付着物が除去されるまでプリントヘッドの裏面をクリーニングします。

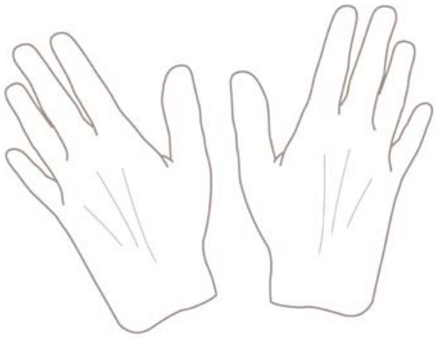


プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング

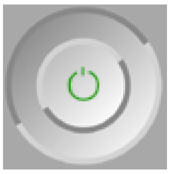
プリントヘッド ドロップ検出器はセンサーとして機能し、印刷できないプリントヘッドのノズルが検出された場合、良好な印刷結果が得られるプリントヘッドと交換します。繊維、頭髪、紙くずなどがあると、センサーが遮られて印刷品質に悪影響を与えます。

フロントパネルにクリーニング処理が必要であるとの警告メッセージが表示された場合、プリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングすることをお勧めします。すぐにプリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングしない場合、プリンタは通常通り作動しますが、フロントパネルには警告が表示され続けます。

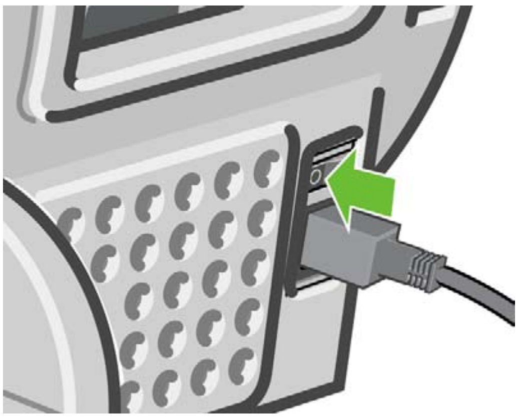
注意： 手にインクがつかないように手袋をはめてください。



1. フロントパネルでプリンタの電源を切ります。

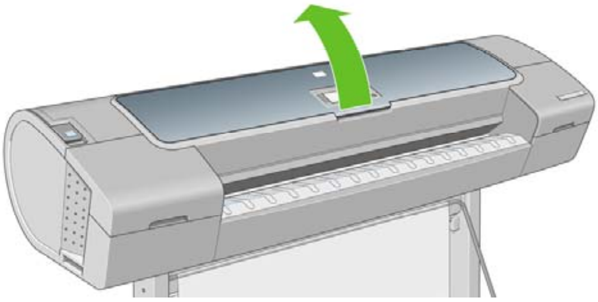


2. 感電を防ぐため、プリンタのスイッチをオフにしてから電源コードを抜いてください。

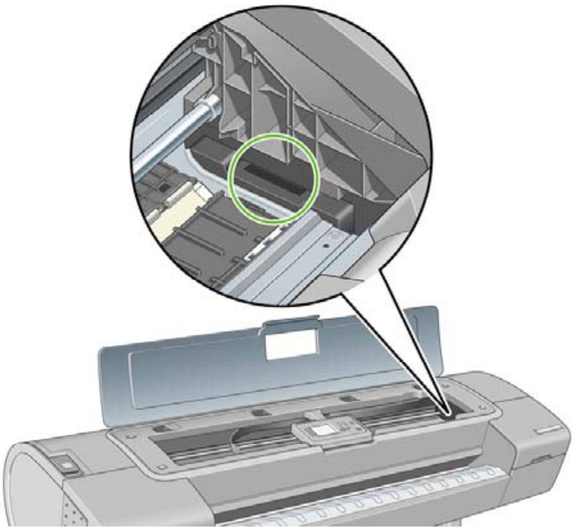


インク システムの問題

3. 透明ウィンドウを開きます。

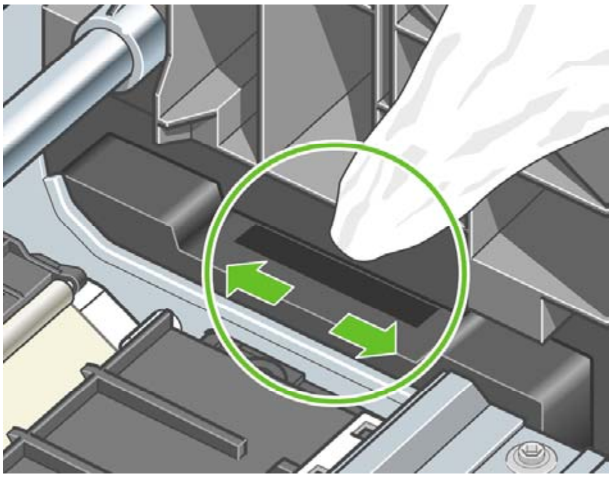


4. 格納されているプリントヘッド キャリッジの横にあるプリントヘッド ドロップ検出器を確認します。

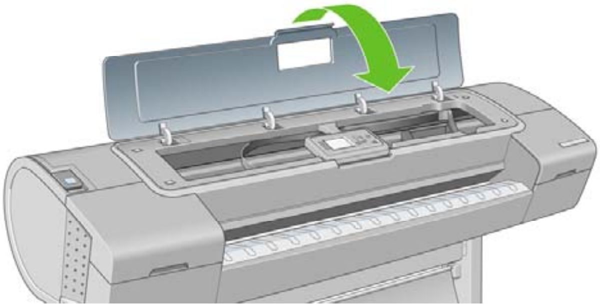


5. プリントヘッド ドロップ検出器に付着しているゴミを取り除きます。

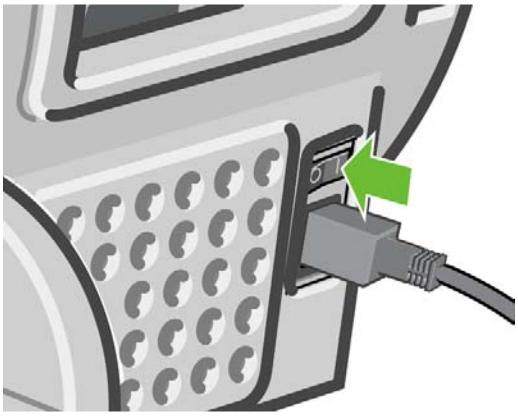
6. 糸くずの出ない布を使用してドロップ検出器の表面を拭き、目に見えないゴミを取り除きます。



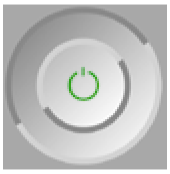
7. ウィンドウを閉じます。



8. ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。



9. フロント パネルでプリンタの電源を入れます。



プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラー グラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

カスタム用紙を使用して紙詰まりが発生した場合、またはカラーが正確に再現されない問題が発生した場合は（85 ページの 「カラーマネジメント」を参照）、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。

注記： 紙詰まりが発生した場合、プリントヘッドを取り付け直し、［イメージ品質の保守］アイコンでもう一度軸合わせ処理を行うことをお勧めします。

ヒント： 最高の品質を得るにはフォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙の場合、許容範囲ですが最低限の結果しか得られません。

注意： プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

プリントヘッドを再度取り付ける手順

1. 軸合わせ処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの キャンセル ボタンを押してください。

   注意： 軸合わせ処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。［イメージ品質の保守］メニューの手順で軸合わせをやり直します。

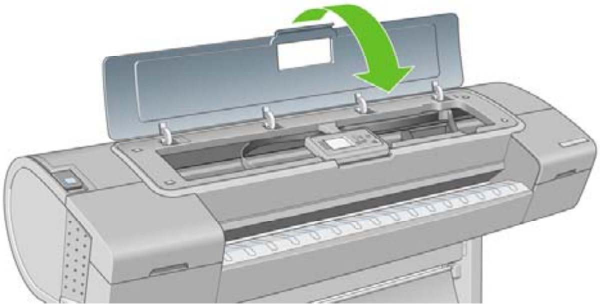
2. 使用する用紙を取り付けます（39 ページの 「用紙の取り扱い」を参照）。ロール紙またはカット紙を使用することもできますが、A3横置きより大きいサイズ（297 x 420 mm）にする必要があります。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。

   注記： A3カット紙を使用する場合、用紙の長辺側がプリンタ内に給紙されるよう確認します。

   注意： プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。162 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および165 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ処理が開始されます。

4. 透明のウィンドウが閉じられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。



5. この処理には6分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

注記： プリンタによりキャリブレーション イメージが印刷されます。イメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

［イメージ品質の保守］メニューの手順

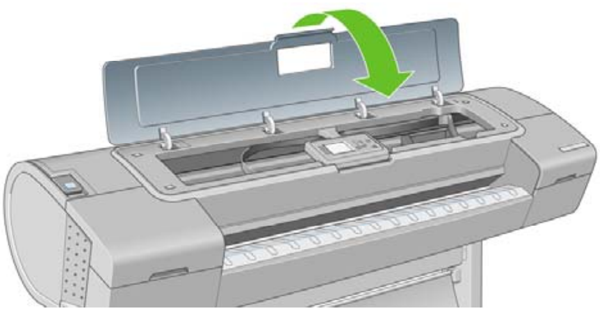
1. 使用する用紙を取り付けます（39 ページの 「用紙の取り扱い」を参照）。ロール紙またはカット紙を使用することもできますが、A3横置きより大きいサイズ (297 x 420 mm) にする必要があります。最高の出力を得るにはフォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙の場合、許容範囲ですが最低限の結果しか得られません。

   注記： A3カット紙を使用する場合、用紙の長辺側がプリンタ内に給紙されるよう確認します。

   注意： プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

2. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、［イメージ品質の保守］アイコン を選択してから［**プリントヘッドの軸合わせ**］を選択します 。プリンタによって、軸合わせの実行に必要となる十分な用紙が取り付けられているかどうかが確認されます。

3. 十分な用紙が取り付けられている場合、プリンタによって軸合わせが実行され、軸合わせのパターンが印刷されます。透明のウィンドウが閉じられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。



4. この処理には5分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

軸合わせ中のスキャン エラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合、スキャンの問題 に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行われていないため、印刷品質を高くするには、印刷前に軸合わせを繰り返す必要があります。問題の原因として、以下のことが考えられます。

- 使用する用紙が適切ではない。適切な用紙で軸合わせを繰り返します。
- プリントヘッドの状態に関する問題。プリントヘッドのクリーニングを行います (250 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」 を参照)。
- 透明のウィンドウが開いた状態で軸合わせが行われた。ウィンドウを閉じて軸合わせを繰り返します。

適切な用紙を使用し、プリントヘッドのクリーニングを行い、ウィンドウを閉じておいても問題が解消されない場合は、スキャニング システムに問題がある可能性があるため、修復が必要です。プリントヘッドがきれいであるにもかかわらず動作しない場合は、交換が必要です。

プリントヘッドのステータス メッセージ

表示されるプリントヘッドのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- OK：プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です**：プリントヘッドが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **個別テストが必要**：プリントヘッドを個別にテストして、問題のあるプリントヘッドを確認します。すべてのプリントヘッドをいったん取り外してから1つずつ取り付け直します。1つ取り付ける度に、ラッチとキャリッジのカバーを閉じます。問題のあるプリントヘッドがフロントパネルで示され、取り付け直しまたは交換のメッセージが表示されます。
- **再度取付け下さい**：プリントヘッドをいったん取り外して、取り付け直してください。メッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングします（249 ページの 「フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される 」を参照)。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換します。(162 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および165 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照)。
- **交換して下さい**：プリントヘッドに問題があります。動作するプリントヘッドと交換します(162 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および165 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照)。
- **交換が不完全**：プリントヘッドの交換処理を正常に完了できませんでした。交換処理を再度行って正常に完了させてください（プリントヘッドを交換する必要はありません)。
- **取り外して下さい**：プリントヘッドが印刷用途に適していません。

インク システムの問題

15 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング

プリンタで印刷されない

すべての手順を正しい順序で実行しても（用紙およびインク コンポーネントを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態）、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの 電源 ボタンを押してプリンタの電源を切り、電源コードを抜き、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。
- ネスティングがオンになっている場合があり、適切なネストの計算までの指定されたネスト待機時間をプリンタが待っています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- グラフィック言語の設定が間違っている場合は、38 ページの 「グラフィック言語の設定を変更する 」を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。セットアップ手順を参照してください。
- カット紙に印刷する場合は、プリンタ ドライバでカット紙を給紙方法として指定する必要があります。
- 用紙情報やアカウンティング情報（146 ページの 「ジョブのステータス メッセージ 」を参照）が指定されるまでジョブが保留されている可能性があります。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。この場合、プレビューは画面に表示されるため、[**印刷**] ボタンをクリックして印刷を開始する必要があります。
- Mac OS環境でUSB接続を使用している場合、データ エンコーディングを変更する必要がある場合があります。[セットアップ] アイコン  を選択し、[**印刷設定**] - [**PostScriptの設定**] - [**エンコードの選択**] - [**ASCII**] を選択します。その後、ASCIIデータを送信するようにアプリケーションを設定します。

プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- 印刷品質を［高品質］または［高精細］に設定している場合。［高品質］および［高精細］での印刷は、パスの回数が多くなるため時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。フォト用紙およびコート紙では、パス間の乾燥時間が長くなる場合があります。プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、55 ページの 「用紙に関する情報を表示する 」を参照してください。用紙の種類によっては、さらに長い印刷時間が必要です。
- プリンタをネットワーク経由で接続している場合。ネットワーク上のすべてのコンポーネント（ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル）が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を［長い］に設定している場合。乾燥時間を［最適］に変更してみてください。

意図しない用紙に印刷された

意図した用紙を取り付ける前にジョブが印刷されてしまう場合は、プリンタ ドライバで［用紙の種類］に**［任意の用紙］**が選択されていることがあります。**［任意の用紙］**が選択されていると、プリンタではどのような用紙が取り付けられていても、即座に印刷が実行されます。意図した用紙を取り付け（39 ページの 「用紙の取り扱い」を参照)、ドライバで用紙の種類を具体的に選択します。

- **Windowsのドライバのダイアログの場合**：［用紙/品質］タブを選択し、［用紙の種類］プルダウン メニューから用紙の種類を選択します。
- **Mac OSの［プリント］ダイアログの場合**（T1100)：［用紙の種類/品質］パネルを選択し、［用紙の種類］プルダウン メニューからプリンタに入っている用紙の種類を選択します。
- **Mac OSの［PSプリント］ダイアログの場合**（T1100ps)：［イメージ品質］パネルを選択し、［用紙の種類］プルダウン メニューで用紙の種類を選択します。

注記： **［任意の用紙］**はドライバのデフォルト設定です。

プリンタに関する一般的な問題

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに **データを受信しています** というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとすると、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている（アイドル状態）。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する（線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど）。

通信の問題を解決するには、以下の手順に従います。

- アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します（63 ページの 「印刷」 を参照）。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタがネットワークに接続されている場合は、USBケーブルでプリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェース ケーブルを別のものに変えて試してみます。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します（38 ページの 「グラフィック言語の設定を変更する 」を参照）。
- プリンタがUSBで接続されている場合、USBケーブルをいったん取り外してから再びコンピュータに取り付けます。

プリンタに関する一般的な問題

HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず29 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスする 」をお読みください。

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[接続] アイコンを選択します。
2. **[詳細設定]** - **[Webサービス]** - **[プリンタ ユーティリティ ソフトウェア]** - **[有効]** の順に選択します 。
3. プリンタとTCP/IPで接続されている場合は、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[接続] アイコンをもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. **[情報の表示]** を選択します 。

それでも接続できない場合は、プリンタの電源を切り、フロントパネルの 電源 ボタンで電源を入れ直してください。

内蔵Webサーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」をお読みください。

注記： USBケーブルでプリンタに直接接続している場合は、HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) を使用してください。

1. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[接続] アイコンを選択します。
2. **[詳細設定]** - **[内蔵Webサーバを使用]**- **[オン]** の順に選択します 。
3. プリンタとTCP/IPで接続されている場合は、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[接続] アイコンをもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. **[情報の表示]** を選択します 。
6. [IP有効] が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、別の接続を選択する必要があります。

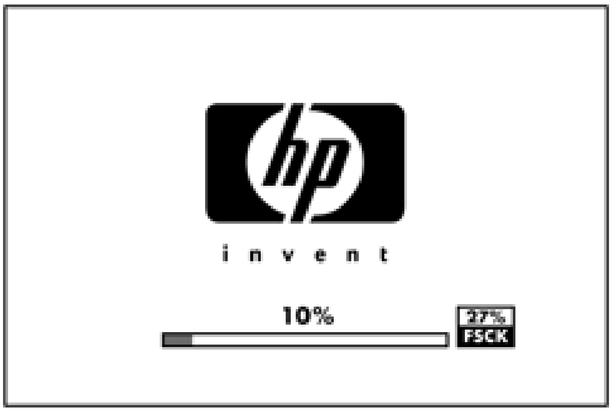
プロキシ サーバを使用している場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵Webサーバに直接アクセスします。

- WindowsのInternet Explorer 6を使用している場合は、**[ツール]** - **[インターネット オプション]** - **[接続]** - **[LANの設定]** をクリックし、**[ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない]** ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、**[詳細設定]** タブをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスを [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] の一覧に追加します。
- Mac OSのSafariを使用している場合は、**[Safari]** - **[環境設定]** - **[詳細]** をクリックし、**[プロキシ：設定を変更]** ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

それでも接続できない場合は、プリンタの電源を切り、フロントパネルの 電源 ボタンで電源を入れ直してください。

ファイルシステムの自動確認

プリンタの電源を入れると、フロントパネルに以下のような表示が現れることがあります。



これは、ファイルシステムの確認が行われているところです。完了するまでに最大40分かかることがあります。完了するまでお待ちください。

注意： ファイルシステムの確認が完了する前にプリンタの電源を切ると、ファイルシステムに重大な損傷が発生し、ハードディスクが使用できなくなることがあります。いずれの場合も、再びプリンタの電源を入れると、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

ファイルシステムの確認は、ハードディスクのファイルシステムの完全性を維持するため、90日ごとに実行されるようにスケジュールされています。

注記： プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分間かかります。しかし、プリンタが長期間使用されておらず、プリントヘッドの準備にさらに時間がかかるなど、状況によっては最大で40分かかることがあります。

AutoCAD 2000でメモリ アロケーション エラーが発生する

プリンタ ドライバのインストール後、AutoCAD 2000から最初に印刷しようとすると、**メモリ アロケーション エラー**を示すメッセージが表示され、イメージが印刷されない場合があります。

この問題の原因は、AutoCAD 2000です。この問題を解決するには、プロッタ アップデート パッチ（[**plotupdate.exe**]）を、AutodeskのWebサイト（http://www.autodesk.co.jp）からダウンロードします。

このパッチは、AutoCAD 2000での印刷に関してその他の問題がある場合に、解決に役立つ可能性があります。

Microsoft Visio 2003から印刷しても出力されない

Microsoft Visio 2003から大きなイメージ（長さ129インチ以上）を印刷する場合の問題についての詳細は、Microsoftのオンライン サポート技術情報（http://support.microsoft.com/search/）を参照してください。

これらの問題を解消するには、Visioでイメージのサイズを129インチ以下に縮小し、Windows ドライバの［機能］タブの［**サイズ変更オプション**］を使用して描画を拡大します。アプリケーションでの縮小率とドライバでの拡大率が一致する場合、結果は設定どおりになります。

QuarkXPressから印刷する際に使用できない機能

QuarkXPressから印刷する場合、以下のドライバ機能は使用できません。

- 印刷プレビュー
- 回転
- 拡大/縮小
- Officeの機能または用紙節約オプション
- 後ろから前の順序で印刷

HP-GL/2ドライバを使用している場合、以下の機能は使用できません。

- 印刷プレビュー
- 後ろから前の順序で印刷

同じ結果を得るには、QuarkXPressに用意されている同等の機能を使用します。

プリンタ アラート

このプリンタは2種類のアラートを発信します。

- **エラー**：主に、プリンタによる印刷ができないことを警告します。ただしドライバでは、プリンタで印刷が可能な場合でも、イメージの途切れなど、印刷結果を損なう状態についても警告します。
- **警告**：キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなったなど、要注意の状態である場合に警告します。

プリンタのシステム内には、3つの異なる警告装置があります。

- **内蔵Webサーバ**：内蔵Webサーバの画面の右上隅には、プリンタのステータスが表示されます。プリンタ内に警告がある場合、警告テキストがステータスに表示されます。フロントパネルの画面および内蔵Webサーバの両方に、同じ警告が表示されます。
- **ドライバ**：ドライバからアラートが表示されます。最終出力で問題を発生させる可能性のあるジョブ設定について警告します。プリンタで印刷の準備ができていない場合は、警告が表示されます。
- **HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）**：HP Easy Printer Careでは、[**概要**] タブの [**注意すべき項目**] を選択します。HPプリンタ ユーティリティでは、パネルの下部にある [**HPプリンタ モニタ**] – [**See alerts**] を選択します。この領域には、次のような項目が表示されます。
  - プリンタ ステータス
  - プリンタがジョブを印刷できないときのアラート
  - 印刷品質と全般的なトラブルシューティング関連のリンク
  - ファームウェアのアップデートに関する注記
  - カラーキャリブレーションなどの保守ツール
  - ジョブ キュー、ジョブ アカウンティング、およびプリンタの使用状況に関する情報へのアクセス
  - 一部のプリンタ設定およびネットワーク設定へのアクセス

  デフォルトでは、印刷中に問題が発生した場合のみアラートが表示されます。たとえば、カートリッジの残りが少なくなった、インクがなくなった、プリンタの用紙がなくなったなどの場合です。アラートが有効になっている状態で印刷を妨げる問題が発生すると、ポップアップ ウィンドウが表示され、プリンタで印刷できない理由が説明されます。必要な結果を得るには、画面の指示に従って操作します。

  これらのアラートをデスクトップ警告として設定することもできます。アラート設定には、[概要] タブからアクセスできます。各アラートのダイアログ ボックスにも、アラート設定へのリンクがあります。アラートを完全に無効化するには、アラート設定をオフに設定します。アラートの受信を選択できるのは、プリンタに印刷しているとき（デフォルト）か、問題が発生したときのみです。アラートの方法をポップアップ ダイアログ（デフォルト）とデスクトップ警告のいずれかに設定することもできます。

  デフォルトでは、すべてのユーザがジョブ キューにアクセスできます。管理者がパスワードを設定することによって、ユーザが次の操作を行う際にパスワードを必要とすることができます。
  - ジョブのプレビューの表示
  - ジョブのキャンセルまたは削除

16 フロントパネルのエラー メッセージ

フロントパネルの画面に、以下のメッセージのいずれかが表示される場合があります。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってください。

ここに示されていないエラー メッセージが表示され、適切な対応が不明な場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。

表 16-1 テキスト メッセージ

メッセージ	推奨
[カラー] カートリッジの使用期限が切れています	カートリッジを交換してください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
[カラー] カートリッジがありません	該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
[カラー] カートリッジがインク切れです	カートリッジを交換してください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 取り付けられていません	該当するプリントヘッドを取り付けてください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 取り外して下さい	間違ったプリントヘッドを取り外し、該当する種類(カラーおよび番号)の新しいプリントヘッドを取り付けてください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 交換して下さい	機能していないプリントヘッドを取り外し、新しいプリントヘッドを取り付けてください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 再度取り付けて下さい	プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。249 ページの 「フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される 」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] は保証期間切れです	試用期間の長さまたはインク消費量のいずれかが原因で、プリントヘッドの保証期間が切れました。法律情報 を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] での保証に関する警告です	間違った種類のインクを使用したことにより、プリントヘッドの保証が無効になっている可能性があります。法律情報 を参照してください。
IOエラー	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。

表 16-1　テキスト メッセージ (続き)

メッセージ	推奨
IO/警告	再試行してください。それでも問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。
拡張精度キャリブレーションの保留	拡張精度キャリブレーションを実行してください。211 ページの 「用紙送りのキャリブレーションを行う 」を参照してください。
拡張精度印刷ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝには用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
拡張精度印刷スキャンｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝには用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
PDLエラー：インク切れ	プリントヘッドをクリーニングしてください。250 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」を参照してください。
PDLエラー：ジョブがクリップされました	イメージが用紙またはプリンタに対して大きすぎます。より大きい用紙を取り付けるか、またはイメージ サイズを小さくしてください。
PDLエラー：メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。
PDLエラー：用紙切れ	用紙を追加してください。
PDLエラー：解析エラー	印刷ジョブがプリンタで解析できません。作成し直して、再送信してください。プリンタの接続を確認してください。
PDLエラー：印刷モードエラー	用紙の種類またはジョブに対して指定した印刷品質が不適切です。取り付けられている用紙の種類または印刷設定を変更してください。
PDLエラー：印刷エラー	ジョブをもう一度送信してください。
PDLエラー：仮想メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。
ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞの軸合わせエラー：用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
[カラー] カートリッジを交換して下さい	カートリッジを交換してください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
[カラー] カートリッジを再度取り付けて下さい	カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。153 ページの 「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」を参照してください。
ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ：失敗。無効なファイルです。	正しいファームウェアのアップデート ファイルが選択されていることを確認してください。次に、再度アップデートを実行してください。

表 16-2　数値エラー コード

エラー コード	推奨
01.0, 01.1, 01.2	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。
21, 21.1, 22.0, 22.1, 22.2, 22.3, 24	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。
52:01	プリンタの内部クリーニングが必要です。251 ページの 「プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング 」を参照してください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。
61:01	ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。プリンタのグラフィック言語設定を確認してください (38 ページの 「グラフィック言語の設定を変更す

表 16-2　数値エラー コード（続き）

エラー コード	推奨
	る 」を参照)。Mac OSからUSB接続経由でPostScriptを送信している場合は、ドライバとアプリケーションの両方でASCIIエンコードを選択してください。ファームウェアとドライバのリリースが最新であることを確認してください。
62, 63, 64, 65, 67	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。180 ページの 「ファームウェアをアップデートする 」を参照してください。
74.1	もう一度ファームウェアのアップデートを実行してみてください。アップデートの処理中は、コンピュータを使用しないでください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。
79	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照してください。
94, 94.1	カラーキャリブレーションを再度行ってください。94 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照してください。

17 HPカスタマー・ケア

概要

HPカスタマー・ケアは、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いのHP Designjet から常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識を有し、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話とWebによるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HPカスタマー・ケアについての詳細は、以下の弊社Webサイトをご覧ください。

http://www.hp.com/support/japan

または、お電話でお問い合わせください (280 ページの 「HPサポートへのお問い合わせ 」を参照)。

HPプロフェッショナル グラフィック サービス

このセクションに記載されているすべてのサービスに関する詳細は、弊社Webサイト（http://www.hp.com/go/pgs/）をご覧ください。

Knowledge Center

専用のサービスとリソースを十分にご活用いただくことで、HP Designjet 製品およびソリューションに関して最高のパフォーマンスを実現することができます。

Knowledge CenterのHPコミュニティにご登録ください。大判印刷に携わる方々のコミュニティ（http://www.hp.com/go/knowledge_center/djz3100/）では以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 使用方法に関する手順書
- ダウンロード – プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プロファイルなど
- 技術サポート – オンラインのトラブルシューティング、HPカスタマー・ケアへのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからさまざまな印刷作業を完了させるためのワークフローおよび詳細なヒント
- HPの専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です
- 最新の製品情報 – プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライ センター

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

HP スタートアップ キット

『HP スタートアップ キット』はプリンタに同梱されているDVDです。マルチメディア チュートリアルの概要など、初めて印刷を行う場合に役立つプリンタのソフトウェアやマニュアルが含まれています。

HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Packおよび保証期間の延長により、標準期間を超えてプリンタの保証を延長できます。

HP Care Packおよび保証期間の延長には、リモート サポートが含まれます。必要に応じて、2つの対応時間のオプションをお選びいただけるオンサイト サービスもご提供します。

- 翌営業日
- 同日営業日の4時間以内（一部の国ではご利用いただけません）

HP Care Packの詳細は、弊社Webサイト（http://www.hp.com/go/lookuptool/）をご覧ください。

HPインストレーション

HPインストレーション サービスでは、プリンタを箱から取り出してセットアップし、接続します。

これはHP Care Packの一例です。詳細は、弊社Webサイト（http://www.hp.com/go/lookuptool/）をご覧ください。

HPインスタント サポート

HPインスタント サポート プロフェッショナル エディションは、プリンタから診断情報を収集し、HPのナレッジベースに蓄積された解決策と照合して迅速に問題を解決する、HPのトラブルシューティング用のツールです。

HPインスタント サポートのセッションを開始するには、プリンタの内蔵Webサーバに表示されるリンクをクリックします。30 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照してください。

HPインスタント サポートを使用するには、以下の条件を満たす必要があります。

- プリンタとTCP/IPで接続されていること。HPインスタント サポートには、内蔵Webサーバからのみアクセスできます。
- Webにアクセスできること。HPインスタント サポートは、Webベースのサービスです。

HPインスタント サポートは現在、英語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご利用いただけます。

HPインスタント サポートの詳細については、http://www.hp.com/go/ispeをご覧ください。

HPプロアクティブ サポート

HPプロアクティブ サポートによってプリンタの問題が顕在化する前に問題の識別、診断、および解決ができ、プリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。HPプロアクティブ サポート ツールは、サポートにかかるコストを削減しながら生産性を最大限発揮できるよう、あらゆる規模のビジネスをお手伝いします。すべての操作はマウスのクリックだけで行えます。

HPイメージング＆プリンティング サービス スイートのコンポーネントのひとつであるプロアクティブ サポートは、投資価値の最大化、プリンタ稼働時間の拡大、およびプリンタ管理コストの削減に明確に焦点を当てた、印刷環境の管理を支援するサービスです。

HPでは、プロアクティブ サポートを今すぐ有効化して時間を節約し、問題を未然に防ぐようお勧めしています。これによってプリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。またプロアクティブ サポートは、診断を実行してソフトウェアとファームウェアのアップデートをチェックします。

WindowsではHP Easy Printer Careを、Mac OSではHPプリンタ モニタをそれぞれ有効化でき、コンピュータとHPのWebサーバとの接続の頻度、および診断チェックの頻度は指定できます。また、診断チェックは手動で実行することもできます。これらの設定を変更するには、以下の手順に従います。

- HP Easy Printer Care for Windowsで［**ツール**］メニューを選択し、[**HP プロアクティブ サポート**］を選択します。
- HP プリンタ モニタで［**環境設定**］を選択し、[**HP プロアクティブ サポートの有効化**］を選択します。

プロアクティブ サポートによって潜在的な問題が発見された場合は、アラートで通知され、問題の説明と共に解決方法が推奨されます。場合によっては、解決方法が自動的に適用される場合があります。その他の場合には、問題の解決手順を実行するよう求めるメッセージが表示されます。

29 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスする 」も参照してください。

HPサポートへのお問い合わせ

HPサポートはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連ドライバのマニュアルを参照してください。
- サードパーティ製のソフトウェア ドライバおよびRIPをインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを参照してください。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
  - お使いのプリンタの情報（プリンタの背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号）
  - フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取ります（271 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ 」 を参照）。
  - プリンタのサービスID：フロントパネルで［情報］アイコンを選択し、次に［**プリンタ情報の表示**］を選択します。
  - お使いのコンピュータ
  - お使いの特別な機器やソフトウェア（スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェア ドライバなど）
  - お使いのケーブル（製品番号）とケーブルの購入場所
  - プリンタでお使いのインタフェースの種類（USB、またはネットワーク）
  - 現在使用中のソフトウェアの名前とバージョン
  - 可能であれば、［ネットワークとI/O設定の印刷］、［プリンタ使用状況の印刷］の全ページを印刷しておいてください。サポート センターからこれらのページのFAX送信をお願いする場合があります（詳細は、「12 ページの 「プリンタの印刷メニュー 」」を参照）。

電話番号

HPサポートの電話番号の最新リストは、Webで提供しています。弊社Webサイト（http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html）をご覧ください。Webにアクセスできない場合は、以下のいずれかの電話番号までご連絡ください。

- アルジェリア：213 17 63 80
- アルゼンチン：0 800 777 HP INVENT、5411 4778 8380（国内）
- オーストラリア：13 10 47
- オーストリア：0810 00 10 00
- バーレーン：800 171
- ベルギー：(0) 78 600 600
- ボリビア：0 800 1110、54 11 4708 1600（国内）
- ボリビア：0800 157 751、55 11 3747 7799（国内）
- カナダ：1 800 HP INVENT

- カリブ海諸国：1 800 711 2884
- 中央アメリカ：1 800 711 2884
- チリ：800 HP INVENT、123 800 360 999
- 中国：800 810 59 59、10 6564 59 59
- コロンビア：01 8000 51 HP INVENT、571 606 9191（国内）
- チェコ共和国：420 261 307 310
- デンマーク：70 11 77 00
- エクアドル：999 119、1 800 225 528
- エジプト：202 532 5222
- フィンランド：0203 53232
- フランス：08 26 10 49 49
- ドイツ：0180 52 58 143
- ギリシャ：210 6073603、801 11 22 55 47
- グアドループ：0800 99 00 11、877 219 8791
- グアテマラ：1 800 999 5105、1 800 711 2884
- 香港：852 3002 8555
- カリブ海諸国：06 1 382 1111
- ハンガリー：1 600 112 267
- インドネシア：350 3408
- アイルランド：1 890 946500
- イスラエル：09 830 4848
- イタリア：02 3859 1212
- ジャマイカ：0 800 711 2884
- 日本：0120 014121
- 韓国：82 1588 3003
- ルクセンブルグ：27 303 303
- マレーシア：1 800 80 5405
- マルティニク：0 800 99 00、877 219 8671
- メキシコ：01 800 472 6684、5258 9922（国内）
- 中東：4 366 2020
- モロッコ：2240 4747
- オランダ：0900 1170 000
- ニュージーランド：09 365 9805

- ノルウェー：800 62 800
- パラグアイ：00 811 800、800 711 2884
- パナマ：001 800 711 2884
- ペルー：0 800 10111
- フィリピン：632 888 6100
- ポーランド：22 566 6000
- ポルトガル：213 164 164
- プエルトリコ：1 800 652 6672
- 南アフリカ共和国：27 11 258 9301、086 000 1030（国内）
- ルーマニア：40 21 315 4442
- ロシア：095 797 3520、812 3467 997
- サウジアラビア：6272 5300
- スロバキア：2 50222444
- 南アフリカ：0800 001 030
- スペイン：902 010 333
- スウェーデン：077 130 30 00
- スイス：0848 80 20 20
- 台湾：886 2 872 28000
- タイ：0 2353 9000
- チュニジア：71 89 12 22
- トルコ：216 444 71 71
- アラブ首長国連邦：800 4520、04 366 2020
- ウクライナ：44 4903520
- 英国：0870 842 2339
- アメリカ合衆国：1 800 HP INVENT
- ウルグアイ：54 11 4708 1600
- ベネズエラ 0 800 HP INVENT、58 212 278 8000（国内）
- ベトナム：84 8 823 45 30
- 西アフリカ（フランス語）：351 213 17 63 80

18 プリンタの仕様

プリンタ機能の仕様

表 18-1　HP No.70 インク サプライ品

プリントヘッド	各プリントヘッドに2種類のインク：グロスエンハンサ/グレー、ブルー/グリーン、マゼンダ/イエロー、ライトマゼンタ/ライトシアン、フォトブラック/ライトグレー、マットブラック/レッド
インクカートリッジ	130 mlのインク容量カートリッジ：グロスエンハンサ、グレー、ブルー、グリーン、マゼンタ、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、フォトブラック、ライトグレー、マットブラック、レッド

表 18-2　用紙サイズ

	最小	最大
ロール紙の幅	18インチ（460 mm）	24インチ プリンタ：24インチ（609 mm）
		44インチ プリンタ：44インチ（1118 mm）
ロール紙の長さ		300フィート（91.4 m）
カット紙の幅	8.3インチ（210 mm、A4縦置き）	24インチ プリンタ：24インチ（609 mm）
		44インチ プリンタ：44インチ（1118 mm）
カット紙の長さ	11インチ（279 mm、レター縦置き）	24インチ プリンタ：36インチ（915 mm）
		44インチ プリンタ：66インチ（1676 mm）
用紙の厚さ		0.0315インチ（0.8 mm）

表 18-3　印刷解像度

印刷品質	高精細	パスの拡張	レンダリング解像度（dpi）	印刷解像度（dpi）
高品質	オン	オン	1200 × 1200	2400 × 1200（光沢用紙のみ）*
	オン	オフ	1200 × 1200	1200 × 1200
	オフ	オン	600 × 600	600 × 600
	オフ	オフ	600 × 600	600 × 600
標準	オン		600 × 600	600 × 600
	オフ		600 × 600	600 × 600
	オフ		300 × 300	300 × 300
高速	オン		600 × 600	600 × 600
	オフ		600 × 600	600 × 600
	オフ		300 × 300	300 × 300

* HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、HP プロフェッショナルプルーフ用光沢用紙、HP プロフェッショナルプルーフ用半光沢用紙、プルーフ用光沢紙、半光沢/サテンプルーフ用紙

表 18-4　マージン設定

上左右のマージン	5 mm = 0.2インチ
下マージン（用紙の下端）	5 mm = 0.2インチ（ロール紙）
	17 mm = 0.67インチ（カット紙）

表 18-5　機構的な精度

指定ベクトル長±0.2%または±0.1mm（いずれか大きい方）、気温23°C（73°F）、相対湿度50～60%、E/A0サイズの印刷物に［高品質］または［標準］でHP マットフィルム ロール フィードを使用して印刷。

表 18-6　サポートされているグラフィック言語

HP Designjet Z3100ps GP Photo プリンタ	HP-PCL3 GUI、HP-GL/2 RTL、CALS/G4、PostScript

物理的仕様

表 18-7　プリンタの物理的仕様

	24インチ プリンタ	24インチ プリンタ（スタンドなし）	44インチ プリンタ
重量	65 kg（143ポンド）	47 kg（103.6ポンド）	86 kg（189ポンド）
幅	49.7インチ（1262 mm）	49.7インチ（1262 mm）	69.7インチ（1770 mm）
奥行き	最小：26インチ（661 mm） 最大：28.8インチ（732 mm）	最小：26インチ（661 mm） 最大：28.8インチ（732 mm）	最小：26インチ（661 mm） 最大：28.8インチ（732 mm）
高さ	41.2インチ（1047 mm）	15.4インチ（391 mm）	41.2インチ（1047 mm）

メモリの仕様

表 18-8　メモリの仕様

標準搭載メモリ（DRAM）	256MB
ハードディスク	40GB

電源の仕様

表 18-9　プリンタの電源の仕様

電源	100 - 240 V ac ±10%、自動判別
周波数	50 - 60Hz
電流	< 2A
消費電力	< 200W

エコロジーに関する仕様

本製品は、欧州連合におけるWEEEおよびRoHSの指示に準拠しており、米国EPA（環境保護庁)のEnergy Star Programに適合しています。

プリンタのエコロジーに関する仕様の最新情報については、http://www.hp.comにアクセスし、「ecological specifications」で検索してください (USサイト)。

動作環境の仕様

表 18-10　プリンタの動作環境の仕様

	温度範囲	湿度範囲
オプショナル印刷品質での動作時	22° C～26° C (72° F ～79° F)	30%～60%
標準印刷での動作時	15° C～35° C (59° F～95° F)	20%～80%
消耗品を取り付けていないプリンタ	5° C～40° C (41～104° F)	
開梱前の消耗品およびプリンタ	-40° C ～60° C(-40° F～140° F)	

動作音に関する仕様

プリンタの動作音に関する仕様（ISO 9296に準拠）

表 18-11　プリンタの動作音に関する仕様

アイドル状態の騒音出力レベル	4.4B（A）
動作時の騒音出力レベル	6.5 B（A）
アイドル状態のバイスタンダ位置での音圧	44dB（A）
動作時のバイスタンダ位置での音圧	29dB（A）

用語集

AppleTalk　Apple Computer株式会社が1984年に開発したコンピュータ ネットワーク用のプロトコル ツール。Appleは、現在ではTCP/IPネットワークを推奨しています。

Bonjour　IETFのゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関するApple Computer株式会社の商標で、AppleのMac OS Xバージョン10.2以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。ローカルエリアネットワークで使用可能なサービスを検索するために使用され、当初はRendezvousと呼ばれていました。

ESD　静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れるとスパークしたり、衣服を張り付かせたりします。制御された静電気には役に立つ用途がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。したがって、破損を防ぐには、製品を設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の1つは、静電気放電に敏感なデバイス（プリントヘッドまたはインクカートリッジなど）を扱う前に、製品の接地した箇所（主に金属部分）に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

HP-GL/2　Hewlett-Packard Graphics Language 2：HP社が定義するベクトル グラフィック描画用の言語。

I/O　入出力。デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC　International Color Consortium（国際カラーコンソーシアム）の略語。カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体です。

IPアドレス　TCP/IPネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

Jetdirect　HP社のプリントサーバ シリーズの商品名。直接ローカル エリア ネットワークへ接続することが可能になります。

LED　発光ダイオード。電気的な刺激が与えられると発光する半導体機器です。

MACアドレス　Media Access Control address （メディアアクセス コントロール アドレス）の略。ネットワーク上で特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IPアドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスはMACアドレスおよびIPアドレスの両方を持つ場合があります。

Rendezvous　Apple Computer社のネットワーク ソフトウェアの元の名称。現在はBonjourと呼ばれます。

TCP/IP　伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

USB　Universal Serial Bus（ユニバーサル シリアル バス）の略語。コンピュータに接続するために設計された標準シリアル バスです。

イーサネット　ローカル エリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

インクカートリッジ　取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

カッター　プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

ガモット　プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能なカラーおよび濃度値の範囲。

カラー スペース　各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。多くの異なるカラー スペースが同じカラー モデルを使用できます。たとえば、通常、モニタはRGBカラー モデルを使用しますが、特定のRGB数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

カラーの一貫性　大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

カラー モデル　RGBまたはCMYKなど、数値でカラーを想定したシステム。

カラー精度　元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

グロスエンハンサ　光沢の均一性を向上させる透明な液体で、イメージ品質が問題となるフォト用紙での変色を防止します。マット紙では使用されません。

スピンドル　印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

ノズル　プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

ファームウェア　プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます（アップデート可能）。

プラテン　プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

プリンタ ドライバ　生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

プリントヘッド　取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから1つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。HP Designjet Z3100ps GP Photoプリンタでは、2つの異なったカラーが各プリントヘッドで印刷されます。

用紙　書いたり印刷したりすることを目的に製造される、薄くて平らな素材。用紙の多くは、繊維をパルプにしたり、乾燥または圧縮させて製造されます。

索引